

那珂川町国民健康保険
第2期データヘルス計画

令和4年3月
那珂川町

-目次-

第1章 計画策定について		
1. 背景		4
2. 計画期間		4
3. 基本方針		5
4. データヘルス計画の位置づけ		7
5. 実施体制・関係者連携		7
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		8
(1) 基本情報		8
(2) 医療費等の状況		11
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		12
① 特定健康診査		12
② 特定保健指導		14
(4) 介護保険の状況		16
(5) 主たる死因の状況		20
2. 過去の取組の考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		23
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況		23
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容		25
① 特定健診の受診率向上対策		25
② 特定保健指導の実施率向上対策		26
③ 健康相談及び健康教育等対策		27
④ 地域包括ケアの推進		28
3. 医療情報分析結果		29
(1) 基礎統計		29
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		31
① 高額レセプトの件数及び割合		31
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		33
(3) 疾病別医療費		37
① 大分類による疾病別医療費統計		37
② 中分類による疾病別医療費統計		41
(4) 生活習慣病に係る医療費		51
4. 保健事業実施に係る分析結果		54
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		54
(2) 特定健康診査に係る分析		55
(3) 特定保健指導に係る分析		57
(4) 健診異常値放置者に係る分析		59
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		61
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		63
(7) 受診行動適正化に係る分析		67
(8) 薬剤併用禁忌に係る分析		70
(9) 服薬情報に係る分析		72
(10) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		74

-目次-

	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	77
	(1) 分析結果	77
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	82
	(3) 第2期データヘルス計画の目的と目標	84
第3章 保健事業実施計画		
	1. 各事業の目的と概要一覧	85
	2. 全体スケジュール	87
	3. 各事業の実施内容と評価方法	88
	(1) 特定健診の受診率向上対策	88
	(2) 人間ドック・脳ドック	89
	(3) 特定保健指導	90
	(4) 糖尿病重症化予防事業	91
	(5) 栄養相談	92
	(6) 運動教室(なかがわフィットネス倶楽部)	93
	(7) 重複服薬・重複多受診者対策事業	94
	(8) ジェネリック医薬品差額通知事業	95
	(9) 那珂よし健康ポイント	96
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	97
	2. 計画の公表・周知	97
	3. 個人情報の取り扱い	97
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	97
地区分析		
	1. 日常生活圏域の設定	98
	2. 大分類による疾病別医療費地区別統計	99
	3. 中分類による疾病別医療費地区別統計	102
年度別 特定健康診査結果分析		
	1. 有所見者割合	106
	2. 質問別回答状況	115
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	131
	2. 用語解説集	132
	3. 疾病分類表(2013年版)	133
	4. 分析方法	137

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、令和4年度から令和5年度の2年間とします。

■ 計画期間

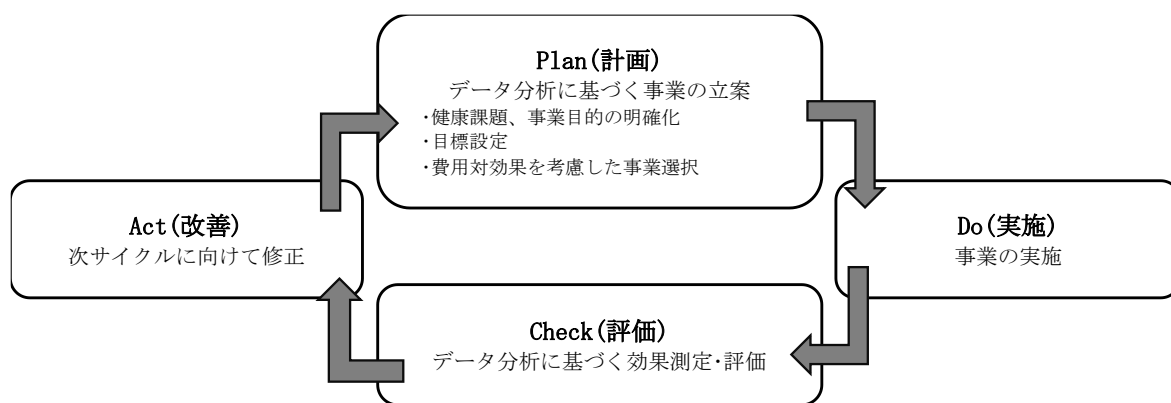
第1期					第2期	
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
→					→	

3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画します。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病毎の医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCA サイクルを意識した継続的な事業を実施します。

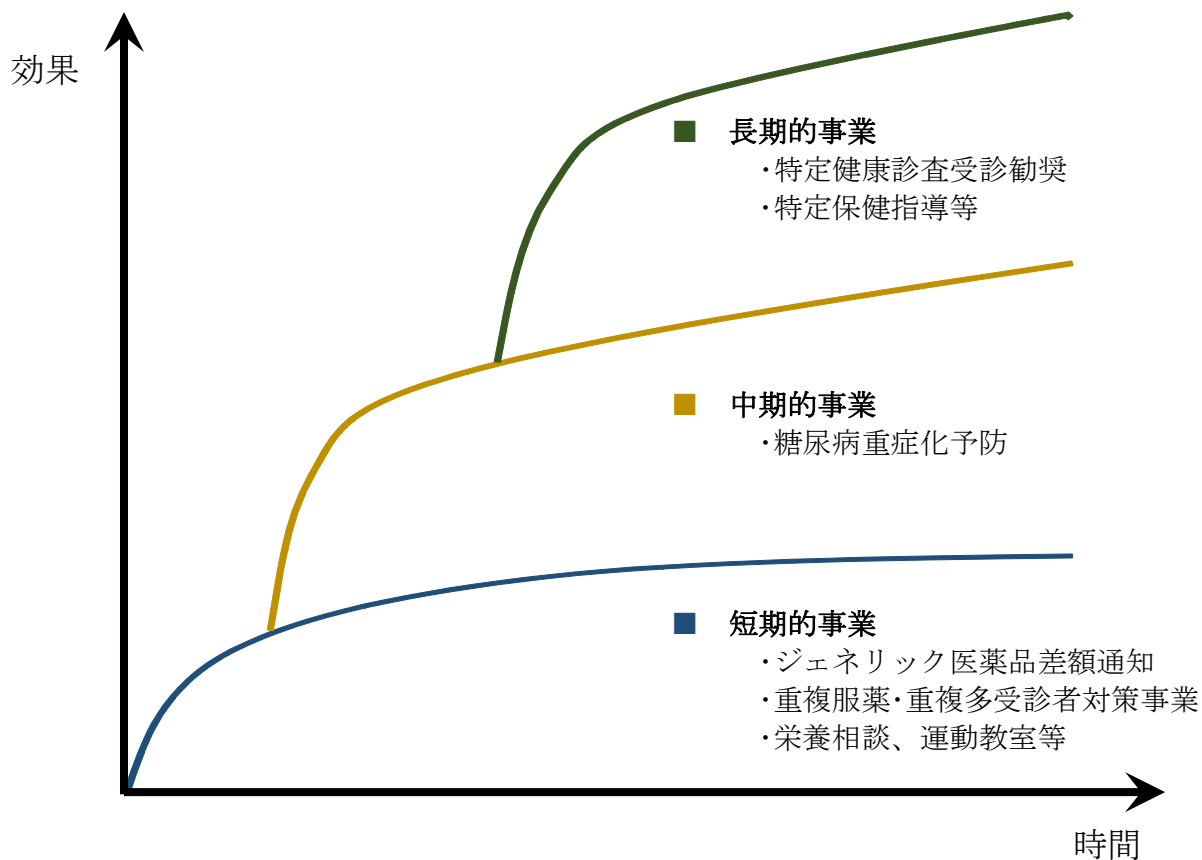


厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成 26 年 12 月)より

3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性が大きい反面効果額が小さい短期的事業と、即効性は小さい反面将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これら事業を那珂川町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施します。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、当町の「第2次那珂川町総合振興計画なかがわ「元気」ビジョン(後期基本計画)」及び「那珂川町健康増進計画健康なかがわ21プラン・2期計画」で定めた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図り策定しました。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険部門(住民課)と保健、高齢福祉、介護部門(健康福祉課)が連携し保健師・栄養士等の専門職と課題や評価について共有し、一体となって保健事業の実施に当たります。

計画の策定・評価・見直しには、町の国民健康保険事業の運営に関する協議会、栃木県関係部局、栃木県国民健康保険団体連合会の保健事業支援評価委員会等との連携・協力を図ります。

■データ分析期間

- ・国保データベース(KDB)システムデータ
 - 平成30年度～令和2年度(3年分)
- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
 - 単年分析
 - 令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)
 - 年度分析
 - 平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)
 - 令和元年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)
 - 令和2年度…令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
 - 単年分析
 - 令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)
 - 年度分析
 - 平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)
 - 令和元年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)
 - 令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

※上記データは、令和3年6月に作成したものを使用しています。

なお、国保データベース(KDB)システムにおける人口総数は国勢調査(平成27年度)の数値を使用しています。

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

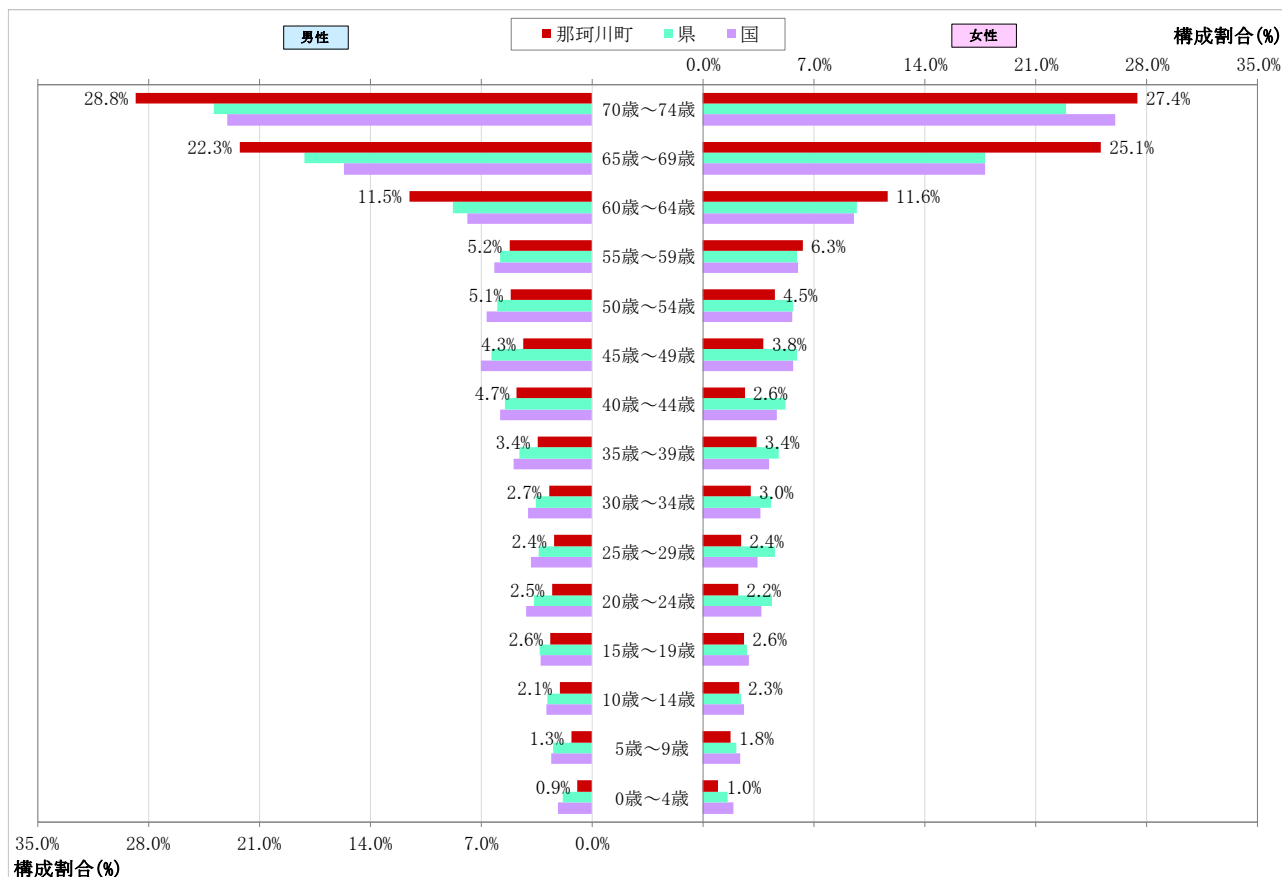
以下は、本町の令和2年度における、人口構成概要を示したものです。高齢化率(65歳以上)は34.0%であり、県との比較で1.3倍、同規模との比較で1.1倍となっています。また、国民健康保険被保険者数は4,697人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は27.7%です。国民健康保険被保険者平均年齢は56.7歳です。

人口構成概要(令和2年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
那珂川町	16,955	34.0%	4,697	27.7%	56.7	5.5%	15.6%
県	1,964,844	25.9%	517,725	26.3%	52.1	7.8%	10.4%
同規模	15,975	32.3%	4,068	24.1%	55.4	6.6%	13.7%
国	125,640,987	26.6%	29,487,115	23.5%	52.0	8.0%	10.3%

※「県」は栃木県を指す。「同規模」は全国の人口同規模町村である。以下全ての表において同様である。
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

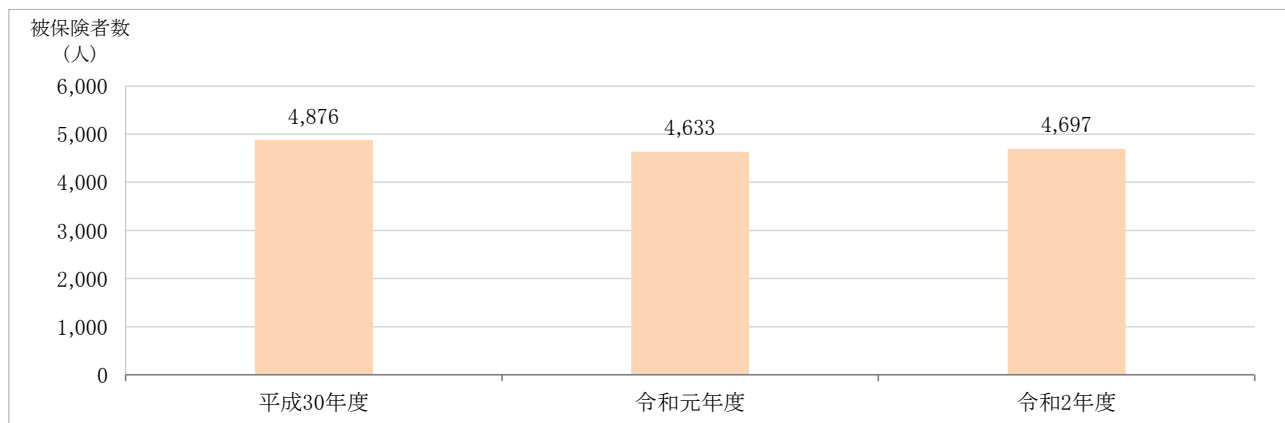
以下は、本町の平成30年度から令和2年度における、人口構成概要を年度別に示したものです。令和2年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数4,697人は平成30年度4,876人より179人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢56.7歳は平成30年度55.0歳より1.7歳上昇しています。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
那珂川町	平成30年度	16,955	34.0%	4,876	28.8%	55.0	5.5%	15.6%
	令和元年度	16,955	34.0%	4,633	27.3%	56.4	5.5%	15.6%
	令和2年度	16,955	34.0%	4,697	27.7%	56.7	5.5%	15.6%
県	平成30年度	1,964,844	25.9%	469,231	23.9%	53.0	7.8%	10.4%
	令和元年度	1,964,844	25.9%	452,906	23.1%	53.5	7.8%	10.4%
	令和2年度	1,964,844	25.9%	517,725	26.3%	52.1	7.8%	10.4%
同規模	平成30年度	15,699	32.2%	4,221	25.4%	54.2	6.6%	13.7%
	令和元年度	15,832	32.2%	4,062	24.3%	54.7	6.6%	13.8%
	令和2年度	15,975	32.3%	4,068	24.1%	55.4	6.6%	13.7%
国	平成30年度	125,640,987	26.6%	28,039,851	22.3%	52.5	8.0%	10.3%
	令和元年度	125,640,987	26.6%	27,083,475	21.6%	52.9	8.0%	10.3%
	令和2年度	125,640,987	26.6%	29,487,115	23.5%	52.0	8.0%	10.3%

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	66	35	31	47	26	21	44	23	21
5歳～9歳	91	52	39	76	38	38	71	33	38
10歳～14歳	117	57	60	99	47	52	102	52	50
15歳～19歳	149	85	64	124	72	52	122	66	56
20歳～24歳	122	69	53	108	59	49	112	64	48
25歳～29歳	113	57	56	91	44	47	113	61	52
30歳～34歳	164	91	73	148	78	70	134	69	65
35歳～39歳	165	95	70	139	82	57	160	87	73
40歳～44歳	188	118	70	185	118	67	177	120	57
45歳～49歳	233	138	95	211	121	90	193	110	83
50歳～54歳	219	120	99	222	128	94	228	130	98
55歳～59歳	302	154	148	275	127	148	268	132	136
60歳～64歳	681	350	331	586	310	276	544	292	252
65歳～69歳	1,260	645	615	1,156	594	562	1,107	563	544
70歳～74歳	1,006	569	437	1,166	644	522	1,322	728	594
合計	4,876	2,635	2,241	4,633	2,488	2,145	4,697	2,530	2,167

出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

以下は、本町の令和2年度における、医療基礎情報を示したものです。

医療基礎情報(令和2年度)

医療項目	那珂川町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	2.1	2.8	2.6	3.5
病床数	10.6	40.5	43.6	52.4
医師数	2.1	8.9	6.0	11.1
外来患者数	670.7	632.4	673.0	635.7
入院患者数	21.1	15.8	21.6	17.5
受診率	691.8	648.2	694.6	653.2
一件当たり医療費(円)	41,870	36,730	41,390	39,240
一般(円)	41,870	36,730	41,390	39,240
退職(円)	15,810	110,600	29,340	61,460
外来				
外来費用の割合	57.4%	61.3%	56.9%	59.6%
外来受診率	670.7	632.4	673.0	635.7
一件当たり医療費(円)	24,790	23,070	24,290	24,040
一人当たり医療費(円)	16,630	14,590	16,340	15,290
一日当たり医療費(円)	17,950	15,910	16,580	16,070
一件当たり受診回数	1.4	1.5	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	42.6%	38.7%	43.1%	40.4%
入院率	21.1	15.8	21.6	17.5
一件当たり医療費(円)	585,920	581,830	574,430	592,040
一人当たり医療費(円)	12,330	9,220	12,400	10,340
一日当たり医療費(円)	32,650	35,880	34,120	36,770
一件当たり在院日数	17.9	16.2	16.8	16.1

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

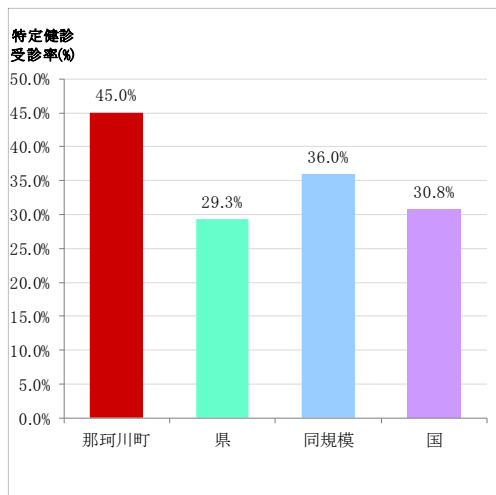
以下は、本町の令和2年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を示したものです。

特定健康診査受診率(令和2年度)

	特定健診受診率
那珂川町	45.0%
県	29.3%
同規模	36.0%
国	30.8%

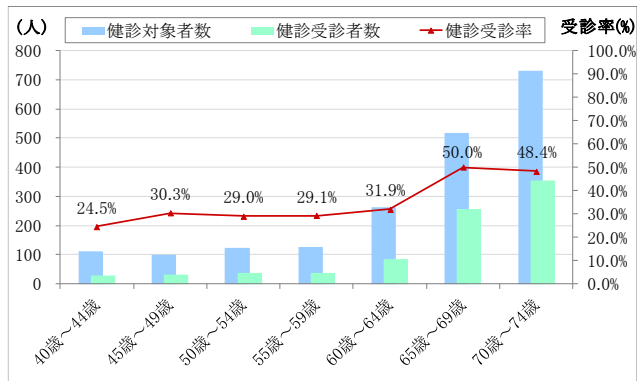
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(令和2年度)



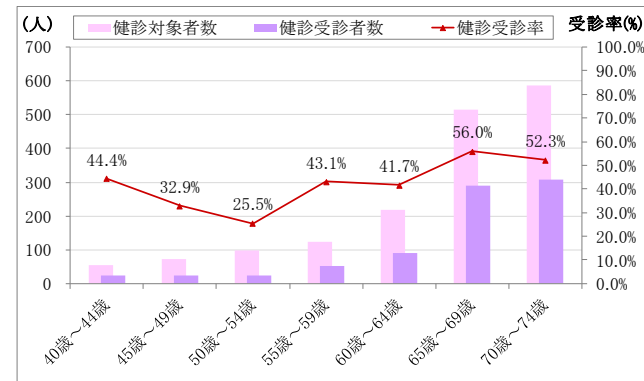
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性)年齢別特定健康診査受診率(令和2年度)



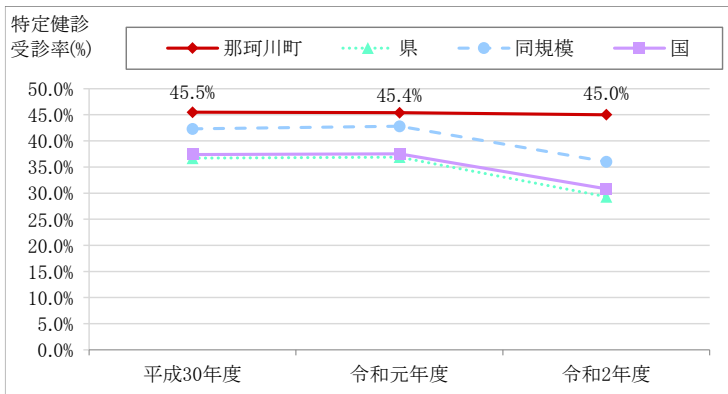
以下は、本町の平成30年度から令和2年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和2年度の特定健康診査受診率45.0%は平成30年度45.5%より0.5ポイント低下しています。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
那珂川町	45.5%	45.4%	45.0%
県	36.7%	36.9%	29.3%
同規模	42.3%	42.8%	36.0%
国	37.4%	37.5%	30.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

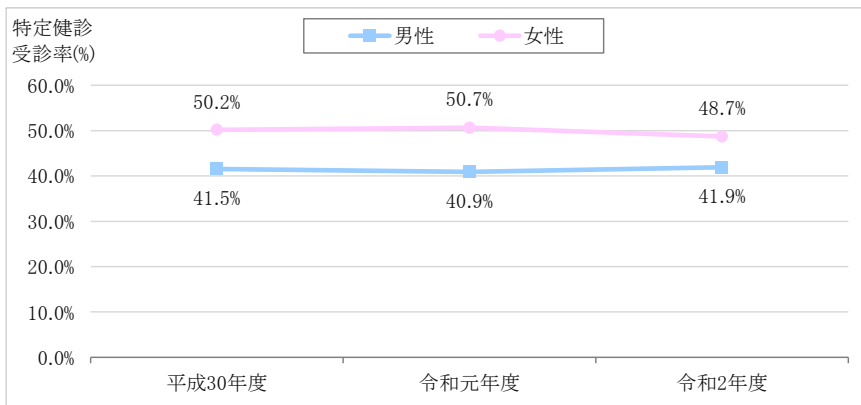
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和2年度受診率41.9%は平成30年度41.5%より0.4ポイント上昇しており、女性の令和2年度受診率48.7%は平成30年度50.2%より1.5ポイント低下しています。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

以下は、本町の令和2年度における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

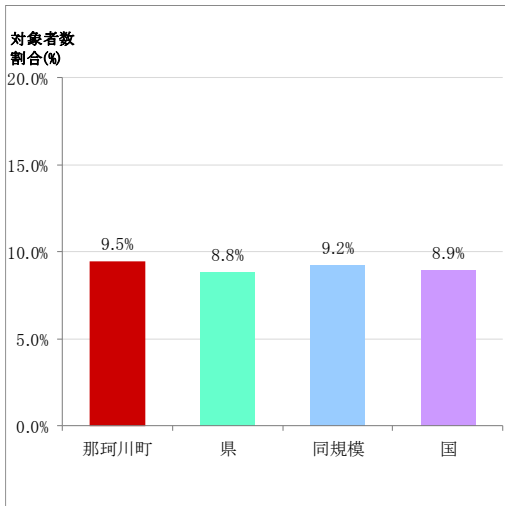
特定保健指導実施状況(令和2年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
那珂川町	9.5%	3.1%	12.6%	51.9%
県	8.8%	2.7%	11.5%	9.8%
同規模	9.2%	2.9%	12.1%	13.6%
国	8.9%	3.1%	12.1%	6.6%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

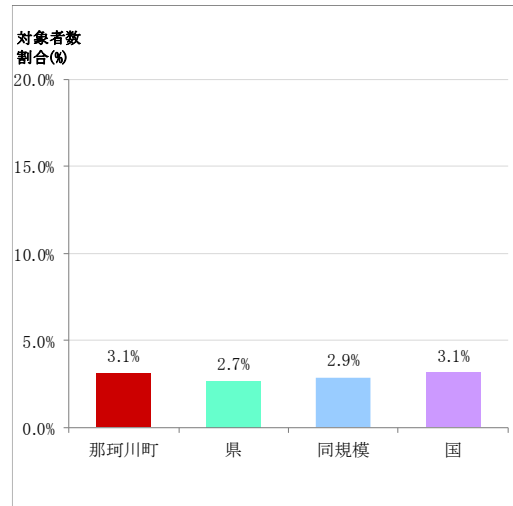
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(令和2年度)



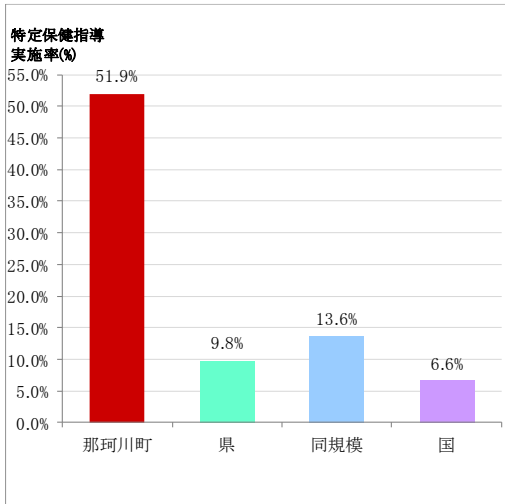
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和2年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。令和2年度の特定保健指導実施率51.9%は平成30年度54.1%より2.2ポイント低下しています。

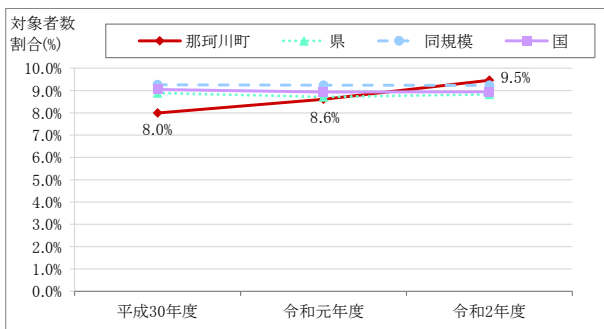
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
那珂川町	8.0%	8.6%	9.5%	2.8%	2.7%	3.1%
県	8.9%	8.7%	8.8%	2.5%	2.5%	2.7%
同規模	9.3%	9.2%	9.2%	3.1%	3.0%	2.9%
国	9.0%	8.9%	8.9%	2.7%	2.7%	3.1%

	支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
那珂川町	10.8%	11.3%	12.6%	54.1%	46.8%	51.9%
県	11.4%	11.2%	11.5%	31.5%	29.1%	9.8%
同規模	12.4%	12.2%	12.1%	42.2%	44.1%	13.6%
国	11.8%	11.6%	12.1%	25.8%	26.3%	6.6%

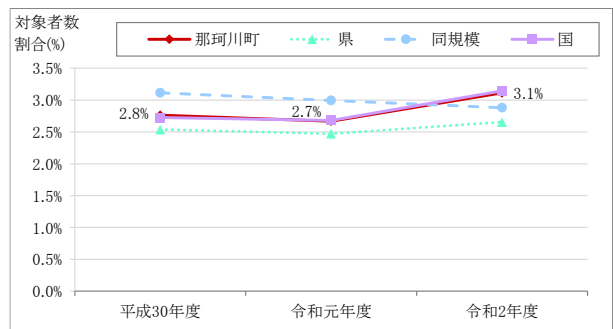
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
 特定保健指導実施率(令和2年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



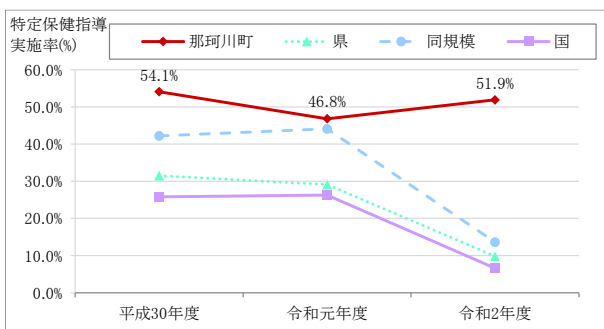
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

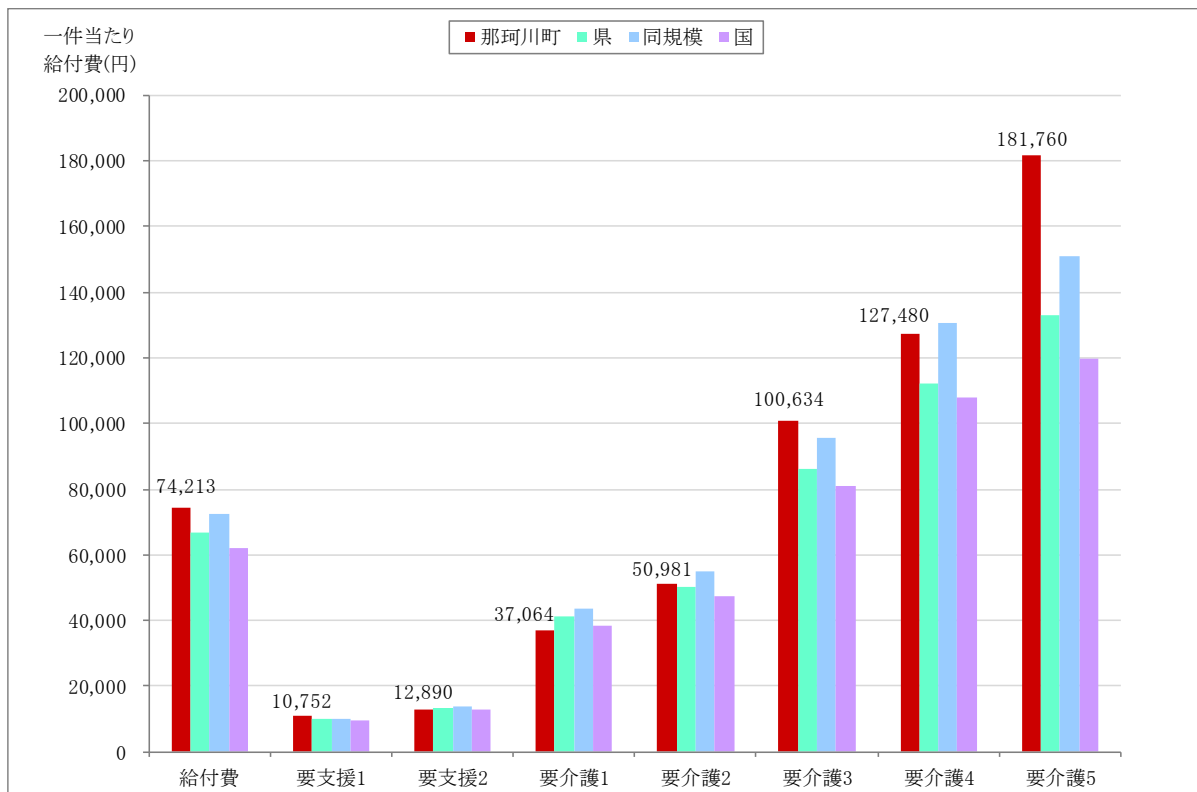
以下は、本町の令和2年度における、認定率及び給付費等の状況を示したものです。

認定率及び給付費等の状況(令和2年度)

区分	那珂川町	県	同規模	国
認定率	18.3%	17.8%	19.4%	19.9%
認定者数(人)	1,101	93,746	133,777	6,750,178
第1号(65歳以上)	1,074	91,239	131,252	6,595,095
第2号(40～64歳)	27	2,507	2,525	155,083
一件当たり給付費(円)				
給付費	74,213	66,726	72,685	61,864
要支援1	10,752	10,246	9,807	9,693
要支援2	12,890	13,485	13,993	13,028
要介護1	37,064	41,177	43,726	38,474
要介護2	50,981	50,243	54,853	47,537
要介護3	100,634	86,383	95,767	81,179
要介護4	127,480	111,975	130,413	108,110
要介護5	181,760	133,103	151,133	119,679

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

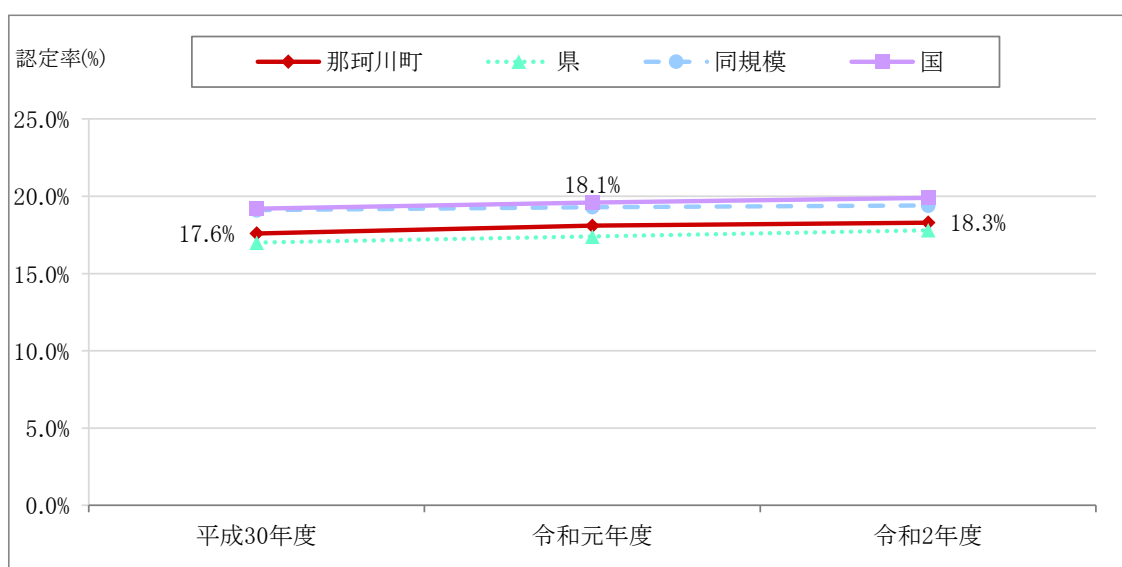
以下は、平成30年度から令和2年度における、認定率及び認定者数を年度別に示したものです。令和2年度認定率18.3%は平成30年度17.6%より0.7ポイント上昇しており、令和2年度の認定者数1,101人は平成30年度1,055人より46人増加しています。

年度別 認定率及び認定者数

区分	認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
那珂川町	平成30年度	17.6%	1,055	1,025
	令和元年度	18.1%	1,067	1,039
	令和2年度	18.3%	1,101	1,074
県	平成30年度	17.0%	89,749	87,275
	令和元年度	17.4%	91,559	89,127
	令和2年度	17.8%	93,746	91,239
同規模	平成30年度	19.1%	126,479	123,850
	令和元年度	19.3%	129,391	126,837
	令和2年度	19.4%	133,777	131,252
国	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312
	令和元年度	19.6%	6,620,276	6,467,463
	令和2年度	19.9%	6,750,178	6,595,095

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の令和2年度における、認定者の疾病別有病率を示したものです。疾病別の有病者数を合計すると3,330人となり、認定者は平均3疾病を有していることがわかります。

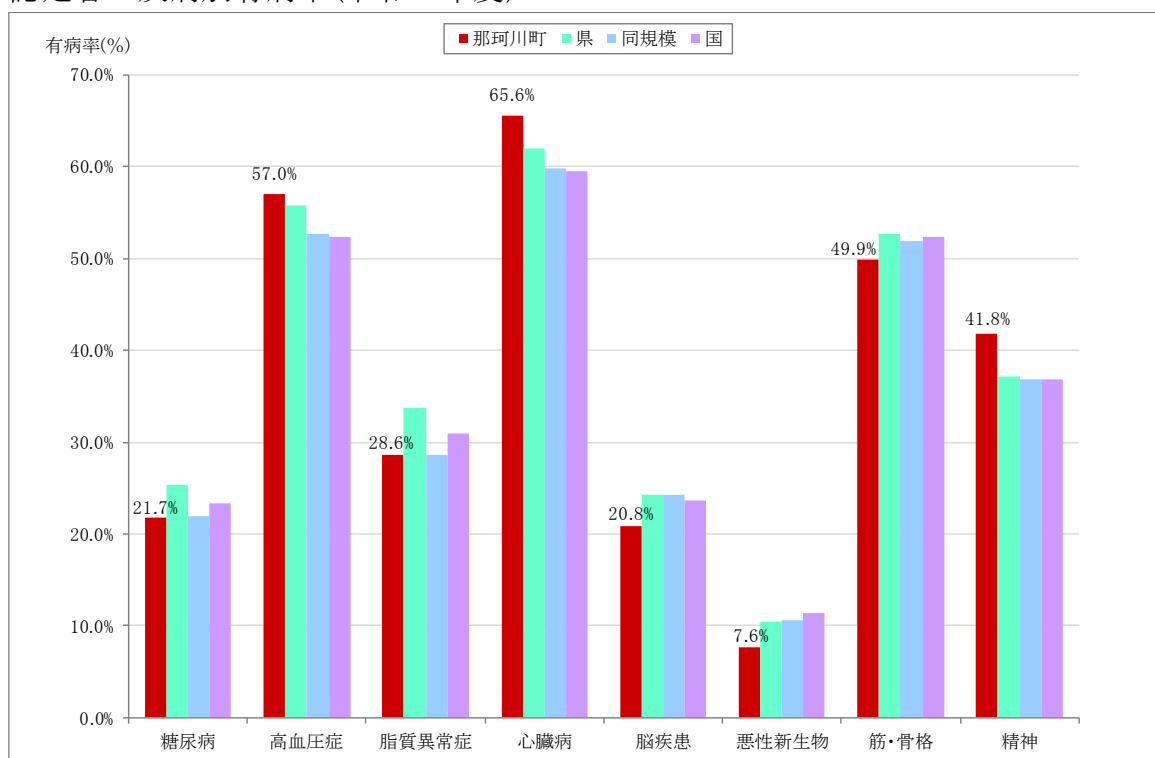
認定者の疾病別有病状況(令和2年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	那珂川町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,101		93,746		133,777		6,750,178	
糖尿病	実人数(人)	255	24,468	6	30,350	7	1,633,023	6
	有病率	21.7%	25.3%	6	21.9%	7	23.3%	6
高血圧症	実人数(人)	645	53,307	2	72,220	2	3,642,081	2
	有病率	57.0%	55.7%	2	52.6%	2	52.4%	2
脂質異常症	実人数(人)	317	32,720	5	39,899	5	2,170,776	5
	有病率	28.6%	33.7%	5	28.6%	5	30.9%	5
心臓病	実人数(人)	732	59,334	1	82,009	1	4,126,341	1
	有病率	65.6%	62.0%	1	59.8%	1	59.5%	1
脳疾患	実人数(人)	249	23,013	7	33,017	6	1,627,513	7
	有病率	20.8%	24.2%	7	24.2%	6	23.6%	7
悪性新生物	実人数(人)	96	10,217	8	14,921	8	798,740	8
	有病率	7.6%	10.4%	8	10.6%	8	11.3%	8
筋・骨格	実人数(人)	564	50,365	3	71,230	3	3,630,436	3
	有病率	49.9%	52.6%	3	51.9%	3	52.3%	3
精神	実人数(人)	472	35,541	4	50,648	4	2,554,143	4
	有病率	41.8%	37.2%	4	36.9%	4	36.9%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和2年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示したものです。令和2年度の認定者が有している平均疾病数3疾病は平成30年度2.9疾病より増加しています。

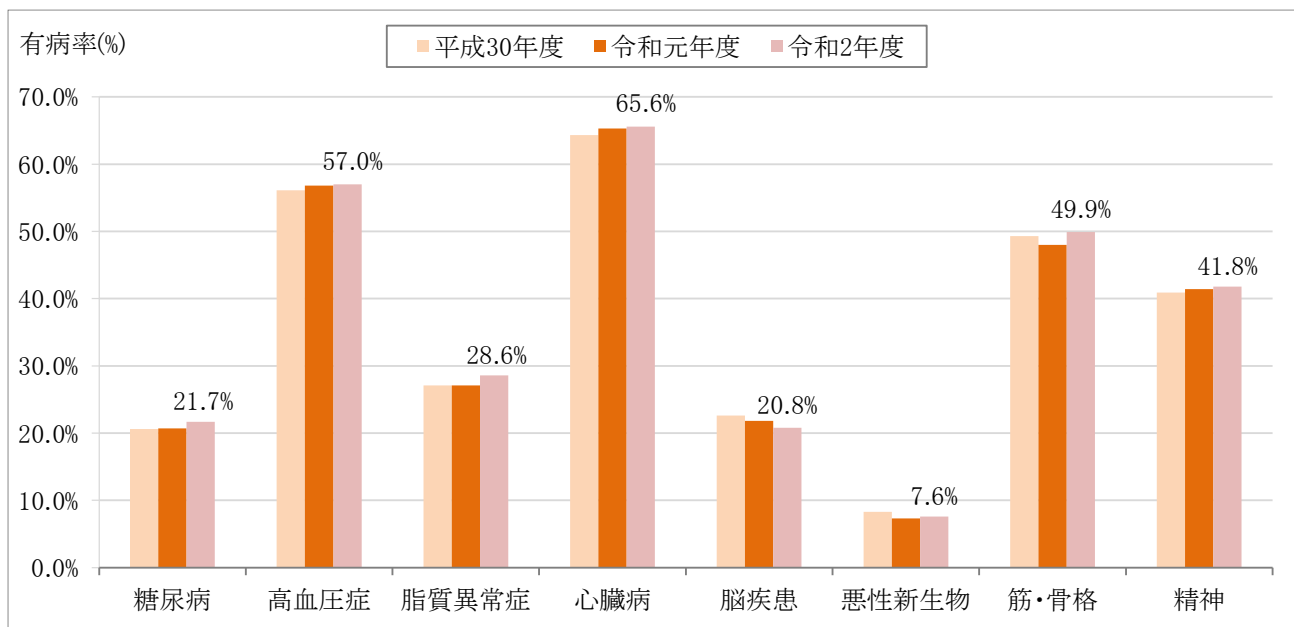
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	那珂川町						県			同規模			国			
	平成30年度	順位	令和元年度	順位	令和2年度	順位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
認定者数(人)	1,055		1,067		1,101		89,749	91,559	93,746	126,479	129,391	133,777	6,482,704	6,620,276	6,750,178	
糖尿病	実人数(人)	204	7	233	6	255	6	23,045	23,446	24,468	28,146	28,771	30,350	1,470,196	1,537,914	1,633,023
	有病率(%)	20.6%		20.7%		21.7%		25.4%	25.7%	25.3%	22.1%	22.2%	21.9%	22.4%	23.0%	23.3%
高血圧症	実人数(人)	601	2	616	2	645	2	51,304	51,820	53,307	67,659	69,533	72,220	3,318,793	3,472,146	3,642,081
	有病率(%)	56.1%		56.8%		57.0%		56.9%	56.9%	55.7%	53.1%	53.4%	52.6%	50.8%	51.7%	52.4%
脂質異常症	実人数(人)	282	5	308	5	317	5	30,106	31,057	32,720	35,623	37,503	39,899	1,915,551	2,036,238	2,170,776
	有病率(%)	27.1%		27.1%		28.6%		33.1%	33.8%	33.7%	27.8%	28.5%	28.6%	29.2%	30.1%	30.9%
心臓病	実人数(人)	685	1	708	1	732	1	57,070	57,728	59,334	76,952	78,968	82,009	3,770,674	3,939,115	4,126,341
	有病率(%)	64.3%		65.3%		65.6%		63.3%	63.3%	62.0%	60.5%	60.8%	59.8%	57.8%	58.7%	59.5%
脳疾患	実人数(人)	230	6	231	7	249	7	23,343	22,967	23,013	32,337	32,524	33,017	1,563,143	1,587,755	1,627,513
	有病率(%)	22.6%		21.8%		20.8%		26.2%	25.5%	24.2%	25.9%	25.3%	24.2%	24.3%	24.0%	23.6%
悪性新生物	実人数(人)	84	8	79	8	96	8	9,393	9,662	10,217	13,242	13,689	14,921	702,800	739,425	798,740
	有病率(%)	8.3%		7.3%		7.6%		10.3%	10.6%	10.4%	10.4%	10.6%	10.6%	10.7%	11.0%	11.3%
筋・骨格	実人数(人)	518	3	526	3	564	3	48,775	48,954	50,365	66,597	68,258	71,230	3,305,225	3,448,596	3,630,436
	有病率(%)	49.3%		48.0%		49.9%		54.0%	54.0%	52.6%	52.3%	52.7%	51.9%	50.6%	51.6%	52.3%
精神	実人数(人)	430	4	449	4	472	4	34,013	34,423	35,541	47,441	48,831	50,648	2,339,782	2,437,051	2,554,143
	有病率(%)	40.9%		41.4%		41.8%		37.7%	37.8%	37.2%	37.2%	37.6%	36.9%	35.8%	36.4%	36.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

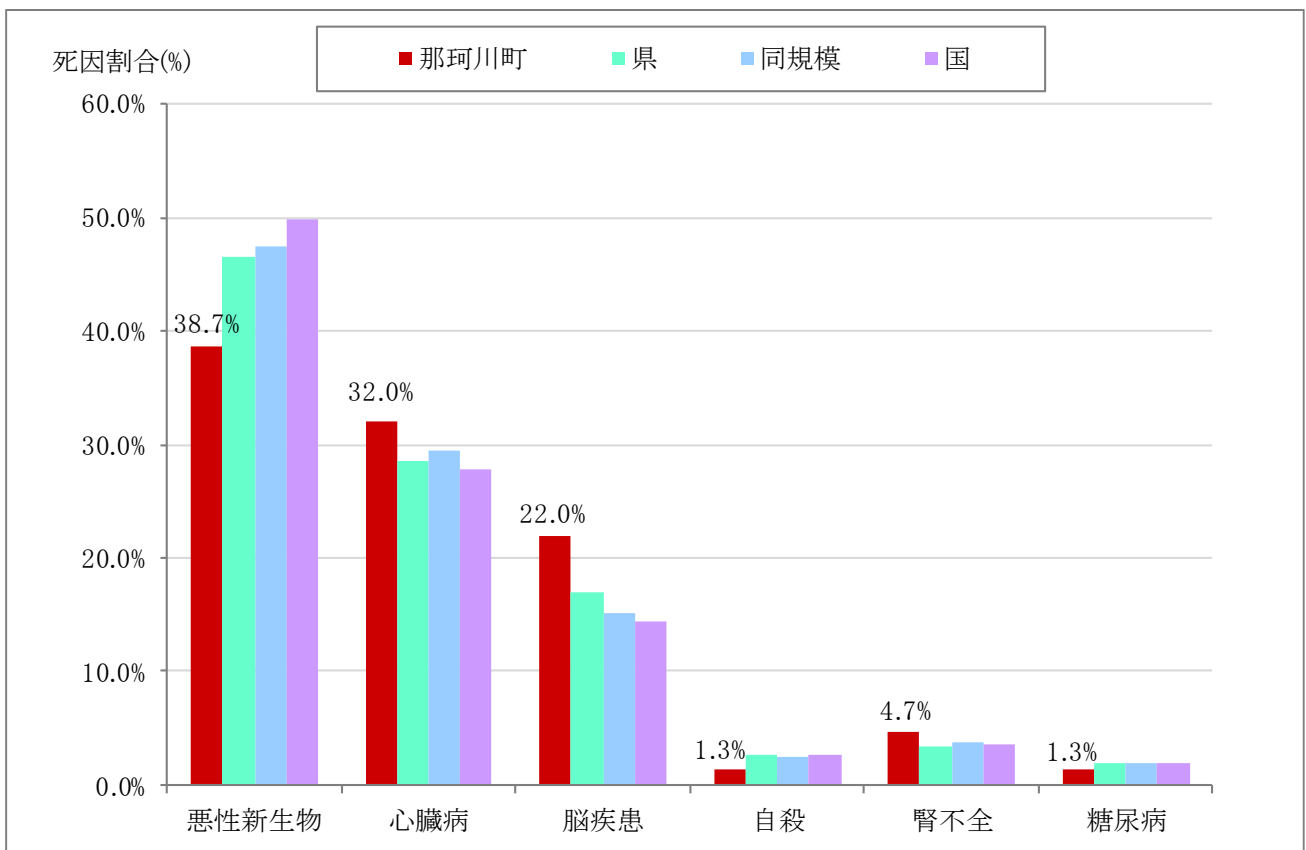
以下は、本町の令和2年度における、主たる死因の状況を示したものです。

主たる死因の状況(令和2年度)

疾病項目	那珂川町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	58	38.7%	46.5%	47.4%	49.8%
心臓病	48	32.0%	28.5%	29.5%	27.8%
脳疾患	33	22.0%	17.0%	15.1%	14.4%
自殺	2	1.3%	2.6%	2.4%	2.7%
腎不全	7	4.7%	3.3%	3.7%	3.5%
糖尿病	2	1.3%	2.0%	2.0%	1.9%
合計	150				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(令和2年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

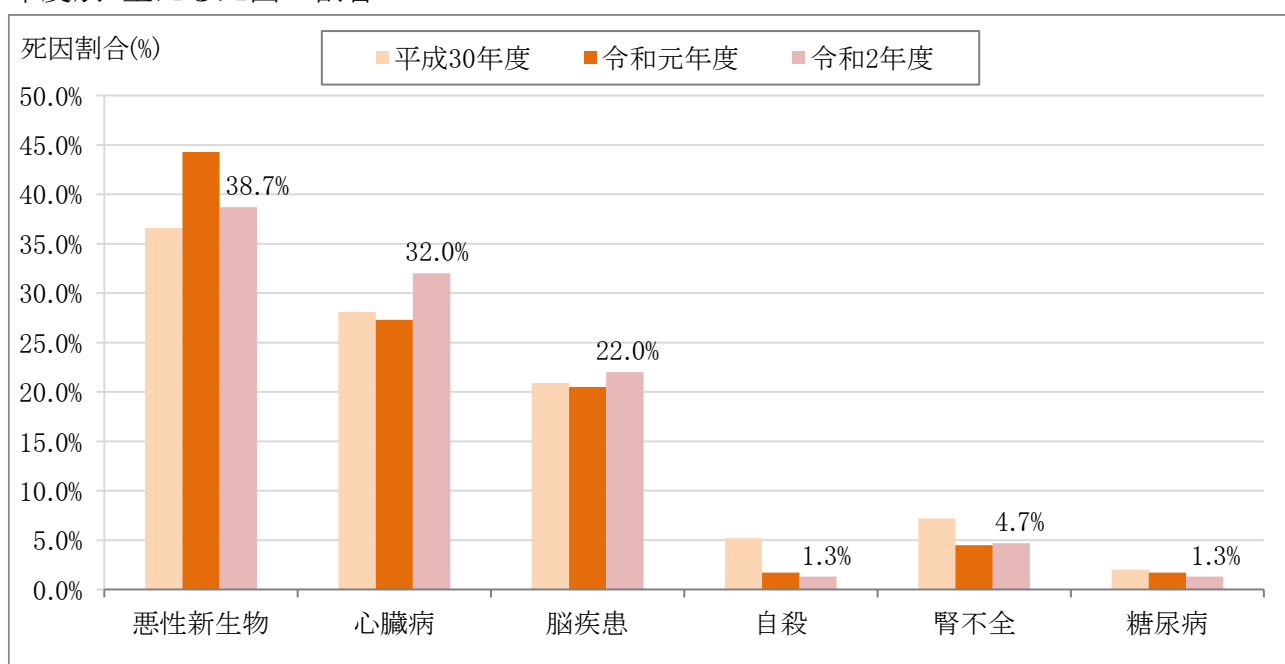
以下は、本町の平成30年度から令和2年度における、主たる死因の状況を年度別に示したものです。令和2年度を平成30年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数58人は平成30年度56人より2人増加しており、心臓病を死因とする人数48人は平成30年度43人より5人増加しています。また、脳疾患を死因とする人数33人は平成30年度32人より1人増加しています。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	那珂川町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度									
悪性新生物	56	78	58	36.6%	44.3%	38.7%	46.7%	45.8%	46.5%	47.3%	47.2%	47.4%	50.5%	49.9%	49.8%
心臓病	43	48	48	28.1%	27.3%	32.0%	27.5%	28.5%	28.5%	28.6%	29.2%	29.5%	26.8%	27.4%	27.8%
脳疾患	32	36	33	20.9%	20.5%	22.0%	17.6%	17.7%	17.0%	15.7%	15.8%	15.1%	14.8%	14.7%	14.4%
自殺	8	3	2	5.2%	1.7%	1.3%	2.9%	2.8%	2.6%	2.6%	2.5%	2.4%	2.8%	2.7%	2.7%
腎不全	11	8	7	7.2%	4.5%	4.7%	3.3%	3.2%	3.3%	3.9%	3.4%	3.7%	3.3%	3.4%	3.5%
糖尿病	3	3	2	2.0%	1.7%	1.3%	1.9%	2.0%	2.0%	1.8%	1.9%	2.0%	1.8%	1.9%	1.9%
合計	153	176	150												

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取組の考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は以下のとおりです。

データヘルス計画全体

指標	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成29年度)	平成30年度
特定健診受診率	受診勧奨の実施	受診率の目標値 特定健診受診率 39.0%	36.9%	36.8%
特定保健指導 実施率	勧奨の実施	実施率の目標値 特定保健指導 60.0%	44.7%	63.9%
運動教室 (なかがわフィット トネス倶楽部)	年12回開催	延べ参加者数	134人	162人
糖尿病重症化予防 プログラム	毎年実施	情報提供実施率	100%	100%

個別保健事業計画

事業名	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成29年度)	平成30年度
特定健診の受診率 向上対策	受診勧奨の実施	特定健診受診率	36.9%	36.8%
特定保健指導の 実施率向上対策	勧奨の実施	特定保健指導 実施率	44.7%	63.9%
栄養相談	周知の実施	相談者数	55人	54人
運動教室 (なかがわフィット トネス倶楽部)	年12回開催	延べ参加者数	134人	162人

※評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
 a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難
 :「a:改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a」と記載

実績値		評価 (※)	達成につながる 取組・要素	今後の方向性	最終 目標値
令和元年度	令和2年度				
43.8%	45.0%	a	受診勧奨通知 休日の健診開催 健康ポイント事業対象	受診勧奨事業を継続して 行い、通院者の特定健診 受診勧奨も積極的に行い ます。	39.0%
48.6%	52.0%	a	受診勧奨の結果平成30 年度は目標値を超えた。	特定保健指導の参加勧奨 は継続して行っています。	60.0%
211人	185人	b	令和元年度より那珂よし 健康ポイント事業対象と した。	目標値を設定し更なる取 り組みを検討します。	200人
100%	100%	a	平成29年度はモデル地 区、平成30年度から全 地区を対象に実施した。	目標値を設定し更なる取 り組みを検討します。	100%

実績値		評価 (※)	成功・未達要因	今後の方向性	最終 目標値
令和元年度	令和2年度				
43.8%	45.0%	a	受診勧奨通知 休日の健診開催 健康ポイント事業対象	受診勧奨事業を継続して 行い、通院者の特定健診 受診勧奨も積極的に行い ます。	39.0%
48.6%	52.0%	a	受診勧奨の結果平成30 年度は目標値を超えた。	特定保健指導の参加勧奨 は継続して行っています。	60.0%
25人	46人	b	医療機関から相談対象者 の紹介が少なかった。	目標値を設定し更なる取 り組みを検討します。	48人
211人	185人	b	令和元年度より那珂よし 健康ポイント事業対象と した。	目標値を設定し更なる取 り組みを検討します。	200人

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下のとおりです。

①特定健診の受診率向上対策

ア. 周知や案内

効果的な周知を行うため、特定健診日程を網羅した「健康診査等のご案内」を毎年度作成・全戸発送し、一定期間を設け健康診査申込書及び健康管理調査書を回収しました。健診事業については、町ホームページ、町広報紙、町ケーブルテレビ等のメディアを活用し、継続的な周知を行っています。

また、令和2年度よりAIを活用し未受診者の特性に合わせた受診勧奨通知を発送しています。

イ. 充実した健診体制整備と若年者へのアプローチ

健康福祉課健康増進係と連携し、計画的及び充実した健診体制を構築しました。町の集団検診として、各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺)、肝炎ウィルス検診、骨粗しょう症検診等を同日に実施できるよう調整しています。

住民が受診しやすいよう配慮した土日等の健診、女性のためのレディース健診、夜間の健診を実施しています。

また、個別検診として子宮がん(21歳)・乳がん(41歳)検診を協力医療機関において実施しています。

若い頃から健康への意識づけが重要であり、20歳から39歳を対象に基本健診及び各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)を集団検診と同一日程で実施しています。

②特定保健指導の実施率向上対策

ア. 周知及び案内方法

- ・ 周知方法

健診当日に特定保健指導日をリーフレット配布にて周知しています。

- ・ 案内方法

対象者に対して、日程案内等を個別に通知しています。

イ. 未実施者に対する勧奨方法

- ・ 未実施者に対して、個別に電話等をし、初回面接日を案内し勧奨を行っています。

ウ. 日程及び開催場所の設定

- ・ 対象者が参加しやすいよう、各健診日に合わせた初回面接の日時及び開催場所を設定しています。

③健康相談及び健康教育等対策

ア. 個別栄養相談

- ・ 青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に管理栄養士による、個別の栄養相談を実施しています。
- ・ 集団健診にて保健指導が必要と認められる被保険者だけでなく、医療機関からの紹介、食事や栄養面での指導が必要と認められる小中学生と保護者等への支援を行っています。

イ. 運動教室(なかがわフィットネス倶楽部)

- ・ 町民の運動不足を解消し、生活習慣病予防と健康の維持増進のため、ウォーキングやエクササイズ等を通してメタボ予防・気分転換・仲間づくり・楽しみながら体を動かす習慣を作ることを推進しています。

④地域包括ケアの推進

南那須医師会多職種連携会議等に参加し、医療従事者、介護従事者等と情報共有や意見交換等を行っています。

また、担当者間で連携を図るとともに地域ケア会議等への参加や情報提供、そして、町が実施する高齢者の健康づくりの取組に対して支援を行っています。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、那珂川町国民健康保険における、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりです。被保険者数は平均4,662人、レセプト件数は平均5,108件、患者数は平均2,460人となっています。また、患者一人当たりの医療費は平均55,152円となっています。

基礎統計

		令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	
A	被保険者数(人)	4,689	4,653	4,650	4,651	4,642	4,648	4,655	
B	レセプト件数(件)	入院外	3,066	2,804	3,272	3,101	3,117	3,083	3,338
		入院	91	85	92	103	114	97	87
		調剤	1,931	1,780	1,972	1,849	1,835	1,809	1,955
		合計	5,088	4,669	5,336	5,053	5,066	4,989	5,380
C	医療費(円) ※	125,932,110	113,775,530	142,384,340	143,024,700	143,899,740	135,870,430	144,575,760	
D	患者数(人) ※	2,441	2,226	2,479	2,465	2,439	2,428	2,550	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,857	24,452	30,620	30,751	31,000	29,232	31,058	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,751	24,368	26,684	28,305	28,405	27,234	26,873	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,590	51,112	57,436	58,022	58,999	55,960	56,696	
B/A	受診率(%)	108.5%	100.3%	114.8%	108.6%	109.1%	107.3%	115.6%	
D/A	有病率(%)	52.1%	47.8%	53.3%	53.0%	52.5%	52.2%	54.8%	

		令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	4,657	4,663	4,672	4,670	4,689	4,662		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,170	3,264	3,021	3,062	3,374	3,139	37,672
		入院	110	109	86	105	102	98	1,181
		調剤	1,836	1,931	1,789	1,798	1,960	1,870	22,445
		合計	5,116	5,304	4,896	4,965	5,436	5,108	61,298
C	医療費(円) ※	132,946,380	148,740,990	122,932,130	129,262,820	144,917,200	135,688,511	1,628,262,130	
D	患者数(人) ※	2,510	2,539	2,407	2,437	2,602	2,460	29,523	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,548	31,898	26,313	27,679	30,906	29,108		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,986	28,043	25,109	26,035	26,659	26,563		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	52,967	58,583	51,073	53,042	55,695	55,152		
B/A	受診率(%)	109.9%	113.7%	104.8%	106.3%	115.9%	109.6%		
D/A	有病率(%)	53.9%	54.4%	51.5%	52.2%	55.5%	52.8%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成30年度から令和2年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析します。令和2年度を平成30年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数4,662人は、平成30年度4,837人より175人減少しており、医療費16億2,826万円は平成30年度16億2,253万円より573万円増加しています。また、一カ月平均の患者数2,460人は、平成30年度2,638人より178人減少しています。

年度別 基礎統計

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	4,837	4,668	4,662	
B	レセプト件数(件)	入院外	41,475	39,503	37,672
		入院	1,223	1,191	1,181
		調剤	24,441	23,714	22,445
		合計	67,139	64,408	61,298
C	医療費(円) ※	1,622,532,820	1,617,943,940	1,628,262,130	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	2,638	2,533	2,460	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	335,436	346,616	349,294	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	24,167	25,120	26,563	
D/A	有病率(%)	54.5%	54.3%	52.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

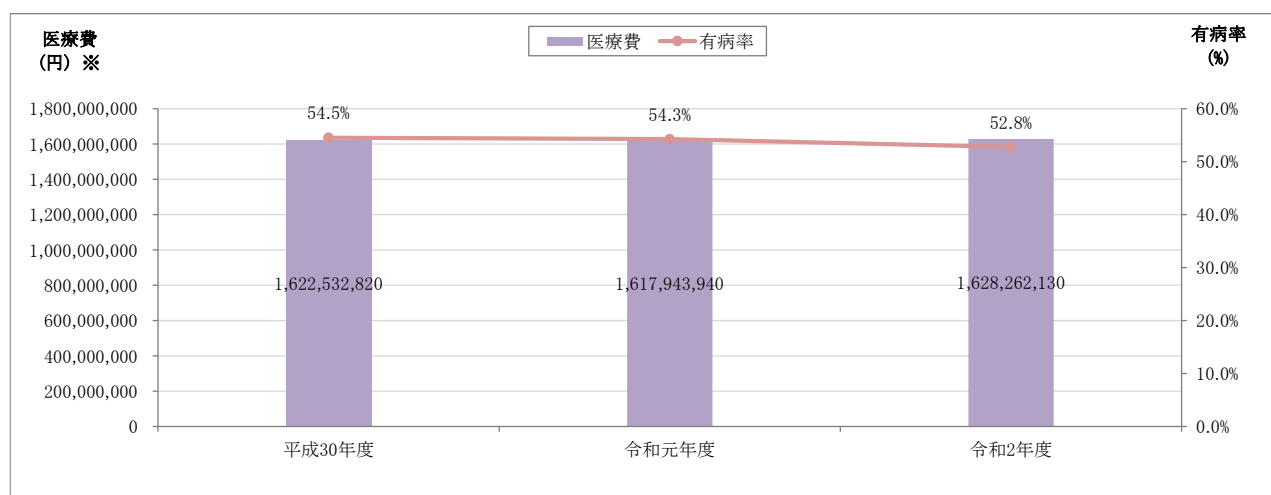
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計しました。高額レセプトは491件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占めています。高額レセプトの医療費は5億8,815万円となり、医療費全体の36.1%を占めています。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月
A	レセプト件数(件)	5,088	4,669	5,336	5,053	5,066	4,989	5,380
B	高額レセプト件数(件)	41	35	37	50	44	40	41
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.7%	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%
C	医療費全体(円) ※	125,932,110	113,775,530	142,384,340	143,024,700	143,899,740	135,870,430	144,575,760
D	高額レセプトの医療費(円) ※	42,994,200	38,615,050	55,344,110	57,573,060	55,222,710	51,586,620	52,575,630
E	その他レセプトの医療費(円) ※	82,937,910	75,160,480	87,040,230	85,451,640	88,677,030	84,283,810	92,000,130
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.1%	33.9%	38.9%	40.3%	38.4%	38.0%	36.4%

		令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	5,116	5,304	4,896	4,965	5,436	5,108	61,298
B	高額レセプト件数(件)	43	42	36	41	41	41	491
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	
C	医療費全体(円) ※	132,946,380	148,740,990	122,932,130	129,262,820	144,917,200	135,688,511	1,628,262,130
D	高額レセプトの医療費(円) ※	45,487,340	56,335,290	38,445,330	45,669,440	48,300,000	49,012,398	588,148,780
E	その他レセプトの医療費(円) ※	87,459,040	92,405,700	84,486,800	83,593,380	96,617,200	86,676,113	1,040,113,350
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.2%	37.9%	31.3%	35.3%	33.3%	36.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

以下は、平成30年度から令和2年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。令和2年度高額レセプト件数491件は平成30年度530件より39件減少しており、令和2年度高額レセプトの医療費5億8,815万円は平成30年度5億5,781万円より3,034万円増加しています。

年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
A	レセプト件数(件)	67,139	64,408	61,298
B	高額レセプト件数(件)	530	568	491
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.8%
C	医療費全体(円) ※	1,622,532,820	1,617,943,940	1,628,262,130
D	高額レセプトの医療費(円) ※	557,805,220	597,260,320	588,148,780
E	その他レセプトの医療費(円) ※	1,064,727,600	1,020,683,620	1,040,113,350
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.4%	36.9%	36.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

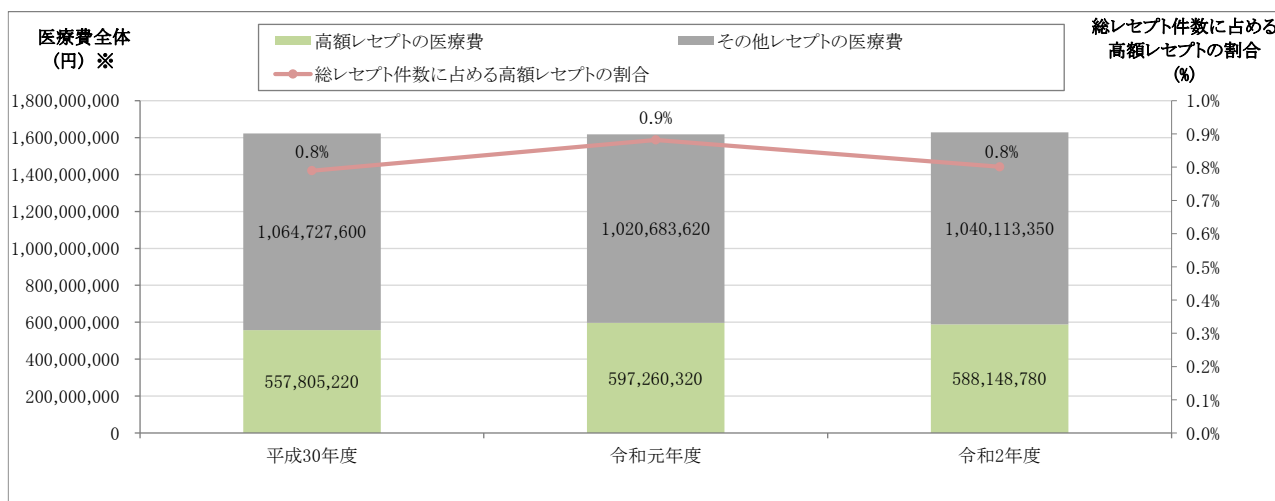
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「その他の神経系の疾患」「その他の感染症及び寄生虫症」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0606	その他の神経系の疾患	多発性硬化症, 末梢神経障害	3	7,690,070	69,029,520	76,719,590	25,573,197
2	0109	その他の感染症及び寄生虫症	グラム陰性桿菌敗血症, 敗血症	2	21,283,870	180,910	21,464,780	10,732,390
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	9,777,610	2,880	9,780,490	9,780,490
4	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	心原性ショック, 低酸素血症	2	13,423,870	384,560	13,808,430	6,904,215
5	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 骨髄異形成症候群, 虫垂腫瘍	5	29,589,230	1,594,790	31,184,020	6,236,804
6	1307	その他の脊柱障害	特発性側弯症, 腰椎側弯症	2	11,673,880	689,350	12,363,230	6,181,615
7	0903	その他の心疾患	急性心不全, 慢性血栓塞栓性肺高血圧症, 慢性心不全	8	28,851,190	13,189,670	42,040,860	5,255,108
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	4	15,060,270	4,268,190	19,328,460	4,832,115
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 下葉小細胞肺癌	7	23,602,010	9,895,110	33,497,120	4,785,303
10	0905	脳内出血	被殻出血	1	4,452,800	113,710	4,566,510	4,566,510
11	0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	1	3,763,270	608,110	4,371,380	4,371,380
12	0209	白血病	慢性骨髄性白血病	2	0	8,593,500	8,593,500	4,296,750
13	0906	脳梗塞	脳梗塞, 多発性脳梗塞, 小脳梗塞	7	26,690,060	1,066,070	27,756,130	3,965,161
14	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	下行結腸癌, S状結腸癌, 上行結腸癌	5	4,419,330	13,767,660	18,186,990	3,637,398
15	0908	その他の脳血管疾患	硬膜動静脈瘻	1	2,944,170	589,760	3,533,930	3,533,930
16	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード3b	4	9,362,790	4,469,070	13,831,860	3,457,965
17	0912	その他の循環器系の疾患	腸骨動脈瘤, 腹部大動脈瘤	2	5,384,100	1,431,360	6,815,460	3,407,730
18	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	残胃癌, 胃前庭部癌, 胃癌	7	16,805,240	5,602,720	22,407,960	3,201,137
19	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	2	1,251,400	5,046,740	6,298,140	3,149,070
20	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 原発性硬化性胆管炎, 急性穿孔性虫垂炎	7	19,860,310	2,051,790	21,912,100	3,130,300

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成30年度から令和2年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成30年度	1	1010 喘息	気管支喘息	1	9,294,030
	2	0209 白血病	慢性骨髄性白血病	1	6,969,630
	3	0912 その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 腹部大動脈瘤, 肺血栓塞栓症	3	6,863,007
	4	0601 パーキンソン病	パーキンソン症候群	1	6,782,230
	5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 血友病A	3	6,708,613
令和元年度	1	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	心アミロイドーシス	1	39,880,730
	2	0208 悪性リンパ腫	濾胞性リンパ腫・グレード3b, 濾胞性リンパ腫	2	9,741,945
	3	1010 喘息	気管支喘息	1	9,359,300
	4	0904 くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	8,736,530
	5	0905 脳内出血	脳出血	1	8,535,040
令和2年度	1	0606 その他の神経系の疾患	多発性硬化症, 末梢神経障害	3	25,573,197
	2	0109 その他の感染症及び寄生虫症	グラム陰性桿菌敗血症, 敗血症	2	10,732,390
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	9,780,490
	4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	心原性ショック, 低酸素血症	2	6,904,215
	5	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 骨髄異形成症候群, 虫垂腫瘍	5	6,236,804

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示したものです。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「虚血性心疾患」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝頭部癌, 声門癌	19	31,249,180	26,541,630	57,790,810	3,041,622
2	1901	骨折	腰椎圧迫骨折, 足関節外果骨折, 大腿骨頸部骨折	18	44,864,390	4,155,350	49,019,740	2,723,319
3	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 不安定狭心症	16	34,582,280	5,267,850	39,850,130	2,490,633
4	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性変形性股関節症	11	27,532,600	2,911,730	30,444,330	2,767,666
5	0903	その他の心疾患	急性心不全, 慢性血栓塞栓性肺高血圧症, 慢性心不全	8	28,851,190	13,189,670	42,040,860	5,255,108
5	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 肺化膿症, 特発性間質性肺炎	8	13,299,520	5,620,260	18,919,780	2,364,973
5	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 急性胆のう炎, 胆のう結石症	8	9,854,950	3,436,260	13,291,210	1,661,401
5	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 変形性腰椎症, 頸椎症性脊髄症	8	19,622,450	3,195,690	22,818,140	2,852,268
9	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	残胃癌, 胃前庭部癌, 胃癌	7	16,805,240	5,602,720	22,407,960	3,201,137
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 下葉小細胞肺癌	7	23,602,010	9,895,110	33,497,120	4,785,303
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 遷延性統合失調症	7	11,133,640	2,987,460	14,121,100	2,017,300
9	0906	脳梗塞	脳梗塞, 多発性脳梗塞, 小脳梗塞	7	26,690,060	1,066,070	27,756,130	3,965,161
9	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, 原発性硬化性胆管炎, 急性穿孔性虫垂炎	7	19,860,310	2,051,790	21,912,100	3,130,300
9	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 足部壊死性筋膜炎, 横紋筋融解	7	14,581,420	3,520,420	18,101,840	2,585,977
15	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	下行結腸癌, S状結腸癌, 上行結腸癌	5	4,419,330	13,767,660	18,186,990	3,637,398
15	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 骨髄異形成症候群, 虫垂腫瘍	5	29,589,230	1,594,790	31,184,020	6,236,804
15	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩胛板断裂, 脊髄損傷, 大腿打撲傷	5	5,224,790	1,148,850	6,373,640	1,274,728
18	0105	ウイルス性肝炎	C型代償性肝硬変, C型肝炎, C型慢性肝炎	4	0	10,160,750	10,160,750	2,540,188
18	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房上外側部乳癌	4	4,489,860	2,995,050	7,484,910	1,871,228
18	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード3b	4	9,362,790	4,469,070	13,831,860	3,457,965

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成30年度から令和2年度における、患者数上位5疾病を年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円) ※
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 尿管癌, 膀胱癌	24	4,604,581
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折, 大腿骨顆上骨折	13	3,816,984
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 中葉肺癌	12	4,580,753
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症	11	2,373,597
	5	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 慢性血栓性肺高血圧症, うっ血性心不全	10	4,346,736
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	10	6,047,765
令和元年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 前立腺癌, 膵頭部癌	29	4,313,826
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 心室細動	17	4,034,305
	3	1901 骨折	膝蓋骨骨折, 大腿骨頸部骨折, 脛骨高原骨折	16	2,555,772
	4	0704 その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	10	1,428,057
	4	1302 関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 原発性股関節症	10	2,373,873
令和2年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 声門癌	19	3,041,622
	2	1901 骨折	腰椎圧迫骨折, 足関節外果骨折, 大腿骨頸部骨折	18	2,723,319
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 不安定狭心症	16	2,490,633
	4	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性変形性股関節症	11	2,767,666
	5	0903 その他の心疾患	急性心不全, 慢性血栓性肺高血圧症, 慢性心不全	8	5,255,108
	5	1011 その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 肺化膿症, 特発性間質性肺炎	8	2,364,973
	5	1111 胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 急性胆のう炎, 胆のう結石症	8	1,661,401
	5	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 変形性腰椎症, 頸椎症性脊髄症	8	2,852,268

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.1%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の13.5%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	47,508,673	2.9%	12	4,137	13	986	11	48,183	12
II. 新生物<腫瘍>	219,782,055	13.5%	2	5,283	11	1,300	7	169,063	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	14,981,521	0.9%	15	2,047	15	528	15	28,374	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	190,768,526	11.7%	3	25,376	2	2,252	1	84,711	8
V. 精神及び行動の障害	117,321,906	7.2%	6	6,900	7	590	14	198,851	2
VI. 神経系の疾患	166,311,825	10.2%	4	11,739	5	1,051	10	158,242	4
VII. 眼及び付属器の疾患	58,934,716	3.6%	11	5,917	9	1,365	6	43,176	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,436,725	0.3%	17	1,281	17	317	16	13,996	20
IX. 循環器系の疾患	246,080,573	15.1%	1	28,226	1	2,196	2	112,059	5
X. 呼吸器系の疾患	67,950,026	4.2%	9	7,680	6	1,482	5	45,850	13
X I. 消化器系の疾患 ※	110,415,530	6.8%	7	18,753	3	2,007	3	55,015	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,195,095	1.5%	14	6,131	8	1,239	8	20,335	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	156,099,272	9.6%	5	14,526	4	1,711	4	91,233	7
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	93,855,859	5.8%	8	4,859	12	847	12	110,810	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	903,502	0.1%	21	36	20	15	20	60,233	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,750,490	0.1%	19	15	21	5	22	350,098	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	944,328	0.1%	20	336	18	102	19	9,258	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	31,829,943	2.0%	13	5,433	10	1,061	9	30,000	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	59,382,690	3.7%	10	2,667	14	775	13	76,623	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,751,299	0.5%	16	1,497	16	298	17	26,011	17
X X II. 特殊目的用コード	4,431,231	0.3%	18	272	19	187	18	23,696	18
分類外	27,485	0.0%	22	10	22	7	21	3,926	22
合計	1,626,663,270			61,058		4,054		401,249	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

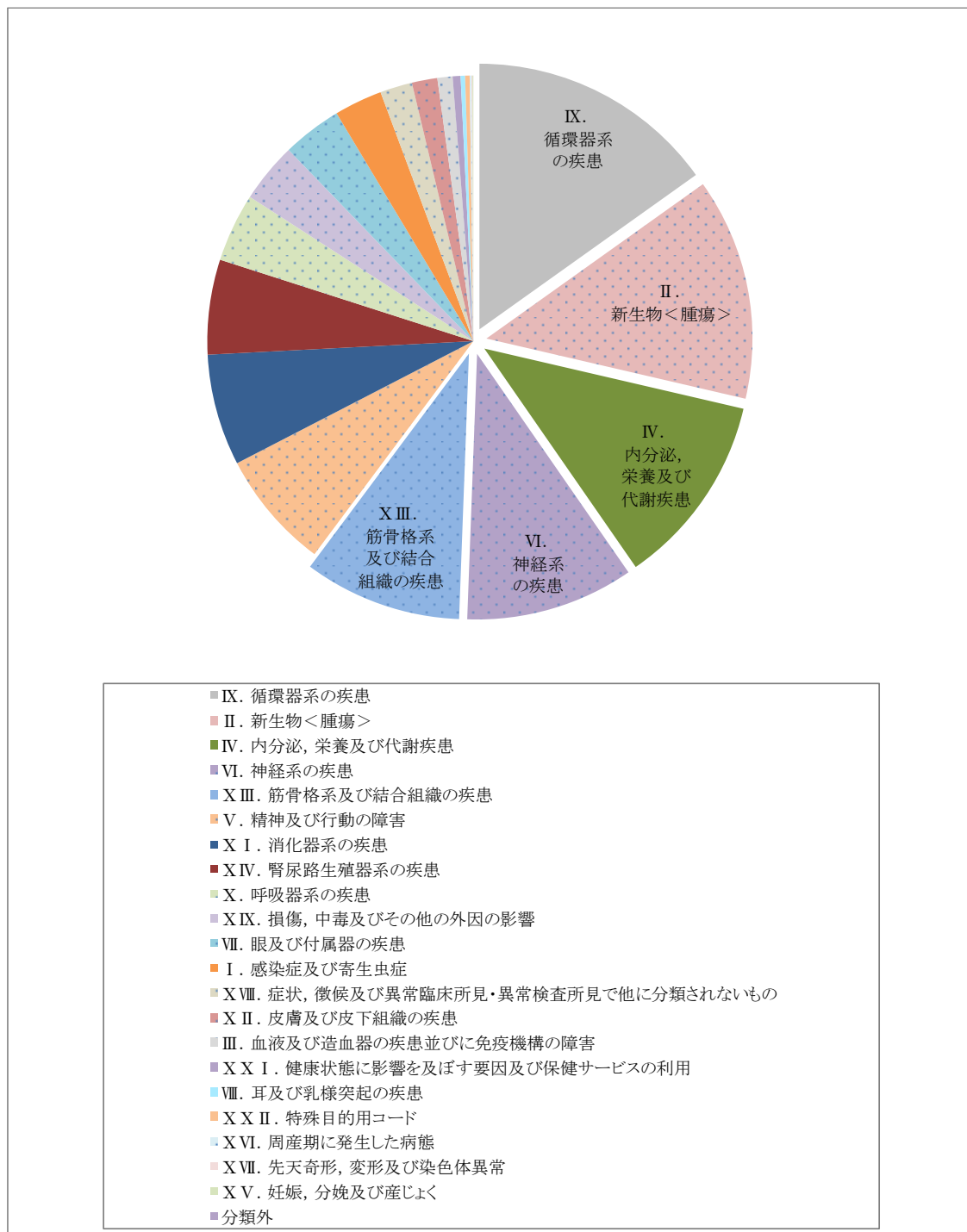
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「神経系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、平成30年度から令和2年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	45,215,182	2.8%	12	28,887,495	1.8%	12	47,508,673	2.9%	12
II. 新生物<腫瘍>	296,836,792	18.3%	1	274,003,210	16.9%	1	219,782,055	13.5%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20,065,957	1.2%	15	14,524,080	0.9%	15	14,981,521	0.9%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	144,162,062	8.9%	4	170,820,030	10.6%	3	190,768,526	11.7%	3
V. 精神及び行動の障害	107,284,503	6.6%	7	109,897,922	6.8%	6	117,321,906	7.2%	6
VI. 神経系の疾患	124,321,094	7.7%	5	147,152,285	9.1%	4	166,311,825	10.2%	4
VII. 眼及び付属器の疾患	55,775,012	3.4%	10	54,022,458	3.3%	11	58,934,716	3.6%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,799,362	0.3%	17	4,838,565	0.3%	17	4,436,725	0.3%	17
IX. 循環器系の疾患	246,350,315	15.2%	2	271,202,669	16.8%	2	246,080,573	15.1%	1
X. 呼吸器系の疾患	85,889,657	5.3%	9	83,292,786	5.2%	9	67,950,026	4.2%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	102,240,668	6.3%	8	104,204,547	6.4%	7	110,415,530	6.8%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,151,070	1.7%	13	25,049,978	1.5%	14	25,195,095	1.5%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	151,548,720	9.4%	3	129,201,251	8.0%	5	156,099,272	9.6%	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	117,977,670	7.3%	6	96,147,597	5.9%	8	93,855,859	5.8%	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,634,081	0.1%	19	1,545,080	0.1%	20	903,502	0.1%	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,857,464	0.2%	18	2,117,410	0.1%	19	1,750,490	0.1%	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	458,398	0.0%	20	2,242,268	0.1%	18	944,328	0.1%	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,093,902	1.6%	14	27,116,257	1.7%	13	31,829,943	2.0%	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	50,559,171	3.1%	11	62,699,587	3.9%	10	59,382,690	3.7%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9,258,049	0.6%	16	7,600,659	0.5%	16	7,751,299	0.5%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		4,431,231	0.3%	18
分類外	92,831	0.0%	21	23,376	0.0%	21	27,485	0.0%	22
合計	1,620,571,960			1,616,589,510			1,626,663,270		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

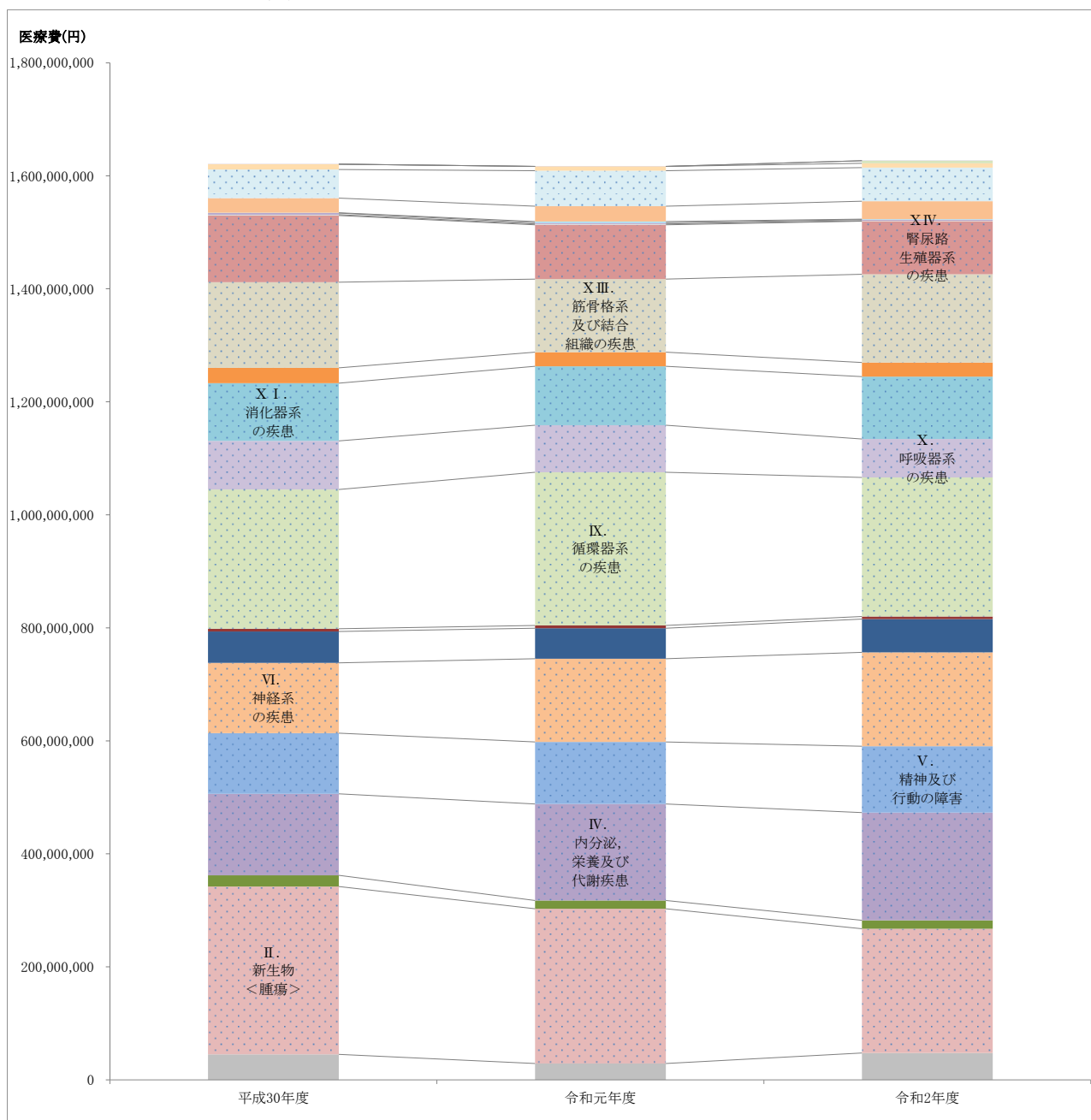
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606 その他の神経系の疾患	117,964,431	7.3%	964
2	0402 糖尿病	90,265,721	5.5%	1,378
3	0901 高血圧性疾患	85,579,650	5.3%	1,849
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	72,267,741	4.4%	596
5	1113 その他の消化器系の疾患	68,564,596	4.2%	1,374
6	1402 腎不全	68,018,443	4.2%	106
7	0903 その他の心疾患	67,813,784	4.2%	693
8	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	64,851,479	4.0%	194
9	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	51,251,126	3.2%	651
10	0902 虚血性心疾患	43,691,924	2.7%	331

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	85,579,650	1,849	45.6%
2	0402 糖尿病	90,265,721	1,378	34.0%
3	1113 その他の消化器系の疾患	68,564,596	1,374	33.9%
4	0403 脂質異常症	42,545,559	1,304	32.2%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	31,829,943	1,061	26.2%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,778,819	1,004	24.8%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	33,776,959	998	24.6%
8	0606 その他の神経系の疾患	117,964,431	964	23.8%
9	0703 屈折及び調節の障害	3,196,607	915	22.6%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	8,995,292	873	21.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	13,321,289	9	1,480,143
2	1402 腎不全	68,018,443	106	641,683
3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,175,290	3	391,763
4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,223,993	20	361,200
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	64,851,479	194	334,286
6	1602 その他の周産期に発生した病態	575,200	2	287,600
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,822,646	24	242,610
8	0208 悪性リンパ腫	13,516,574	56	241,367
9	0603 てんかん	26,392,781	127	207,817
10	0601 パーキンソン病	10,945,575	58	188,717

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医療レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成30年度から令和2年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	125,894,339	7.8%	543
	2	0901 高血圧性疾患	91,159,156	5.6%	1,811
	3	1402 腎不全	89,838,114	5.5%	132
	4	0402 糖尿病	82,516,694	5.1%	1,268
	5	0606 その他の神経系の疾患	80,172,634	4.9%	977
	6	0903 その他の心疾患	66,593,387	4.1%	653
	7	1113 その他の消化器系の疾患	61,660,252	3.8%	1,394
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	57,288,886	3.5%	188
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	47,339,143	2.9%	204
	10	0403 脂質異常症	40,737,084	2.5%	1,211
令和元年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	125,207,420	7.7%	519
	2	0606 その他の神経系の疾患	100,444,360	6.2%	941
	3	0903 その他の心疾患	88,189,404	5.5%	686
	4	0901 高血圧性疾患	88,008,181	5.4%	1,764
	5	0402 糖尿病	86,106,705	5.3%	1,289
	6	1402 腎不全	70,281,815	4.3%	125
	7	1113 その他の消化器系の疾患	65,248,451	4.0%	1,360
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	59,633,859	3.7%	183
	9	0403 脂質異常症	42,888,630	2.7%	1,207
	10	1901 骨折	42,344,506	2.6%	231
令和2年度	1	0606 その他の神経系の疾患	117,964,431	7.3%	964
	2	0402 糖尿病	90,265,721	5.5%	1,378
	3	0901 高血圧性疾患	85,579,650	5.3%	1,849
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	72,267,741	4.4%	596
	5	1113 その他の消化器系の疾患	68,564,596	4.2%	1,374
	6	1402 腎不全	68,018,443	4.2%	106
	7	0903 その他の心疾患	67,813,784	4.2%	693
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	64,851,479	4.0%	194
	9	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	51,251,126	3.2%	651
	10	0902 虚血性心疾患	43,691,924	2.7%	331

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位 10 疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位 10 疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成30年度	1	0901 高血圧性疾患	91,159,156	1,811	41.0%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	61,660,252	1,394	31.6%
	3	0402 糖尿病	82,516,694	1,268	28.7%
	4	0403 脂質異常症	40,737,084	1,211	27.4%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	11,493,838	1,163	26.4%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,093,902	1,158	26.2%
	7	0703 屈折及び調節の障害	3,597,126	1,008	22.8%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	31,556,681	1,002	22.7%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	10,163,501	1,000	22.7%
	10	0606 その他の神経系の疾患	80,172,634	977	22.1%
令和元年度	1	0901 高血圧性疾患	88,008,181	1,764	42.6%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	65,248,451	1,360	32.8%
	3	0402 糖尿病	86,106,705	1,289	31.1%
	4	0403 脂質異常症	42,888,630	1,207	29.1%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27,116,257	1,110	26.8%
	6	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,829,323	1,082	26.1%
	7	0606 その他の神経系の疾患	100,444,360	941	22.7%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	9,707,495	936	22.6%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	33,999,775	928	22.4%
	10	0703 屈折及び調節の障害	3,140,891	907	21.9%
令和2年度	1	0901 高血圧性疾患	85,579,650	1,849	45.6%
	2	0402 糖尿病	90,265,721	1,378	34.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	68,564,596	1,374	33.9%
	4	0403 脂質異常症	42,545,559	1,304	32.2%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	31,829,943	1,061	26.2%
	6	1105 胃炎及び十二指腸炎	10,778,819	1,004	24.8%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	33,776,959	998	24.6%
	8	0606 その他の神経系の疾患	117,964,431	964	23.8%
	9	0703 屈折及び調節の障害	3,196,607	915	22.6%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	8,995,292	873	21.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位 10 疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位 10 疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成30年度	1	0209 白血病	7,190,326	10	719,033
	2	0904 くも膜下出血	9,065,282	13	697,329
	3	1402 腎不全	89,838,114	132	680,592
	4	1602 その他の周産期に発生した病態	2,842,061	5	568,412
	5	0208 悪性リンパ腫	18,025,799	43	419,205
	6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	10,278,285	29	354,424
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	57,288,886	188	304,728
	8	0601 パーキンソン病	14,182,908	54	262,646
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	47,339,143	204	232,055
	10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	125,894,339	543	231,850
令和元年度	1	0209 白血病	8,536,923	13	656,686
	2	1402 腎不全	70,281,815	125	562,255
	3	0208 悪性リンパ腫	22,038,514	43	512,524
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,069,351	29	381,702
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,042,362	3	347,454
	6	0904 くも膜下出血	7,437,543	22	338,070
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	59,633,859	183	325,868
	8	1602 その他の周産期に発生した病態	1,075,048	4	268,762
	9	0601 パーキンソン病	13,591,238	53	256,438
	10	0905 脳内出血	8,835,492	36	245,430
令和2年度	1	0209 白血病	13,321,289	9	1,480,143
	2	1402 腎不全	68,018,443	106	641,683
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,175,290	3	391,763
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,223,993	20	361,200
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	64,851,479	194	334,286
	6	1602 その他の周産期に発生した病態	575,200	2	287,600
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,822,646	24	242,610
	8	0208 悪性リンパ腫	13,516,574	56	241,367
	9	0603 てんかん	26,392,781	127	207,817
	10	0601 パーキンソン病	10,945,575	58	188,717

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
	1,626,663,270			61,058			4,054				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	47,508,673	2.9%		4,137	6.8%		986	24.3%		48,183	
0101 腸管感染症	1,476,395	0.1%	86	665	1.1%	60	198	4.9%	51	7,457	106
0102 結核	658,888	0.0%	98	107	0.2%	100	44	1.1%	94	14,975	85
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	462,426	0.0%	103	217	0.4%	89	134	3.3%	64	3,451	120
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	2,087,728	0.1%	76	510	0.8%	66	146	3.6%	62	14,300	88
0105 ウイルス性肝炎	14,451,119	0.9%	31	827	1.4%	55	243	6.0%	46	59,470	38
0106 その他のウイルス性疾患	4,535,710	0.3%	61	106	0.2%	101	51	1.3%	91	88,935	25
0107 真菌症	7,711,322	0.5%	48	1,489	2.4%	35	334	8.2%	29	23,088	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	6,422	0.0%	121	2	0.0%	121	1	0.0%	119	6,422	108
0109 その他の感染症及び寄生虫症	16,118,663	1.0%	29	864	1.4%	52	259	6.4%	43	62,234	35
II. 新生物<腫瘍>	219,782,055	13.5%		5,283	8.7%		1,300	32.1%		169,063	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	22,323,766	1.4%	24	932	1.5%	49	341	8.4%	28	65,466	33
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	23,571,420	1.4%	23	825	1.4%	56	272	6.7%	41	86,660	27
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	5,822,646	0.4%	57	186	0.3%	91	24	0.6%	100	242,610	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,774,526	0.2%	68	302	0.5%	81	128	3.2%	65	29,488	60
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	28,593,579	1.8%	17	489	0.8%	67	181	4.5%	56	157,976	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	9,256,716	0.6%	42	457	0.7%	70	113	2.8%	72	81,918	29
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	2,705,522	0.2%	72	181	0.3%	92	87	2.1%	80	31,098	58
0208 悪性リンパ腫	13,516,574	0.8%	34	254	0.4%	86	56	1.4%	89	241,367	8
0209 白血病	13,321,289	0.8%	35	30	0.0%	108	9	0.2%	110	1,480,143	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	72,267,741	4.4%	4	2,269	3.7%	27	596	14.7%	18	121,255	16
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	24,628,276	1.5%	22	1,457	2.4%	38	546	13.5%	19	45,107	46
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	14,981,521	0.9%		2,047	3.4%		528	13.0%		28,374	
0301 貧血	5,087,537	0.3%	59	1,341	2.2%	40	320	7.9%	33	15,899	83
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,893,984	0.6%	40	915	1.5%	50	307	7.6%	35	32,228	56
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	190,768,526	11.7%		25,376	41.6%		2,252	55.6%		84,711	
0401 甲状腺障害	6,706,120	0.4%	54	1,431	2.3%	39	353	8.7%	26	18,998	78
0402 糖尿病	90,265,721	5.5%	2	11,847	19.4%	4	1,378	34.0%	2	65,505	32
0403 脂質異常症	42,545,559	2.6%	12	16,784	27.5%	2	1,304	32.2%	4	32,627	55
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	51,251,126	3.2%	9	5,112	8.4%	8	651	16.1%	14	78,727	30
V. 精神及び行動の障害	117,321,906	7.2%		6,900	11.3%		590	14.6%		198,851	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,549,153	0.1%	85	52	0.1%	107	17	0.4%	105	91,127	24
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	421,190	0.0%	105	83	0.1%	103	15	0.4%	106	28,079	62
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	64,851,479	4.0%	8	2,894	4.7%	19	194	4.8%	53	334,286	5

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		1,626,663,270			61,058			4,054				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	34,010,308	2.1%	13	3,967	6.5%	15	292	7.2%	38	116,474	17
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	8,242,305	0.5%	47	3,526	5.8%	16	323	8.0%	32	25,518	67
0506	知的障害<精神遅滞>	671,669	0.0%	97	256	0.4%	85	19	0.5%	104	35,351	53
0507	その他の精神及び行動の障害	7,575,802	0.5%	50	582	1.0%	64	73	1.8%	85	103,778	18
VI. 神経系の疾患		166,311,825	10.2%		11,739	19.2%		1,051	25.9%		158,242	
0601	パーキンソン病	10,945,575	0.7%	38	864	1.4%	52	58	1.4%	88	188,717	10
0602	アルツハイマー病	3,419,879	0.2%	69	406	0.7%	73	39	1.0%	96	87,689	26
0603	てんかん	26,392,781	1.6%	21	1,605	2.6%	33	127	3.1%	66	207,817	9
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,223,993	0.4%	52	117	0.2%	98	20	0.5%	103	361,200	4
0605	自律神経系の障害	365,166	0.0%	108	289	0.5%	83	23	0.6%	101	15,877	84
0606	その他の神経系の疾患	117,964,431	7.3%	1	10,441	17.1%	5	964	23.8%	8	122,370	15
VII. 眼及び付属器の疾患		58,934,716	3.6%		5,917	9.7%		1,365	33.7%		43,176	
0701	結膜炎	5,210,844	0.3%	58	2,374	3.9%	26	618	15.2%	16	8,432	102
0702	白内障	16,750,306	1.0%	28	2,508	4.1%	24	525	13.0%	21	31,905	57
0703	屈折及び調節の障害	3,196,607	0.2%	71	3,387	5.5%	17	915	22.6%	9	3,494	119
0704	その他の眼及び付属器の疾患	33,776,959	2.1%	14	4,296	7.0%	11	998	24.6%	7	33,845	54
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		4,436,725	0.3%		1,281	2.1%		317	7.8%		13,996	
0801	外耳炎	427,037	0.0%	104	294	0.5%	82	100	2.5%	76	4,270	115
0802	その他の外耳疾患	329,174	0.0%	110	167	0.3%	95	81	2.0%	82	4,064	116
0803	中耳炎	539,052	0.0%	101	214	0.4%	90	47	1.2%	92	11,469	92
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	148,968	0.0%	112	80	0.1%	104	33	0.8%	98	4,514	114
0805	メニエール病	756,602	0.0%	96	468	0.8%	69	96	2.4%	77	7,881	105
0806	その他の内耳疾患	399,992	0.0%	107	58	0.1%	106	22	0.5%	102	18,181	80
0807	その他の耳疾患	1,835,900	0.1%	79	405	0.7%	74	123	3.0%	67	14,926	87
IX. 循環器系の疾患		246,080,573	15.1%		28,226	46.2%		2,196	54.2%		112,059	
0901	高血圧性疾患	85,579,650	5.3%	3	25,385	41.6%	1	1,849	45.6%	1	46,284	44
0902	虚血性心疾患	43,691,924	2.7%	10	2,761	4.5%	21	331	8.2%	30	132,000	14
0903	その他の心疾患	67,813,784	4.2%	7	4,791	7.8%	9	693	17.1%	12	97,855	20
0904	くも膜下出血	2,006,002	0.1%	78	26	0.0%	110	14	0.3%	108	143,286	13
0905	脳内出血	4,266,105	0.3%	65	158	0.3%	97	52	1.3%	90	82,040	28
0906	脳梗塞	19,347,147	1.2%	26	1,618	2.6%	32	205	5.1%	50	94,376	23
0907	脳動脈硬化(症)	12,338	0.0%	120	3	0.0%	120	1	0.0%	119	12,338	91
0908	その他の脳血管疾患	6,503,305	0.4%	55	562	0.9%	65	123	3.0%	67	52,872	40
0909	動脈硬化(症)	4,360,213	0.3%	63	442	0.7%	71	103	2.5%	75	42,332	47
0911	低血圧(症)	251,426	0.0%	111	89	0.1%	102	10	0.2%	109	25,143	69
0912	その他の循環器系の疾患	12,248,679	0.8%	36	1,123	1.8%	44	270	6.7%	42	45,365	45
X. 呼吸器系の疾患		67,950,026	4.2%		7,680	12.6%		1,482	36.6%		45,850	
1001	急性鼻咽喉炎[かぜ]<感冒>	331,805	0.0%	109	218	0.4%	88	93	2.3%	79	3,568	118
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	1,183,245	0.1%	90	695	1.1%	58	252	6.2%	44	4,695	113
1003	その他の急性上気道感染症	1,665,217	0.1%	82	758	1.2%	57	326	8.0%	31	5,108	112

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		1,626,663,270			61,058			4,054				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
1004	肺炎	5,957,658	0.4%	56	370	0.6%	76	165	4.1%	58	36,107	50
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,561,941	0.2%	74	693	1.1%	59	250	6.2%	45	10,248	98
1006	アレルギー性鼻炎	7,292,294	0.4%	51	2,948	4.8%	18	646	15.9%	15	11,288	93
1007	慢性副鼻腔炎	1,349,206	0.1%	87	429	0.7%	72	81	2.0%	82	16,657	82
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	1,068,218	0.1%	93	482	0.8%	68	154	3.8%	60	6,936	107
1009	慢性閉塞性肺疾患	8,899,675	0.5%	46	1,467	2.4%	37	178	4.4%	57	49,998	41
1010	喘息	9,066,462	0.6%	44	1,596	2.6%	34	241	5.9%	47	37,620	49
1011	その他の呼吸器系の疾患	28,574,305	1.8%	18	1,058	1.7%	45	289	7.1%	39	98,873	19
X I . 消化器系の疾患		110,415,530	6.8%		18,753	30.7%		2,007	49.5%		55,015	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	24,030	0.0%	118	7	0.0%	117	4	0.1%	115	6,008	110
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	21,062	0.0%	119	18	0.0%	111	7	0.2%	112	3,009	121
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	6,856,208	0.4%	53	2,615	4.3%	23	300	7.4%	36	22,854	74
1105	胃炎及び十二指腸炎	10,778,819	0.7%	39	5,874	9.6%	6	1,004	24.8%	6	10,736	95
1106	痔核	1,598,038	0.1%	84	370	0.6%	76	79	1.9%	84	20,228	77
1107	アルコール性肝疾患	1,078,000	0.1%	92	181	0.3%	92	30	0.7%	99	35,933	51
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,615,092	0.1%	83	982	1.6%	47	108	2.7%	73	14,955	86
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,256,819	0.1%	88	180	0.3%	94	45	1.1%	93	27,929	63
1110	その他の肝疾患	4,342,532	0.3%	64	1,720	2.8%	31	407	10.0%	25	10,670	96
1111	胆石症及び胆のう炎	10,986,580	0.7%	37	609	1.0%	62	114	2.8%	71	96,374	21
1112	膵疾患	3,293,754	0.2%	70	330	0.5%	79	121	3.0%	69	27,221	64
1113	その他の消化器系の疾患	68,564,596	4.2%	5	13,667	22.4%	3	1,374	33.9%	3	49,901	42
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		25,195,095	1.5%		6,131	10.0%		1,239	30.6%		20,335	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	1,798,784	0.1%	80	865	1.4%	51	344	8.5%	27	5,229	111
1202	皮膚炎及び湿疹	8,995,292	0.6%	45	4,270	7.0%	12	873	21.5%	10	10,304	97
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	14,401,019	0.9%	32	2,710	4.4%	22	541	13.3%	20	26,619	65
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		156,099,272	9.6%		14,526	23.8%		1,711	42.2%		91,233	
1301	炎症性多発性関節障害	19,062,554	1.2%	27	2,022	3.3%	28	319	7.9%	34	59,757	37
1302	関節症	33,162,669	2.0%	15	4,018	6.6%	14	510	12.6%	22	65,025	34
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	26,776,487	1.6%	20	2,775	4.5%	20	445	11.0%	23	60,172	36
1304	椎間板障害	2,647,988	0.2%	73	945	1.5%	48	196	4.8%	52	13,510	89
1305	頸腕症候群	2,048,405	0.1%	77	1,317	2.2%	41	182	4.5%	55	11,255	94
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	9,078,150	0.6%	43	4,499	7.4%	10	684	16.9%	13	13,272	90
1307	その他の脊柱障害	13,730,460	0.8%	33	624	1.0%	61	143	3.5%	63	96,017	22
1308	肩の傷害<損傷>	2,325,804	0.1%	75	1,317	2.2%	41	233	5.7%	49	9,982	100
1309	骨の密度及び構造の障害	19,510,835	1.2%	25	2,427	4.0%	25	286	7.1%	40	68,220	31
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	27,755,920	1.7%	19	4,251	7.0%	13	779	19.2%	11	35,630	52

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		1,626,663,270			61,058			4,054				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患		93,855,859	5.8%		4,859	8.0%		847	20.9%		110,810	
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4,869,434	0.3%	60	597	1.0%	63	121	3.0%	69	40,243	48
1402	腎不全	68,018,443	4.2%	6	841	1.4%	54	106	2.6%	74	641,683	2
1403	尿路結石症	1,677,211	0.1%	81	230	0.4%	87	66	1.6%	87	25,412	68
1404	その他の腎尿路系の疾患	9,303,873	0.6%	41	2,004	3.3%	29	436	10.8%	24	21,339	75
1405	前立腺肥大(症)	3,953,746	0.2%	67	1,277	2.1%	43	164	4.0%	59	24,108	71
1406	その他の男性生殖器系の疾患	574,549	0.0%	100	113	0.2%	99	34	0.8%	97	16,899	81
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	1,251,833	0.1%	89	378	0.6%	75	68	1.7%	86	18,409	79
1408	乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	4,206,770	0.3%	66	337	0.6%	78	148	3.7%	61	28,424	61
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく		903,502	0.1%		36	0.1%		15	0.4%		60,233	
1501	流産	46,653	0.0%	116	7	0.0%	117	1	0.0%	119	46,653	43
1502	妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	856,849	0.1%	95	30	0.0%	108	15	0.4%	106	57,123	39
XVI. 周産期に発生した病態		1,750,490	0.1%		15	0.0%		5	0.1%		350,098	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,175,290	0.1%	91	11	0.0%	114	3	0.1%	117	391,763	3
1602	その他の周産期に発生した病態	575,200	0.0%	99	4	0.0%	119	2	0.0%	118	287,600	6
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常		944,328	0.1%		336	0.6%		102	2.5%		9,258	
1701	心臓の先天奇形	57,910	0.0%	115	9	0.0%	116	7	0.2%	112	8,273	104
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	886,418	0.1%	94	327	0.5%	80	95	2.3%	78	9,331	101
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		31,829,943	2.0%		5,433	8.9%		1,061	26.2%		30,000	
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	31,829,943	2.0%	16	5,433	8.9%	7	1,061	26.2%	5	30,000	59
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		59,382,690	3.7%		2,667	4.4%		775	19.1%		76,623	
1901	骨折	43,449,584	2.7%	11	1,005	1.6%	46	240	5.9%	48	181,040	11
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	408,156	0.0%	106	79	0.1%	105	40	1.0%	95	10,204	99
1903	熱傷及び腐食	75,613	0.0%	114	18	0.0%	111	9	0.2%	110	8,401	103
1904	中毒	519,354	0.0%	102	163	0.3%	96	84	2.1%	81	6,183	109
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	14,929,983	0.9%	30	1,788	2.9%	30	603	14.9%	17	24,760	70
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		7,751,299	0.5%		1,497	2.5%		298	7.4%		26,011	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	81,480	0.0%	113	12	0.0%	113	4	0.1%	115	20,370	76
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,626,663,270	61,058	4,054

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,669,819	0.5%	49	1,485	2.4%	36	294	7.3%	37	26,088	66
XXII. 特殊目的用コード		4,431,231	0.3%		272	0.4%		187	4.6%		23,696	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	4,431,231	0.3%	62	272	0.4%	84	187	4.6%	54	23,696	72
分類外		27,485	0.0%		10	0.0%		7	0.2%		3,926	
9999	分類外	27,485	0.0%	117	10	0.0%	115	7	0.2%	112	3,926	117

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

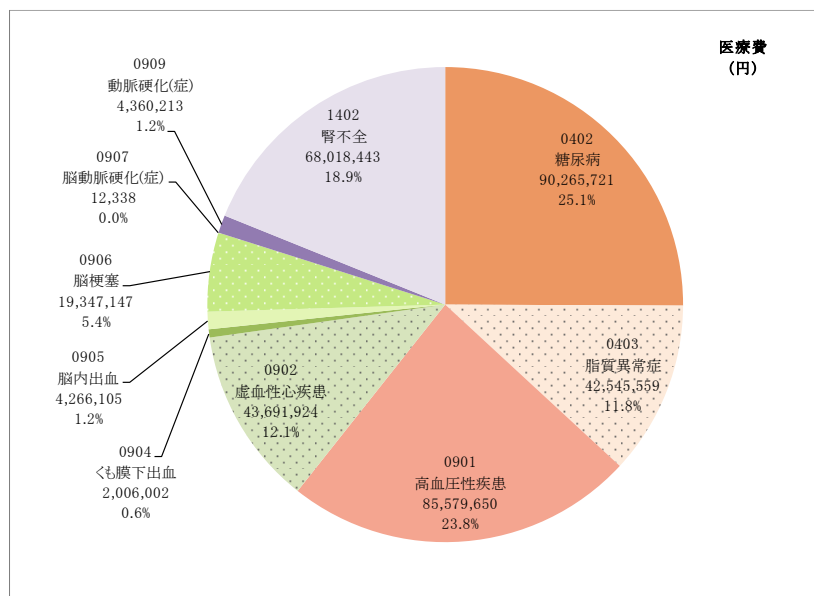
(4) 生活習慣病に係る医療費

令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出しました。糖尿病医療費は9,027万円、脂質異常症医療費は4,255万円、高血圧性疾患医療費は8,558万円となります。

生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	90,265,721	25.1%	1	1,378	26.8%	2	65,505	6
0403 脂質異常症	42,545,559	11.8%	5	1,304	25.3%	3	32,627	9
0901 高血圧性疾患	85,579,650	23.8%	2	1,849	35.9%	1	46,284	7
0902 虚血性心疾患	43,691,924	12.1%	4	331	6.4%	4	132,000	3
0904 くも膜下出血	2,006,002	0.6%	9	14	0.3%	9	143,286	2
0905 脳内出血	4,266,105	1.2%	8	52	1.0%	8	82,040	5
0906 脳梗塞	19,347,147	5.4%	6	205	4.0%	5	94,376	4
0907 脳動脈硬化(症)	12,338	0.0%	10	1	0.0%	10	12,338	10
0909 動脈硬化(症)	4,360,213	1.2%	7	103	2.0%	7	42,332	8
1402 腎不全	68,018,443	18.9%	3	106	2.1%	6	641,683	1
合計	360,093,102			2,598	50.5%		138,604	

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

以下は、平成30年度から令和2年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。令和2年度を平成30年度と比較すると、糖尿病医療費9,027万円は、平成30年度8,252万円より775万円増加しています。また、脂質異常症医療費4,255万円は、平成30年度4,074万円より181万円増加しています。高血圧性疾患医療費8,558万円は、平成30年度9,116万円より558万円減少しています。

年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	82,516,694	22.9%	86,106,705	24.3%	90,265,721	25.1%
0403	脂質異常症	40,737,084	11.3%	42,888,630	12.1%	42,545,559	11.8%
0901	高血圧性疾患	91,159,156	25.2%	88,008,181	24.9%	85,579,650	23.8%
0902	虚血性心疾患	15,636,054	4.3%	22,486,904	6.4%	43,691,924	12.1%
0904	くも膜下出血	9,065,282	2.5%	7,437,543	2.1%	2,006,002	0.6%
0905	脳内出血	435,792	0.1%	8,835,492	2.5%	4,266,105	1.2%
0906	脳梗塞	30,317,903	8.4%	22,981,384	6.5%	19,347,147	5.4%
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%	0	0.0%	12,338	0.0%
0909	動脈硬化(症)	1,376,967	0.4%	4,822,450	1.4%	4,360,213	1.2%
1402	腎不全	89,838,114	24.9%	70,281,815	19.9%	68,018,443	18.9%
合計		361,083,046		353,849,104		360,093,102	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

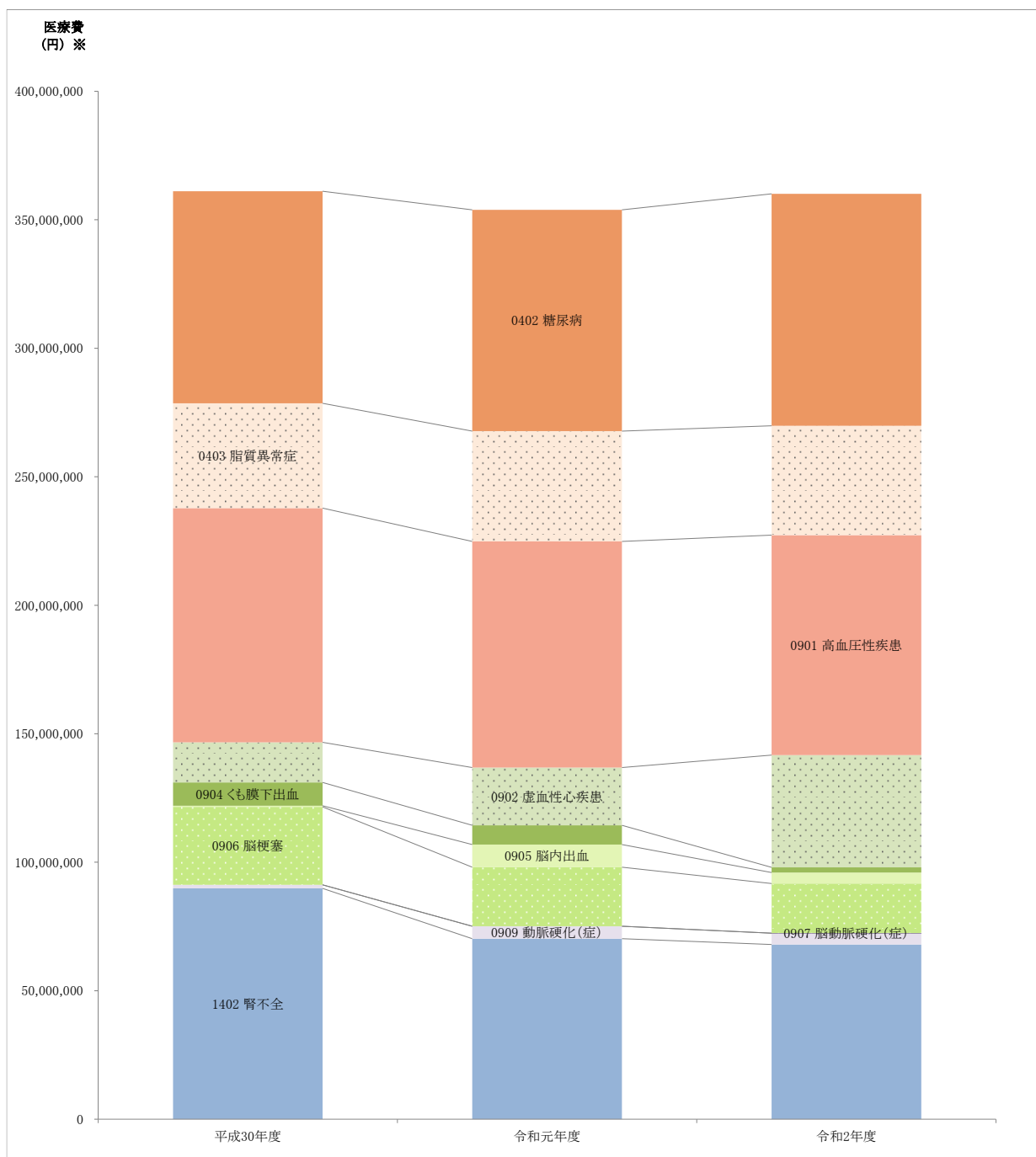
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

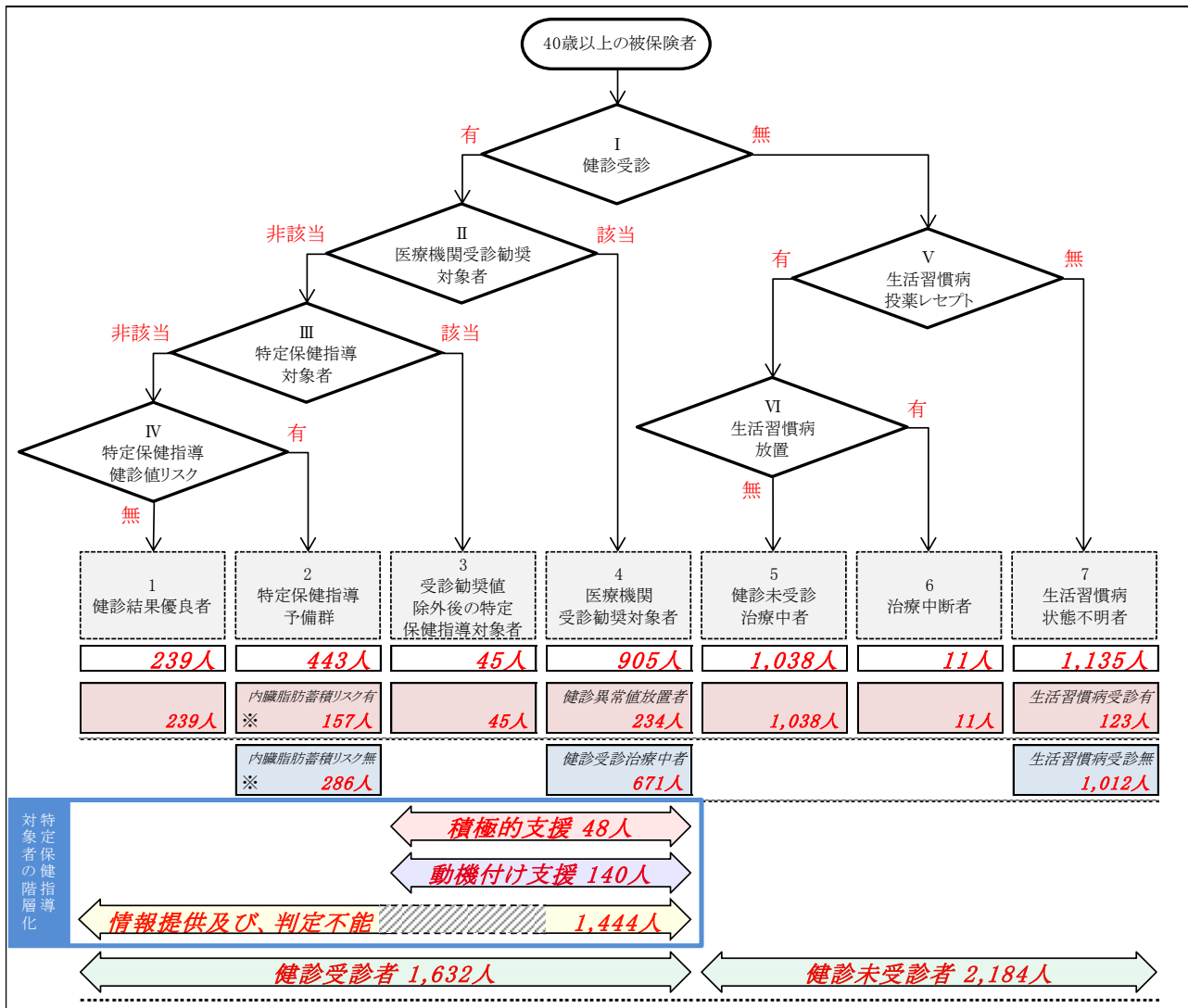
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせて分析し、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類します。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

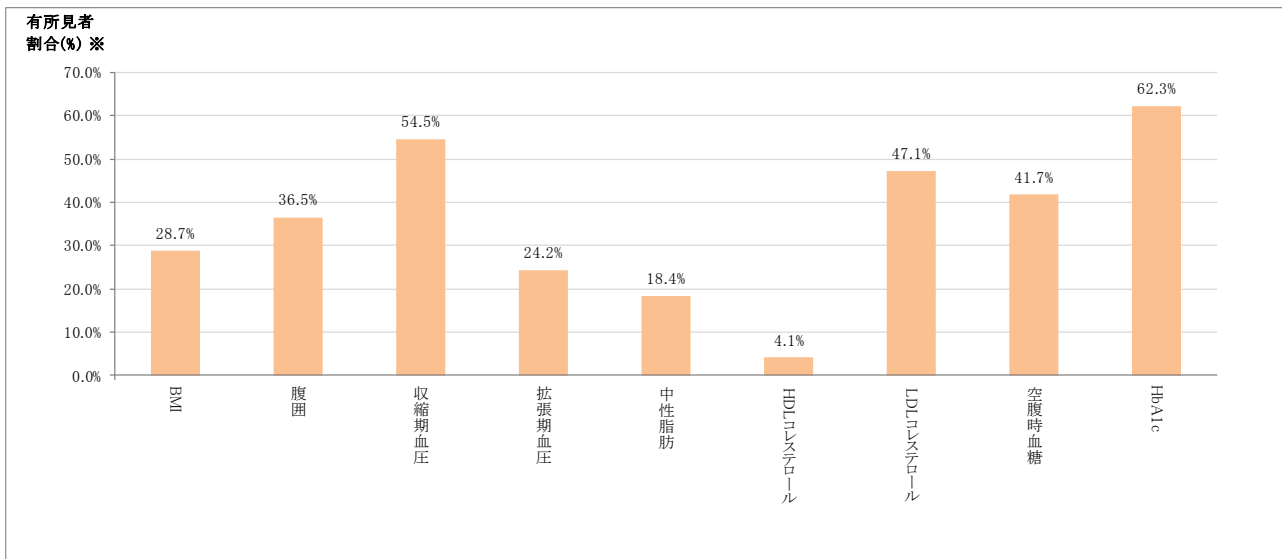
以下は、特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を示したものです。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,632	1,631	1,630	1,630
有所見者数(人) ※	469	596	889	395
有所見者割合(%) ※	28.7%	36.5%	54.5%	24.2%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,628	1,627	1,626	695	1,620
有所見者数(人) ※	300	67	766	290	1,009
有所見者割合(%) ※	18.4%	4.1%	47.1%	41.7%	62.3%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

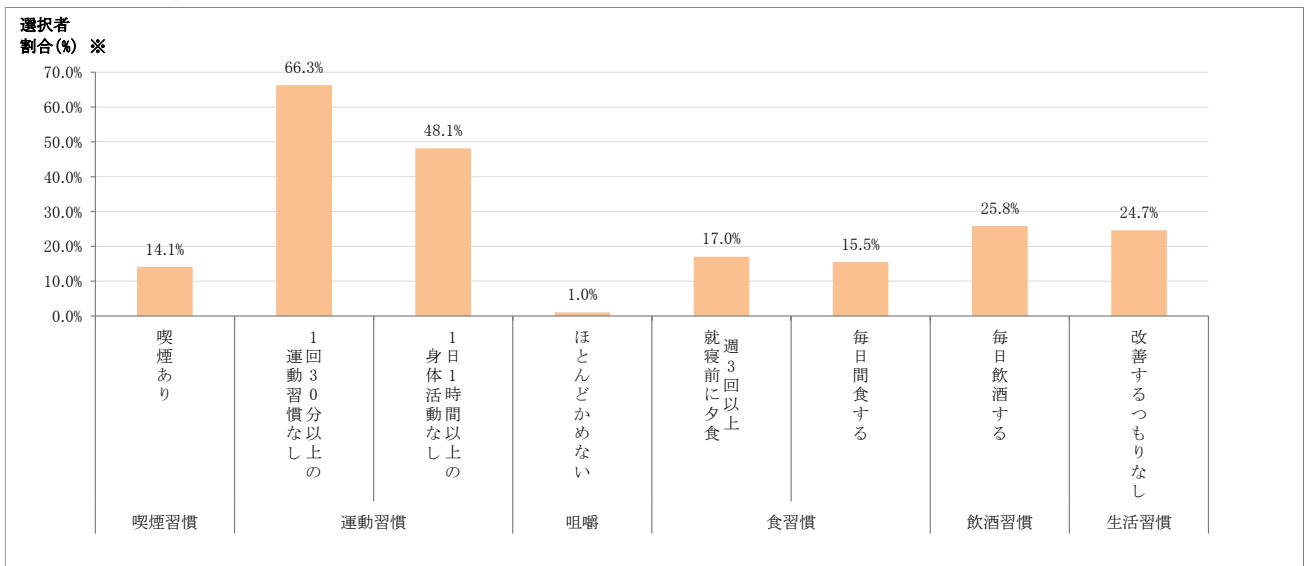
BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣		咀嚼
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	ほとんどかめない
質問回答者数(人) ※	1,568	1,513	1,407	1,391
選択者数(人) ※	221	1,003	677	14
選択者割合(%) ※	14.1%	66.3%	48.1%	1.0%

	食習慣	飲酒習慣	生活習慣	
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	毎日間食する	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	1,393	1,390	1,561	1,391
選択者数(人) ※	237	216	403	343
選択者割合(%) ※	17.0%	15.5%	25.8%	24.7%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- ほとんどかめない …「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日間食する …「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されています。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けています。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は188人です。このうち、積極的支援の対象者は48人、動機付け支援の対象者は140人です。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			188人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	3人	48人 26%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	9人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	3人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	1人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	6人	
	●		●			血糖＋脂質	5人	
		●	●			血圧＋脂質	8人	
	●			●		血糖＋喫煙	4人	
		●		●		血圧＋喫煙	5人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	2人	
	●					血糖	0人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	0人	
			●	喫煙	0人			
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	0人	140人 74%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	13人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	3人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	3人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	31人	
	●		●			血糖＋脂質	4人	
		●	●			血圧＋脂質	9人	
	●			●		血糖＋喫煙	2人	
		●		●		血圧＋喫煙	6人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	0人	
	●					血糖	19人	
		●				血圧	39人	
			●			脂質	10人	
			●	喫煙	0人			
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。

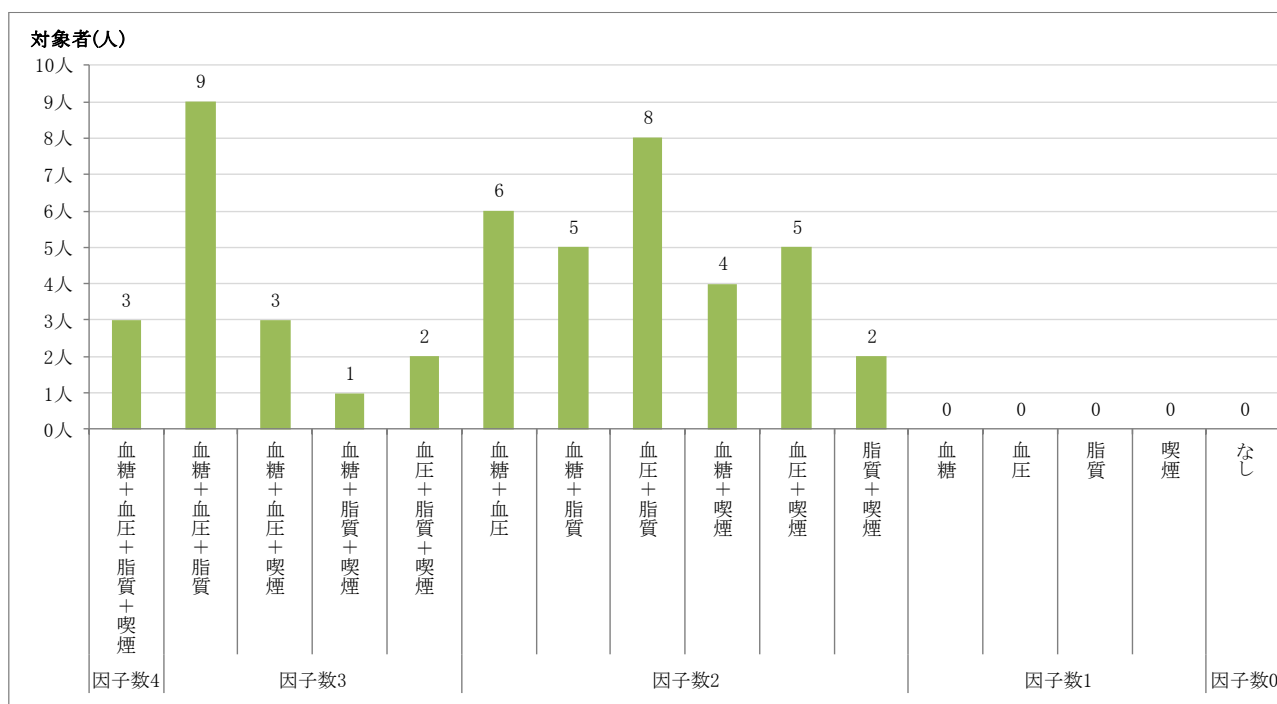
資格確認日…令和3年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下のとおりとする。

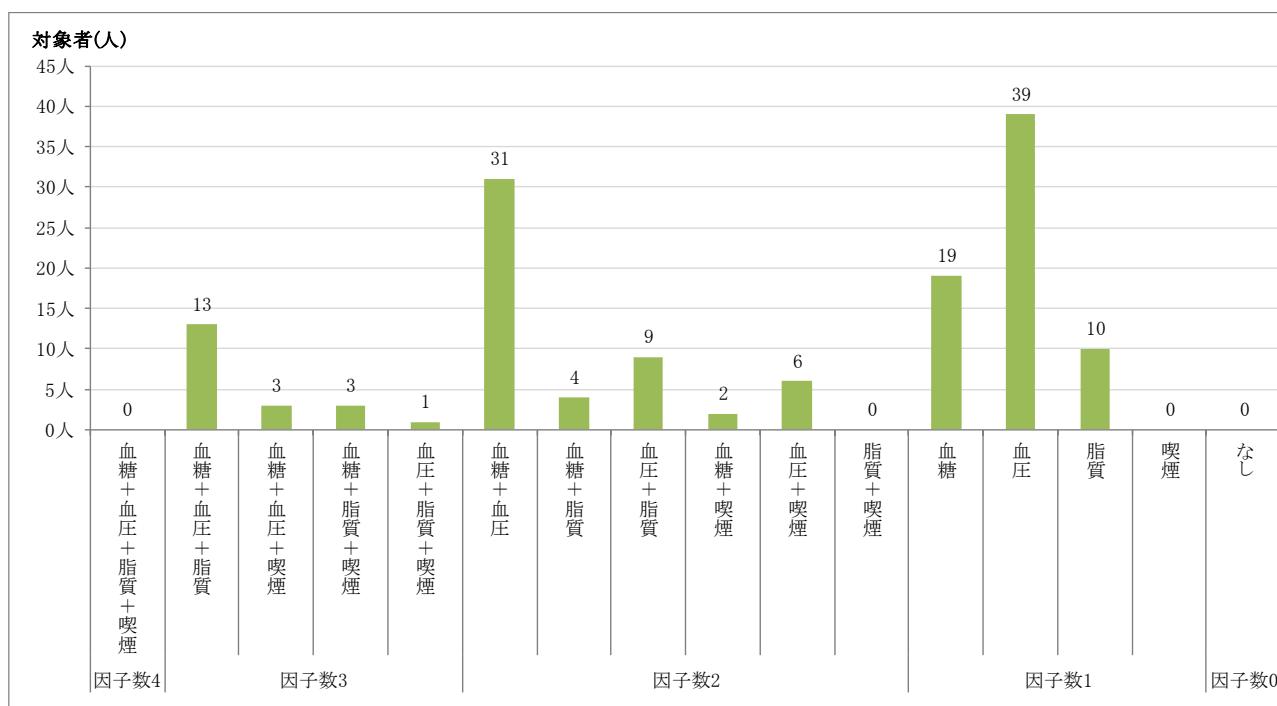
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖 100mg/dl 以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
(空腹時血糖とHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。その結果、生活習慣病が進行し、重症化してしまう可能性があるため、これらの対象者をレセプトにより見極めます。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する 234 人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	234 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、既にこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためです。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	58 人
除外患者を除いた候補者数		176 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。
 ※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者 176 人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。厚生労働省の定める受診勧奨判定値（血糖、血圧、脂質）を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）に対するレセプトが発生していない対象者が、健診異常値放置受診勧奨対象者となります。ここでは受診勧奨判定異常値因子数（血糖、血圧、脂質）が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定しました。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではありますが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者 A より順に対象者を選択します。

優先順位（健診異常値放置）

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 2人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 9人	候補者D 25人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 27人	候補者F 112人
		喫煙	非喫煙
		←高 リスク 低→	
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			176人

データ化範囲（分析対象）…入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分（12カ月分）。

データ化範囲（分析対象）…健康診査データは令和2年4月～令和3年3月健診分（12カ月分）。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- ・健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められます。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者 19 人が対象となります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	11 人
	上記以外のグループ	8 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		19 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者

②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。

「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、既にこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられます。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	2 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		17 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者 17 人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者が、生活習慣病治療中断者となります。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としています。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 4人	候補者B3 1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 0人	候補者C2 8人	候補者C3 4人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				17人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…令和3年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、44.4%が生活習慣を起因とするものであり、その44.4%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

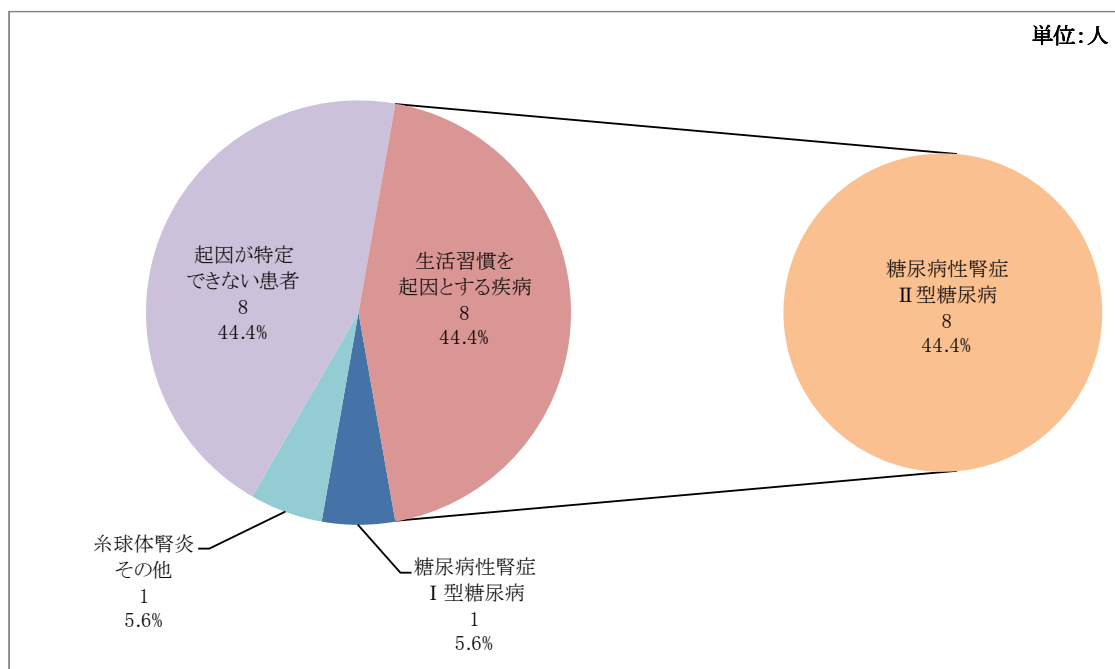
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	18
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

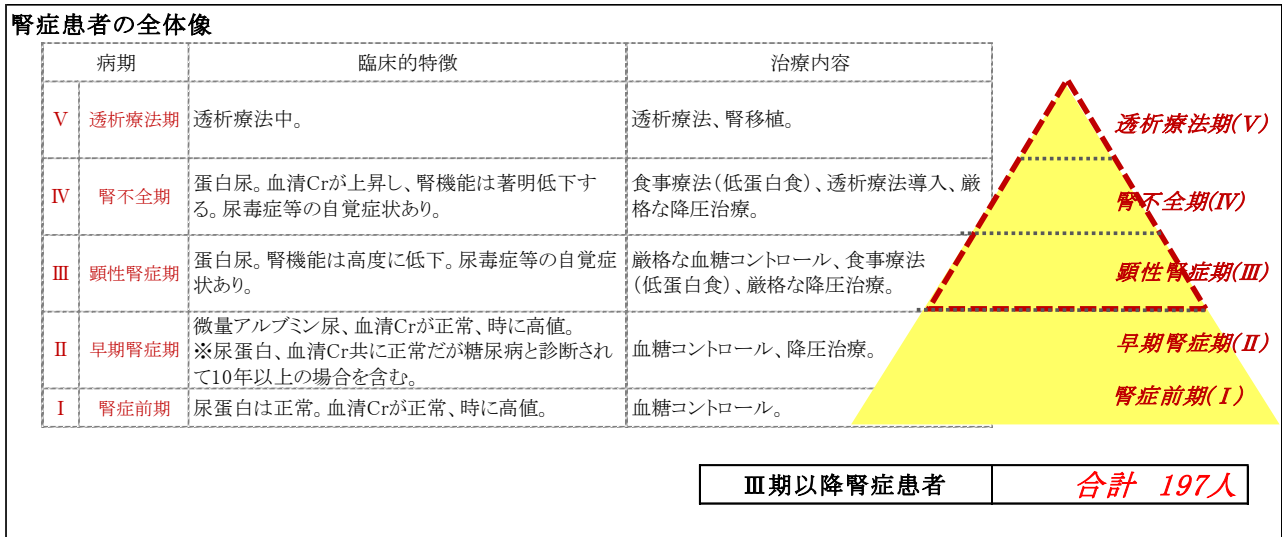
データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者 197 人中 75 人の適切な指導対象者を特定しました。

以下は、腎症患者の全体像を示したものです。

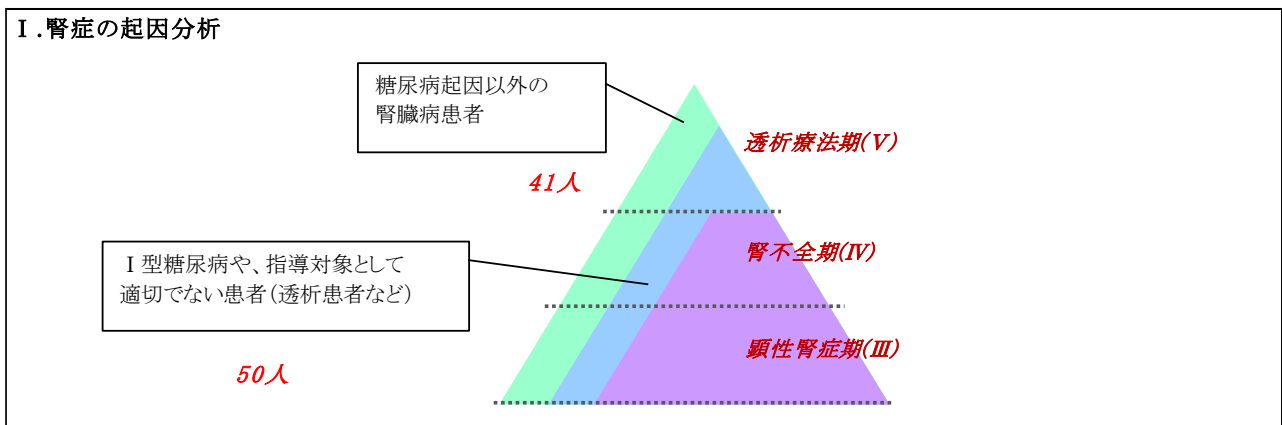
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

以下は、「腎症の起因分析」を示したものです。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、41人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者ですが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、50人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

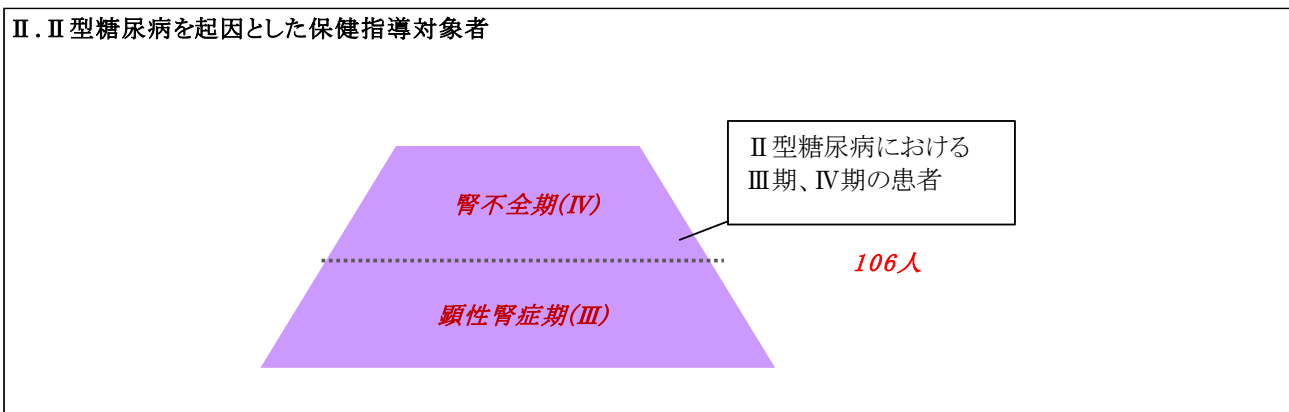
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下のとおり示します。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて106人となっています。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

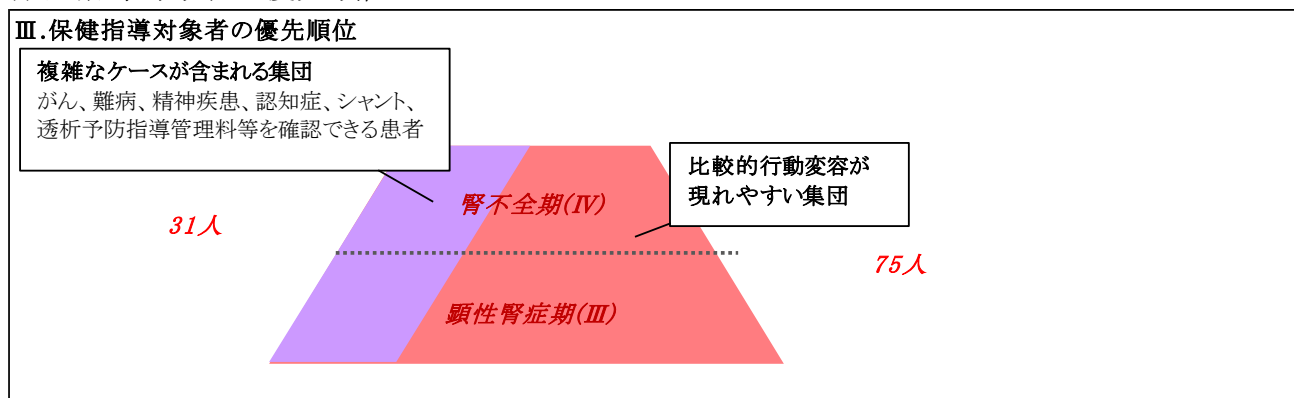


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。106人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、31人存在しています。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、75人存在しています。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

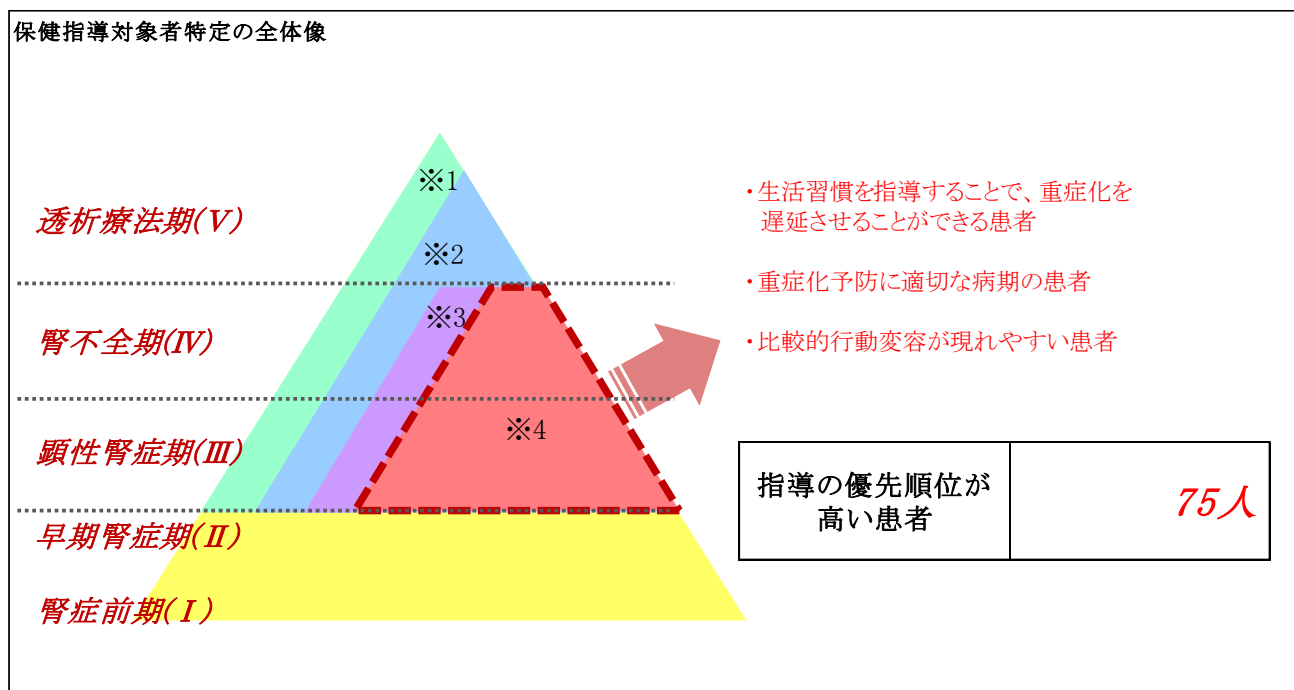
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、75人となっています。以下は、この分析の全体像を示したものです。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

- ※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
- ※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
- ※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
- ※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月
重複受診者数(人) ※	4	1	4	1	2	2	2	4	4	2	1	5
											12カ月間の延べ人数	32人
											12カ月間の実人数	24人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月
頻回受診者数(人) ※	6	3	6	5	5	5	7	4	5	3	5	6
											12カ月間の延べ人数	60人
											12カ月間の実人数	29人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月
重複服薬者数(人) ※	18	16	22	18	16	11	14	14	19	17	16	19
											12カ月間の延べ人数	200人
											12カ月間の実人数	90人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は24人、頻回受診者は29人、重複服薬者は90人存在しています。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少します。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	133人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	98人
		↓
除外患者を除き、候補者となった患者数		35人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者 35 人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。効果については、レセプト期間最終月から 6 カ月間遡ったレセプトのうち、5～6 カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先します。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から 60 歳以上を最優先とし、次に、50 歳～59 歳を対象とします。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者 A～候補者 F は 1 人となっています。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 0人	候補者C 0人	候補者 と し な い
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 0人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 1人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			34人
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				1人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和3年3月31日時点。

(8) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性があります。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認しますが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、既に処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性があります。

現在、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は76人、実人数は58人となっています。

薬剤併用禁忌対象者数

	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	7	4	2	9	2	7	6	5	11	12	6	5
12カ月間の延べ人数											76人	
12カ月間の実人数											58人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

以下は、主な併用禁忌の組み合わせを示したものです。

実人数(人)	58
件数合計(件)	84

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	24
2	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	5
3	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	5
4	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	内服	621558101	SG配合顆粒	5
5	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622661501	トアラセット配合錠「サンド」	4
6	内服	620067313	アセトアミノフェン「ファイザー」原末	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	3
7	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
8	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
9	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
10	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
11	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622287701	ウルティプロ吸入用カプセル	3
12	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	2
13	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	1
14	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	622661501	トアラセット配合錠「サンド」	1
15	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620002022	コロナール細粒20%	1
16	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	1
17	内服	620067312	アセトアミノフェン「JG」原末	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	1
18	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	622664001	トアラセット配合錠「JG」	1
19	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
20	内服	620000033	コロナール錠300 300mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
21	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
22	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	622661501	トアラセット配合錠「サンド」	1
23	内服	616140102	クラリシッド錠200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	1
24	内服	621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」	内服	622374301	ベルソムラ錠20mg	1
25	内服	620001907	グルファスト錠5mg	内服	621999301	グリメビド錠1mg「オーハラ」	1
26	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	622033001	グリメビド錠0.5mg「NP」	1
27	内服	622667701	トアラセット配合錠「Me」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
28	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	1
29	内服	622652301	トアラセット配合錠「日医工」	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	1
30	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
31	内服	620531401	ベタセレミン配合錠	内服	622688201	ミニンメルトOD錠50μg	1
32	内服	622579201	マヴイレット配合錠	内服	610443013	リビトール錠5mg	1
33	内服	620159701	小児用ベレックス配合顆粒	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和3年3月31日時点。

(9) 服薬情報に係る分析

医薬品の多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすくなります。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等があります。複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要です。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行います。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている対象者のうち、基準月(令和3年3月)に6種類以上の内服薬を服用している長期多剤服薬者は186人となっています。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層	対象者数(人)								合計	
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～		
被保険者数(人)	834	193	214	241	293	581	1,130	1,742	5,228	
薬剤種類数	2種類	6	0	4	1	2	6	11	12	42
	3種類	6	0	2	2	5	6	14	22	57
	4種類	3	0	2	1	1	6	9	24	46
	5種類	2	1	1	2	1	7	21	24	59
	6種類	2	1	0	0	1	10	18	17	49
	7種類	3	0	0	1	1	7	9	24	45
	8種類	0	1	2	3	1	7	6	15	35
	9種類	2	0	0	1	1	2	5	11	22
	10種類	1	0	0	1	0	0	1	8	11
	11種類	0	0	0	1	0	0	0	3	4
	12種類	0	0	1	1	0	1	1	3	7
	13種類	0	0	1	0	0	0	1	2	4
	14種類	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	15種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	18種類	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	19種類	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	合計	26	4	14	15	13	52	98	168	390



長期多剤服薬者数(人)※	186
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年12月～令和3年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料:日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

また、長期多剤服薬者 186 人が被保険者全体に占める割合は 3.6%、長期服薬者全体に占める割合は 47.7%となっています。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	834	193	214	241	293	581	1,130	1,742	5,228
B	長期服薬者数(人)※	26	4	14	15	13	52	98	168	390
C	長期多剤服薬者数(人)※	9	3	5	9	4	27	43	86	186
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.1%	1.6%	2.3%	3.7%	1.4%	4.6%	3.8%	4.9%	3.6%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	34.6%	75.0%	35.7%	60.0%	30.8%	51.9%	43.9%	51.2%	47.7%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年12月～令和3年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(15日以上)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

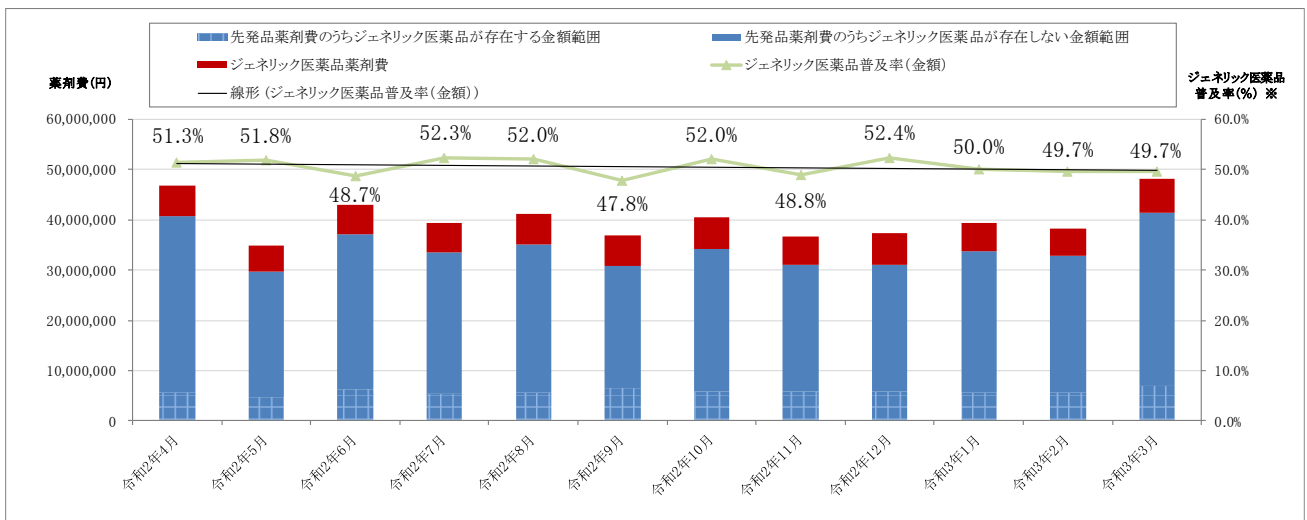
※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

(10) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示したものです。現在、ジェネリック医薬品普及率は50.5%(金額ベース)、79.0%(数量ベース)となっています。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



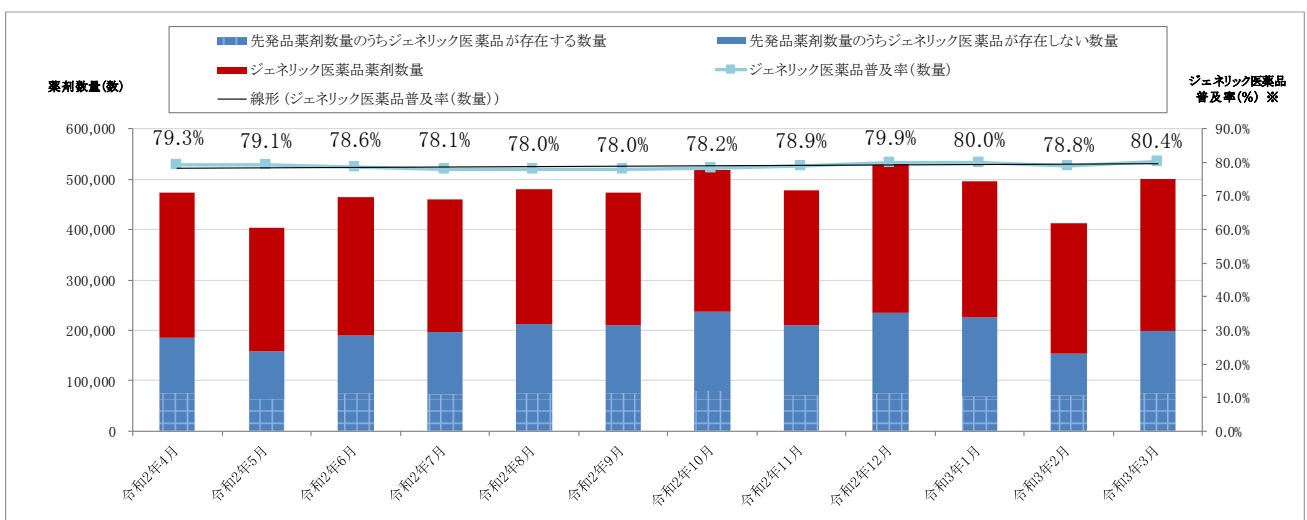
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

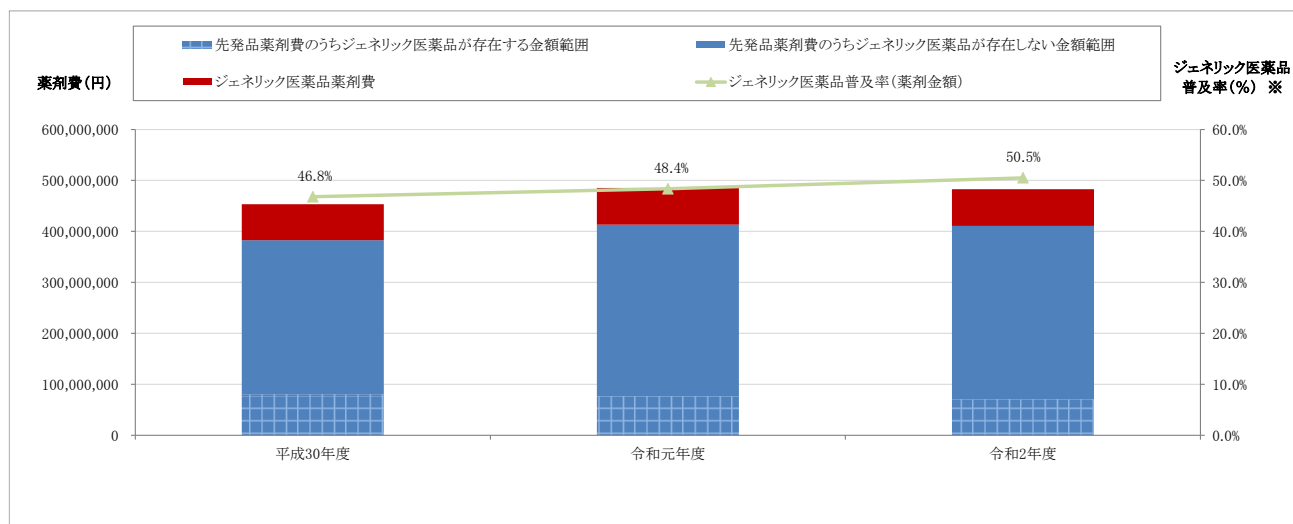
対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、平成30年度から令和2年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。令和2年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)50.5%は、平成30年度46.8%より3.7ポイント上昇しており、令和2年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)79.0%は、平成30年度74.9%より4.1ポイント上昇しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



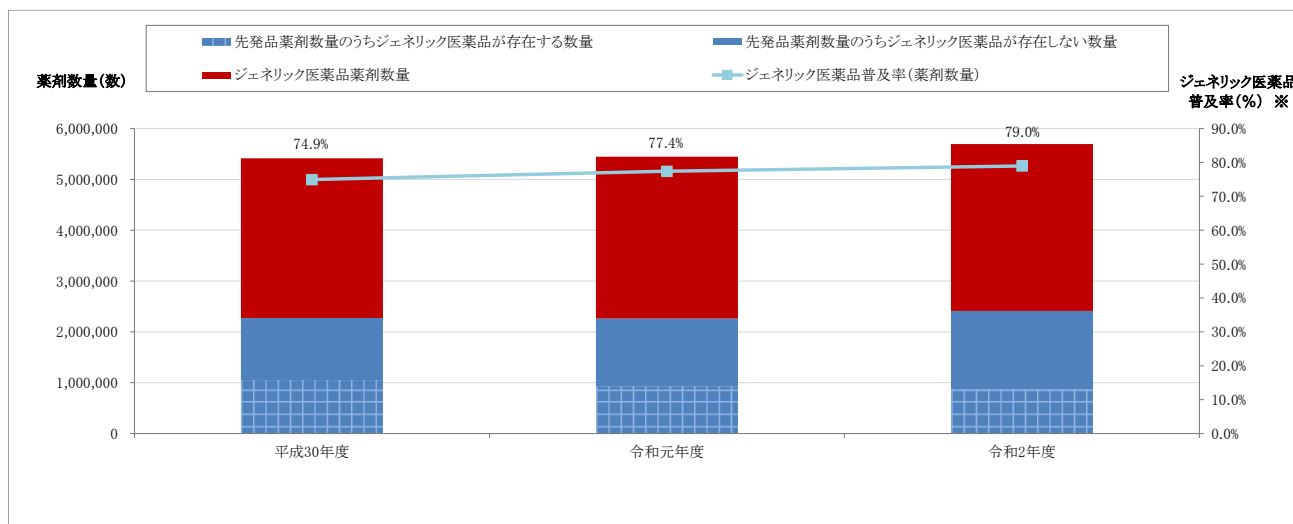
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

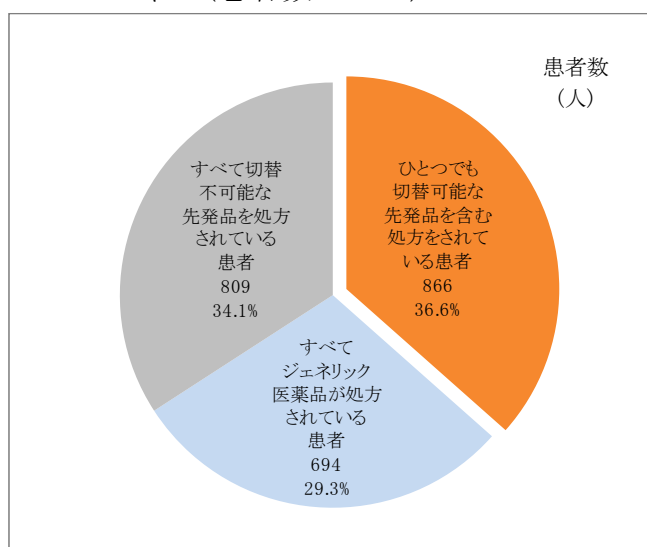
対象診療年月は平成30年4月～令和3年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

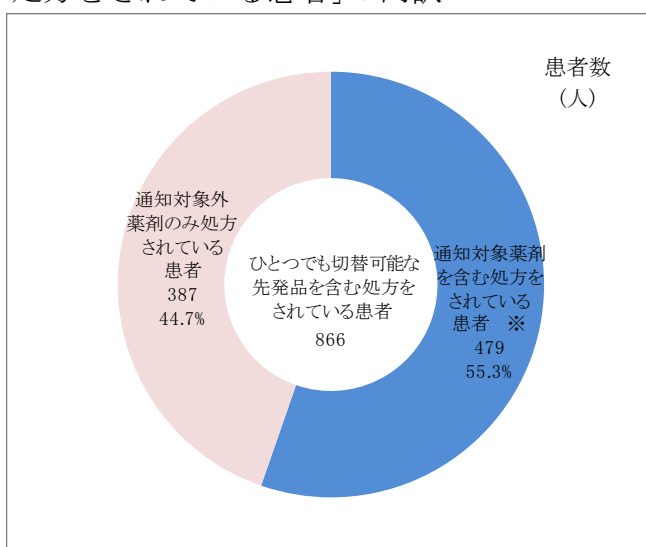
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、令和3年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示します。患者数は2,369人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は866人で患者数全体の36.6%を占めています。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、479人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の55.3%を占めています。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和3年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)における分析結果を示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	循環器系の疾患	246,080,573円	15.1%
2位	新生物<腫瘍>	219,782,055円	13.5%
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	190,768,526円	11.7%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,252人
2位	循環器系の疾患	2,196人
3位	消化器系の疾患	2,007人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	350,098円
2位	精神及び行動の障害	198,851円
3位	新生物<腫瘍>	169,063円

【疾病中分類別】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の神経系の疾患	117,964,431円	7.3%
2位	糖尿病	90,265,721円	5.5%
3位	高血圧性疾患	85,579,650円	5.3%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	1,849人
2位	糖尿病	1,378人
3位	その他の消化器系の疾患	1,374人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,480,143円
2位	腎不全	641,683円
3位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	391,763円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	491 件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	36.1%
高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)	
1 位	その他の神経系の疾患 25,573,197 円
2 位	その他の感染症及び寄生虫症 10,732,390 円
3 位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 9,780,490 円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	234 人
----------	-------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	19 人
------------	------

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	18 人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	8 人

【医療機関受診状況】

重複受診者	24 人
頻回受診者	29 人
重複服薬者	90 人

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	58 人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	186 人
---------	-------

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	79.0%
--------------	-------

以下は、平成30年度から令和2年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
平成 30 年度	1位	新生物<腫瘍>	296,836,792円	18.3%
	2位	循環器系の疾患	246,350,315円	15.2%
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	151,548,720円	9.4%
令和 元 年度	1位	新生物<腫瘍>	274,003,210円	16.9%
	2位	循環器系の疾患	271,202,669円	16.8%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	170,820,030円	10.6%
令和 2 年度	1位	循環器系の疾患	246,080,573円	15.1%
	2位	新生物<腫瘍>	219,782,055円	13.5%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	190,768,526円	11.7%

【疾病中分類別】

医療費が高額な疾病			医療費	構成比
平成 30 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	125,894,339円	7.8%
	2位	高血圧性疾患	91,159,156円	5.6%
	3位	腎不全	89,838,114円	5.5%
令和 元 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	125,207,420円	7.7%
	2位	その他の神経系の疾患	100,444,360円	6.2%
	3位	その他の心疾患	88,189,404円	5.5%
令和 2 年度	1位	その他の神経系の疾患	117,964,431円	7.3%
	2位	糖尿病	90,265,721円	5.5%
	3位	高血圧性疾患	85,579,650円	5.3%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

年度	高額レセプト件数	高額レセプト件数割合	高額レセプト医療費割合
平成30年度	530件	0.8%	34.4%
令和元年度	568件	0.9%	36.9%
令和2年度	491件	0.8%	36.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 30 年度	1位	喘息	9,294,030円
	2位	白血病	6,969,630円
	3位	その他の循環器系の疾患	6,863,007円
令和 元 年度	1位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	39,880,730円
	2位	悪性リンパ腫	9,741,945円
	3位	喘息	9,359,300円
令和 2 年度	1位	その他の神経系の疾患	25,573,197円
	2位	その他の感染症及び寄生虫症	10,732,390円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	9,780,490円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ジェネリック医薬品 普及率	74.9%	77.4%	79.0%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率</p> <p>【課題】 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額です。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要があります。</p> <p>【対策】 特定健康診査・特定保健指導を受けることで、一次予防(リスク把握)、二次予防(早期治療)へつながることから、特に特定健康診査未受診者への受診勧奨を行います。</p>	<p>◆特定健康診査の受診勧奨</p> <p>◆特定保健指導の実施</p>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者</p> <p>【課題】 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在します。</p> <p>【対策】 血糖値の高い者が適切な医療を受けられるように、特定健康診査及びレセプトデータより対象者を抽出選定し、受診勧奨等を行い、重症化を予防します。</p>	<p>◆糖尿病重症化予防</p>
<p>◆糖尿病性腎症</p> <p>【課題】 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在します。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になります。そこで早期に保健指導を行い、生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考えます。</p> <p>【対策】 特定健康診査及びレセプトデータにより対象者を抽出選定し、その中で医療機関未受診者に情報提供や受診勧奨を行います。</p>	
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者</p> <p>【課題】 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。</p> <p>◆薬剤併用禁忌</p> <p>【課題】 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在します。</p> <p>◆服薬の状況</p> <p>【課題】 多数の長期多剤服薬者が存在します。多剤服薬は副作用が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要があります。</p> <p>【対策】 医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、勧奨通知の発送及び専門職等による指導等を行います。</p>	<p>◆重複服薬・重複多受診者対策事業</p>

<p>◆ジェネリック医薬品の普及率</p> <p>【課題】 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要があります。</p> <p>【対策】 ジェネリック医薬品への切り替えにより薬剤費軽減額が一定以上となる見込みの対象者に通知書を送付することでジェネリック医薬品への切り替えを促します。</p>	<p>◆ジェネリック医薬品 差額通知</p>
---	----------------------------

(3) 第2期データヘルス計画の目的と目標

抽出した課題と特定健康診査の質問票における回答状況から、目標を次のとおり設定します。

目 標	目標値
特定健診受診者の運動習慣なしの割合	減少(前年比)
・1回30分以上の運動習慣なし	60%以下
・1日1時間以上の運動(身体活動)なし	45%以下
糖尿病に起因した新規人工透析者	減少(前年比)

◆生活習慣の改善から重症化予防へ

特定健診受診率は、年々増加傾向にありますが、特定健診質問別回答状況では、「1回30分以上の運動習慣なし」66.3%・「1日1時間以上の身体活動なし」48.1%と、回答率が高い状況です。また、生活習慣を「改善するつもりなし」に24.7%の回答があります。

医療費の上位を占める生活習慣病は、生活習慣の改善を図ることで重症化を防ぐことができることから、特定健診受診者の運動習慣なしの割合の減少を目標としました。

また、生活習慣病のうち糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になることから、早期発見、早期治療が必要です。早期に保健指導を行い、生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考えられます。健康意識を高め生活習慣を改善すると重症化予防につながることから、糖尿病に起因した新規人工透析者の減少(前年比)を2番目の目標としました。

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

以下は、第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を示したものです。

事業名	事業目的	事業概要
特定健診の受診率向上対策	特定健診未受診者の健康意識の向上と特定健診等の実施率の向上を図る。	特定健診の周知・案内を行う。特定健診を受診していない者を対象に特定健診の受診を促す。通院者の特定健診受診勧奨も積極的に行う。
人間ドック・脳ドック	被保険者に対し、生活習慣病の早期発見、早期治療を促進して健康保持を図る。	35歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。自身の体調を知ること、病気の予防や早期発見につなげる。
特定保健指導	被保険者の生活習慣の改善指導により生活習慣病の予防を図る。	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。
糖尿病重症化予防事業	血糖値の高い者へ情報提供や受診勧奨を行い、糖尿病等の早期治療につなげ重症化を予防する。	特定健康診査及びレセプトデータにより対象者を抽出し、段階に応じて情報提供や受診勧奨・保健指導を行う。
栄養相談	食生活の改善が必要な住民に対して、疾患や症状にあった食事の摂り方や内容を指導することで健康な生活が送れるように支援する。	対象者本人又は家族と面接や電話等で食生活等の把握をし、個々に応じた指導を実施する。
運動教室 (なかがわフィットネス倶楽部)	運動習慣の定着により、生活習慣病予防と健康の維持・増進を図る。	概ね65歳までの前年度運動教室修了者、特定保健指導対象者及び前年度運動普及指導員講習会受講者を対象に運動教室を実施する。
重複服薬・重複多受診者対策事業	疾病の早期回復、健康の保持増進及び適切な医療機関の受診を通じ医療費の適正化を図る。	被保険者に対して訪問指導等を行い、生活習慣の改善及び適正受診に必要な知識・情報の提供を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上を図る。	対象者に通知書を送付することでジェネリック医薬品への切り替えを促す。
那珂よし健康ポイント	町民の健康づくりを普及啓発し、自主的・積極的な活動を推進する。	対象者の健康づくりの取り組みに対しインセンティブ(報奨)を提供することで、生活習慣(運動習慣)の改善を意識づけする。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
令和4年度～令和5年度		
「健康診査等のご案内」を毎年度作成、全世帯へ配布する。町ホームページ、広報誌、ケーブルテレビ等のメディアを活用し、継続的に周知を行う。特定健診未受診者に対し、受診勧奨通知を発送する。	対象者への受診勧奨通知率 100%	受診率 47.0%
提携医療機関と契約し、町広報誌・町ホームページ等にて被保険者に広報。受診希望者からの申請を受け付け、費用の助成を行う。提携医療機関からの受診結果を保険部門と健康部門が共有し、町民の健康増進に活かす。	助成の実施	受診者数 350人
動機付け支援・積極的支援の指導対象者を特定し、保健師等が個別に指導を実施する。	対象者の指導実施率 60.0%	特定保健指導対象者の減少
特定健康診査及びレセプトデータにより対象者を抽出し、糖尿病境界域段階者へ情報提供、糖尿病重症化予防・糖尿病性腎症重症化予防段階者へ受診勧奨を行う。また、状況に応じて保健指導を行う。	対象者への情報提供実施率 100% 受診勧奨対象者の医療機関受診率 50.0% 保健指導実施者の終了率 50.0%	糖尿病性腎症を原因とする新規透析者の減少
高血圧・糖尿病・脂質異常症・腎機能異常等生活習慣病の食事指導を行う。肥満・貧血等以外の疾病の食事指導を行う。食物アレルギー等の食事指導を行う。	相談利用人数 36人	特定保健指導対象者の減少
運動の指導及び情報提供を行う。体力測定等の実施とその評価を行う。参加者交流を図るための活動を行う。	延べ参加者数 200人	特定健診受診者の運動習慣なしの割合の減少
医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、勧奨通知の発送及び専門職等による指導等を行う。	対象者への勧奨通知率 100% 対象者の指導実施率 100%	勧奨後・指導後の受診行動適正化 50%
調剤の処方状況からジェネリック医薬品への切り替え効果が高い医薬品及び対象者を抽出し通知にて利用促進を図る。	対象者への差額通知率 100%	ジェネリック医薬品利用率 80.0%
特定健診等の受診や健康づくり、介護予防等をテーマとするイベント・教室に参加することでポイントを付与される。	登録者数 800人	ポイント達成者率 20.0%

2. 全体スケジュール

以下は、各事業におけるスケジュールについて示したものです。

事業名	第1期					第2期	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健診の受診率向上対策	実施					評価	
						PD	PD
						CA	CA
人間ドック・脳ドック	実施						
						PD	PD
						CA	CA
特定保健指導	実施					評価	
						PD	PD
						CA	CA
糖尿病重症化予防事業	実施						
						PD	PD
						CA	CA
栄養相談	実施					評価	
						PD	PD
						CA	CA
運動教室 (なかがわフィットネス倶楽部)	実施					評価	
						PD	PD
						CA	CA
重複服薬・重複多受診者 対策事業	実施						
						PD	PD
						CA	CA
ジェネリック医薬品 差額通知事業	実施						
						PD	PD
						CA	CA
那珂よし健康ポイント	実施						
						PD	PD
						CA	CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下のとおりです。

(1) 特定健診の受診率向上対策

【事業目的】

特定健診未受診者の健康意識の向上と特定健診等の実施率の向上を図る。

【事業概要】

特定健診の周知・案内を行う。

特定健康診査を受診していない者を対象に特定健康診査の受診を促す。

通院者の特定健診受診勧奨も積極的に行う。

【実施内容】

「健康診査等のご案内」を毎年度作成、全世帯へ配布する。

町ホームページ、広報誌、ケーブルテレビ等のメディアを活用し、継続的に周知を行う。

特定健診未受診者に対し、受診勧奨通知を発送する。

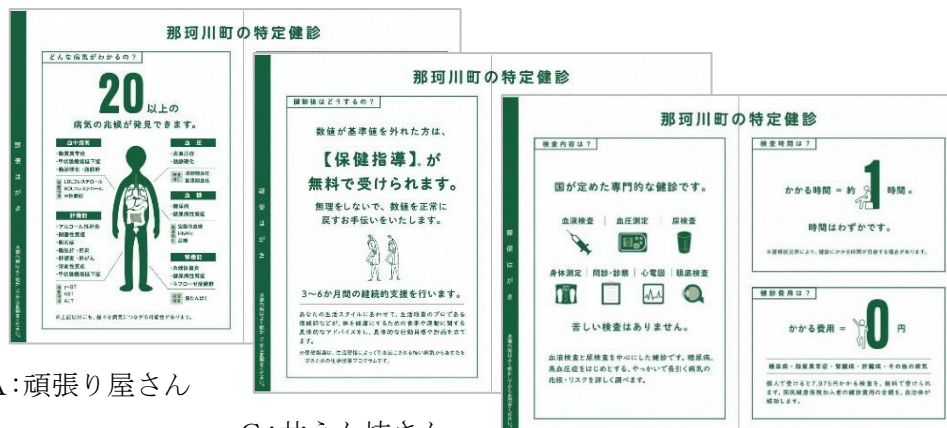
【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への受診勧奨通知率 100%	受診率 47.0%	特定健診受診率を確認する。

勧奨通知(ハガキ)

未受診者の分析を行い、不定期受診や健診未経験などの健康特性に合わせて分類し勧奨を行う。



A:頑張り屋さん

C:甘えん坊さん

E:未経験者

(2) 人間ドック・脳ドック

【事業目的】

被保険者に対し、生活習慣病の早期発見、早期治療を促進して健康保持を図る。

【事業概要】

35 歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、提携医療機関で行う人間ドック受診費用の一部を助成する。

自身の体調を知ることで、病気の予防や早期発見につなげる。

【実施内容】

提携医療機関と契約し、町広報誌・町ホームページ等にて被保険者に広報。受診希望者からの申請を受け付け、費用の助成を行う。

提携医療機関からの受診結果を保険部門と健康部門が共有し、町民の健康増進に活かす。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
助成の実施	受診者数 350 人	人間ドック・脳ドックの補助金申請者を確認する。

(3) 特定保健指導

【事業目的】

被保険者の生活習慣の改善指導により生活習慣病の予防を図る。

【事業概要】

特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。

【実施内容】

動機付け支援・積極的支援の指導対象者を特定し、保健師等が個別に指導を実施する。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 60.0%	特定保健指導対象者の減少	特定保健指導対象者の人数を前年度と比較する。

(4) 糖尿病重症化予防事業

【事業目的】

血糖値の高い者へ情報提供や受診勧奨を行い、糖尿病等の早期治療につなげ重症化を予防する。

【事業概要】

特定健康診査及びレセプトデータにより対象者を抽出し、段階に応じて情報提供や受診勧奨・保健指導を行う。

【実施内容】

特定健康診査及びレセプトデータにより対象者を抽出し、糖尿病境界域段階者へ情報提供、糖尿病重症化予防・糖尿病性腎症重症化予防段階者へ受診勧奨を行う。また、状況に応じて保健指導を行う。この事業に当たっては、かかりつけ医との連携を図り、助言を受けて実施する。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への情報提供実施率 100% 受診勧奨対象者の医療機関受診率 50.0% 保健指導実施者の終了率 50.0%	糖尿病性腎症を原因とする新規透析者の減少	糖尿病性腎症を原因とする新規透析者の人数を前年度と比較する。

(5) 栄養相談

【事業目的】

食生活の改善が必要な住民に対して、疾患や症状にあった食事の摂り方や内容を指導することで健康な生活が送れるように支援する。

【事業概要】

対象者本人又は家族と面接や電話等で食生活等の把握をし、個々に応じた指導を実施する。

【実施内容】

高血圧・糖尿病・脂質異常症・腎機能異常等生活習慣病の食事指導を行う。

肥満・貧血等以外の疾病の食事指導を行う。

食物アレルギー等の食事指導を行う。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
相談利用人数 36人	特定保健指導対象者の減少	特定保健指導対象者の人数を前年度と比較する。

(6) 運動教室(なかがわフィットネス倶楽部)

【事業目的】

運動習慣の定着により、生活習慣病予防と健康の維持・増進を図る。

【事業概要】

概ね 65 歳までの前年度運動教室修了者、特定保健指導対象者及び前年度運動普及指導員講習会受講者を対象に運動教室を実施する。

【実施内容】

- 運動の指導及び情報提供を行う。
- 体力測定等の実施とその評価を行う。
- 参加者交流を図るための活動を行う。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
延べ参加者数 200 人	特定健診受診者の運動習慣なしの割合の減少	特定健診の問診の回答状況を前年度と比較する。

(7) 重複服薬・重複多受診者対策事業

【事業目的】

疾病の早期回復、健康の保持増進及び適切な医療機関の受診を通じ医療費の適正化を図る。

【事業概要】

被保険者に対して訪問指導等を行い、生活習慣の改善及び適正受診に必要な知識・情報の提供を行う。

【実施内容】

医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、勧奨通知の発送及び専門職等による指導等を行う。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への勧奨通知率 100% 対象者の指導実施率 100%	勧奨後・指導後の受診行動適正化 50%	勧奨後・指導後の受診状況をレセプト等で確認する。

(8) ジェネリック医薬品差額通知事業

【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上を図る。

【事業概要】

対象者に通知書を送付することでジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】

調剤の処方状況からジェネリック医薬品への切り替え効果が強い医薬品及び対象者を抽出し通知にて利用促進を図る。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への差額通知率 100%	ジェネリック医薬品 利用率 80.0%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)により確認する。

(9) 那珂よし健康ポイント

【事業目的】

町民の健康づくりを普及啓発し、自主的・積極的な活動を推進する。

【事業概要】

対象者の健康づくりの取り組みに対しインセンティブ(報奨)を提供することで、生活習慣(運動習慣)の改善を意識づけする。

【実施内容】

特定健診等の受診や健康づくり、介護予防等をテーマとするイベント・教室に参加することでポイントを付与される。

【目標値・評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
登録者数 800 人	ポイント達成者率 20.0%	年度末時点でのポイント 達成者率を確認する。

第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

適正な進捗管理を行い、最終年度となる令和5年度には、計画に掲げた目標の達成状況を評価します。また、必要に応じて計画の見直しを行います。

KDBシステムから得られる毎月の特定健診・医療・介護のデータを基に、特定健診受診率・特定保健指導実施率、医療機関での治療率等を定期的にモニタリングします。さらに経年比較を行うとともに、個々の特定健診結果の改善度を評価します。

2. 計画の公表・周知

策定した計画の内容は、町の広報紙やホームページに公表・周知します。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いは、那珂川町個人情報保護条例(平成17年10月1日条例第1号)によるものとします。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組むことが重要です。

地区分析

1. 日常生活圏域の設定

本町においては、第3期介護保険事業計画より高齢者の生活を支える地域密着型サービスなどの整備を計画する単位となる日常生活圏域として3圏域を設定しています。

本計画では、この日常生活圏域を基に地区別の医療費等の情報を集計しました。

生活圏域	地区名
東部地区	大山田上郷・大山田下郷・大内・谷川・盛泉・大那地・小砂
中央地区	馬頭・健武・和見・久那瀬・松野・富山・矢又・小口・北向田
西部地区	小川・三輪・恩田・吉田・谷田・白久・高岡・片平・東戸田・薬利・芳井・浄法寺

2. 大分類による疾病別医療費地区別統計

以下は、令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示したものです。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【東部地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,492,197	3.6%	12	849	12	211	10	49,726	10
II. 新生物<腫瘍>	37,820,049	13.1%	1	975	11	274	6	138,029	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,980,068	0.7%	15	352	15	110	15	18,001	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	25,922,994	9.0%	5	5,167	2	449	1	57,735	8
V. 精神及び行動の障害	19,682,226	6.8%	7	1,509	6	122	14	161,330	1
VI. 神経系の疾患	28,056,585	9.7%	4	2,461	5	196	11	143,146	2
VII. 眼及び付属器の疾患	11,495,213	4.0%	11	1,099	9	285	5	40,334	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	408,916	0.1%	17	189	17	47	17	8,700	17
IX. 循環器系の疾患	36,572,236	12.6%	2	5,722	1	436	2	83,881	7
X. 呼吸器系の疾患	14,426,973	5.0%	10	1,347	7	274	6	52,653	9
X I. 消化器系の疾患 ※	19,034,653	6.6%	8	3,883	3	409	3	46,539	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,666,445	2.3%	13	1,233	8	244	8	27,321	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	34,218,345	11.8%	3	3,077	4	344	4	99,472	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	20,367,788	7.0%	6	816	13	162	12	125,727	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	46,414	0.0%	19	28	19	11	19	4,219	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,663,294	2.0%	14	1,014	10	223	9	25,396	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,752,921	5.4%	9	637	14	160	13	98,456	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	264,466	0.1%	18	230	16	60	16	4,408	18
X X II. 特殊目的用コード	701,090	0.2%	16	46	18	37	18	18,948	15
分類外	2,717	0.0%	20	2	20	1	20	2,717	20
合計	289,575,590			12,376		815		355,307	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【中央地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,596,945	2.2%	12	1,855	13	458	11	34,054	14
II. 新生物<腫瘍>	79,985,033	11.4%	4	2,465	10	592	7	135,110	4
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5,634,134	0.8%	15	922	15	237	15	23,773	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	106,298,745	15.1%	1	11,444	2	1,006	1	105,665	5
V. 精神及び行動の障害	55,209,378	7.9%	6	2,985	7	258	14	213,990	2
VI. 神経系の疾患	91,204,385	13.0%	3	5,079	5	472	10	193,230	3
VII. 眼及び付属器の疾患	26,990,939	3.8%	10	2,706	8	593	6	45,516	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,323,427	0.3%	17	515	17	146	16	15,914	18
IX. 循環器系の疾患	99,916,101	14.2%	2	12,391	1	966	2	103,433	6
X. 呼吸器系の疾患	31,979,201	4.5%	9	3,681	6	644	5	49,657	12
X I. 消化器系の疾患 ※	53,070,930	7.5%	7	8,174	3	890	3	59,630	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,173,042	1.0%	14	2,575	9	544	8	13,186	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	56,059,791	8.0%	5	6,435	4	769	4	72,900	10
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	32,959,176	4.7%	8	2,038	12	379	12	86,964	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	808,941	0.1%	20	18	20	8	20	101,118	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,749,050	0.2%	18	14	21	4	21	437,263	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	156,054	0.0%	21	143	18	41	19	3,806	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,940,865	1.3%	13	2,401	11	474	9	18,863	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	23,545,993	3.3%	11	1,139	14	321	13	73,352	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	898,027	0.1%	19	659	16	132	17	6,803	20
X X II. 特殊目的用コード	2,452,013	0.3%	16	116	19	83	18	29,542	15
分類外	9,420	0.0%	22	3	22	3	22	3,140	22
合計	702,961,590			27,080		1,770		397,153	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【西部地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,329,410	3.4%	9	1,386	13	313	11	68,145	9
II. 新生物<腫瘍>	101,943,591	16.4%	2	1,834	12	432	8	235,981	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,342,483	1.2%	15	764	15	179	15	41,019	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	57,863,130	9.3%	4	8,689	2	792	1	73,060	7
V. 精神及び行動の障害	39,009,525	6.3%	7	2,215	8	198	14	197,018	2
VI. 神経系の疾患	44,925,194	7.2%	5	3,989	5	370	9	121,419	5
VII. 眼及び付属器の疾患	20,355,041	3.3%	10	2,061	9	482	6	42,230	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,704,382	0.3%	17	577	17	124	16	13,745	19
IX. 循環器系の疾患	109,274,080	17.5%	1	9,945	1	784	2	139,380	3
X. 呼吸器系の疾患	18,738,049	3.0%	12	2,573	6	554	5	33,823	15
X I. 消化器系の疾患 ※	37,696,239	6.1%	8	6,510	3	697	3	54,084	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,301,302	1.8%	14	2,262	7	445	7	25,396	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	65,725,885	10.6%	3	4,973	4	592	4	111,023	6
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	40,401,819	6.5%	6	1,944	10	302	12	133,781	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	94,561	0.0%	20	18	20	7	20	13,509	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,440	0.0%	22	1	22	1	22	1,440	22
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	741,860	0.1%	19	165	18	50	19	14,837	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,357,400	2.6%	13	1,933	11	357	10	45,819	12
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	20,075,260	3.2%	11	870	14	290	13	69,225	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,556,455	1.1%	16	606	16	105	17	62,442	10
X X II. 特殊目的用コード	1,274,136	0.2%	18	109	19	66	18	19,305	17
分類外	15,348	0.0%	21	5	21	3	21	5,116	21
合計	622,726,590			21,294		1,454		428,285	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

3. 中分類による疾病別医療費地区別統計

以下は、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費上位 10 疾病を示したものです。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【東部地区】中分類による疾病別統計(医療費上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606 その他の神経系の疾患	18,223,932	6.3%	181
2	0901 高血圧性疾患	16,608,688	5.7%	361
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	16,531,861	5.7%	120
4	1402 腎不全	15,605,889	5.4%	24
5	0402 糖尿病	13,472,980	4.7%	283
6	1901 骨折	12,204,821	4.2%	47
7	1113 その他の消化器系の疾患	11,673,713	4.0%	272
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,840,646	3.7%	34
9	0903 その他の心疾患	9,947,853	3.4%	131
10	0403 脂質異常症	9,119,664	3.1%	256

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【中央地区】中分類による疾病別統計(医療費上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606 その他の神経系の疾患	67,269,404	9.6%	432
2	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	43,654,185	6.2%	296
3	0402 糖尿病	41,290,000	5.9%	631
4	0901 高血圧性疾患	35,283,343	5.0%	799
5	1113 その他の消化器系の疾患	33,151,989	4.7%	606
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	32,439,778	4.6%	83
7	0903 その他の心疾患	31,471,577	4.5%	313
8	1402 腎不全	21,588,102	3.1%	44
9	0403 脂質異常症	18,156,919	2.6%	570
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	17,561,301	2.5%	265

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【西部地区】中分類による疾病別統計(医療費上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	38,166,232	6.1%	210
2	0402 糖尿病	35,338,551	5.7%	460
3	0901 高血圧性疾患	33,569,969	5.4%	682
4	0606 その他の神経系の疾患	30,852,930	5.0%	340
5	1402 腎不全	30,824,452	4.9%	38
6	0903 その他の心疾患	26,346,226	4.2%	246
7	0902 虚血性心疾患	24,573,522	3.9%	132
8	1113 その他の消化器系の疾患	23,263,296	3.7%	485
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,507,182	3.0%	68
10	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,357,400	2.6%	357

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数上位 10 疾病を示したものです。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【東部地区】中分類による疾病別統計(患者数上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	16,608,688	361	44.3%
2	0402 糖尿病	13,472,980	283	34.7%
3	1113 その他の消化器系の疾患	11,673,713	272	33.4%
4	0403 脂質異常症	9,119,664	256	31.4%
5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,337,955	223	27.4%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,663,294	223	27.4%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,091,114	207	25.4%
8	0703 屈折及び調節の障害	701,845	198	24.3%
9	0606 その他の神経系の疾患	18,223,932	181	22.2%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	2,036,956	180	22.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【中央地区】中分類による疾病別統計(患者数上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	35,283,343	799	45.1%
2	0402 糖尿病	41,290,000	631	35.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	33,151,989	606	34.2%
4	0403 脂質異常症	18,156,919	570	32.2%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,940,865	474	26.8%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,612,354	447	25.3%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	16,293,818	436	24.6%
8	0606 その他の神経系の疾患	67,269,404	432	24.4%
9	0703 屈折及び調節の障害	1,351,040	387	21.9%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	3,567,542	381	21.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

東部地区	中央地区	西部地区
------	------	------

【西部地区】中分類による疾病別統計(患者数上位 10 疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	33,569,969	682	46.9%
2	1113 その他の消化器系の疾患	23,263,296	485	33.4%
3	0403 脂質異常症	15,235,101	477	32.8%
4	0402 糖尿病	35,338,551	460	31.6%
5	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,357,400	357	24.6%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,062,799	347	23.9%
7	0606 その他の神経系の疾患	30,852,930	340	23.4%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	11,118,216	338	23.2%
9	0703 屈折及び調節の障害	1,143,722	330	22.7%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	3,374,293	309	21.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年4月～令和3年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

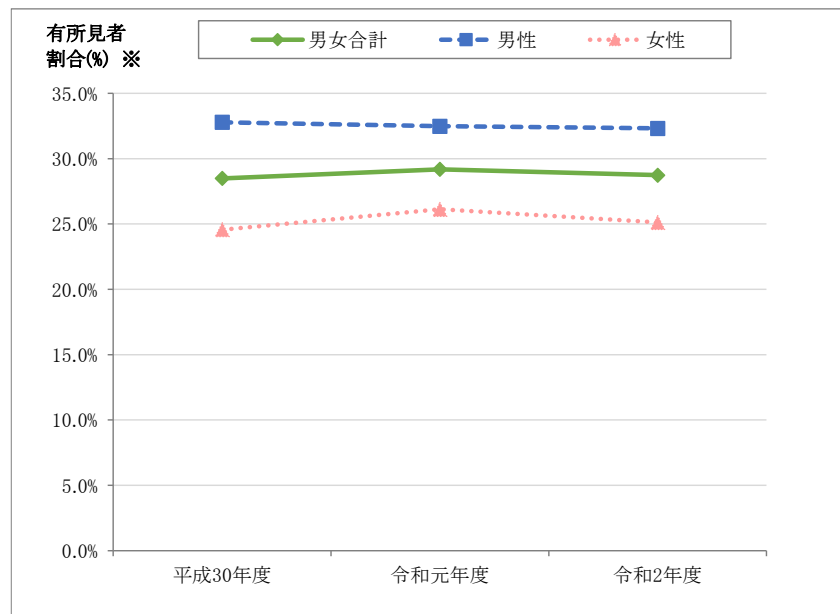
1. 有所見者割合

以下は、平成30年度から令和2年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,639	1,631	1,632
	有所見者数(人) ※	467	476	469
	有所見者割合(%) ※	28.5%	29.2%	28.7%
男性	対象者数(人) ※	784	785	820
	有所見者数(人) ※	257	255	265
	有所見者割合(%) ※	32.8%	32.5%	32.3%
女性	対象者数(人) ※	855	846	812
	有所見者数(人) ※	210	221	204
	有所見者割合(%) ※	24.6%	26.1%	25.1%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

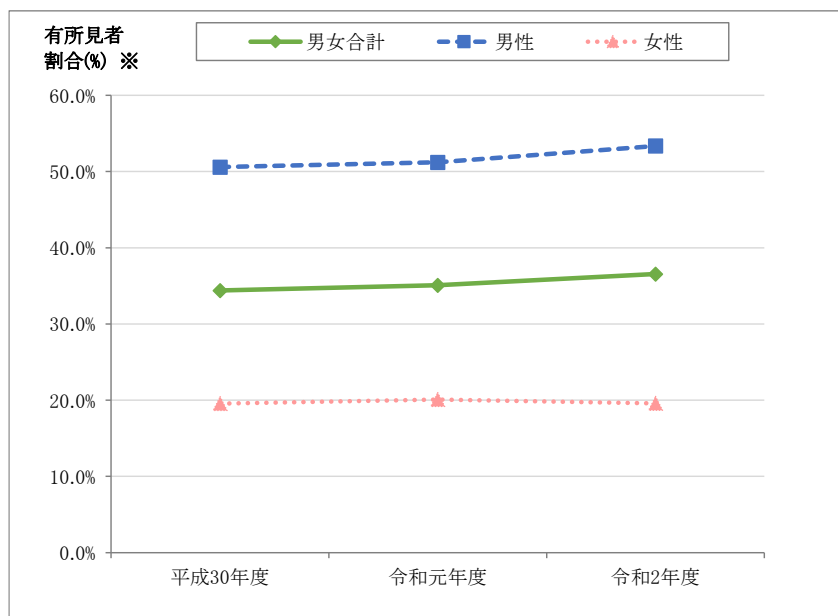
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,637	1,631	1,631
	有所見者数(人) ※	563	572	596
	有所見者割合(%) ※	34.4%	35.1%	36.5%
男性	対象者数(人) ※	783	785	819
	有所見者数(人) ※	396	402	437
	有所見者割合(%) ※	50.6%	51.2%	53.4%
女性	対象者数(人) ※	854	846	812
	有所見者数(人) ※	167	170	159
	有所見者割合(%) ※	19.6%	20.1%	19.6%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

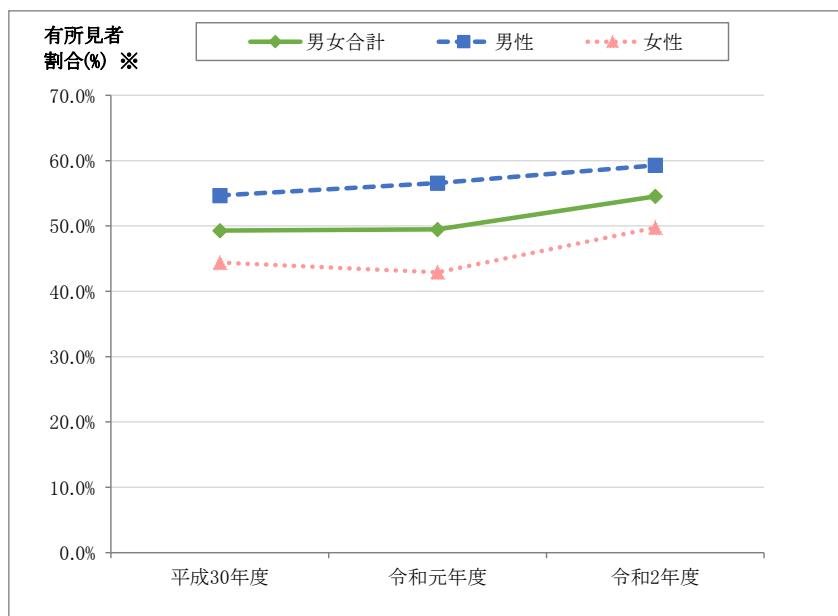
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性 85cm以上、女性 90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,639	1,631	1,630
	有所見者数(人) ※	808	807	889
	有所見者割合(%) ※	49.3%	49.5%	54.5%
男性	対象者数(人) ※	783	785	818
	有所見者数(人) ※	428	444	485
	有所見者割合(%) ※	54.7%	56.6%	59.3%
女性	対象者数(人) ※	856	846	812
	有所見者数(人) ※	380	363	404
	有所見者割合(%) ※	44.4%	42.9%	49.8%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

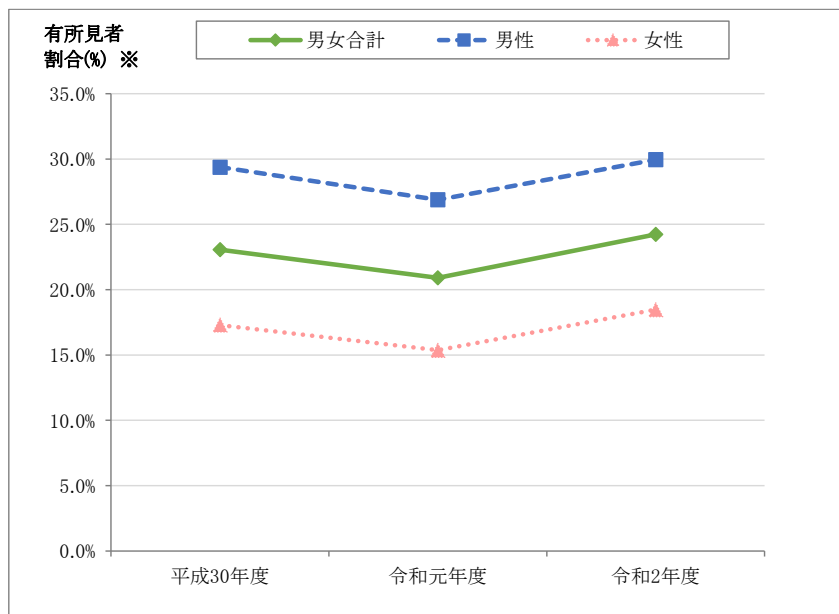
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg 以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,639	1,631	1,630
	有所見者数(人) ※	378	341	395
	有所見者割合(%) ※	23.1%	20.9%	24.2%
男性	対象者数(人) ※	783	785	818
	有所見者数(人) ※	230	211	245
	有所見者割合(%) ※	29.4%	26.9%	30.0%
女性	対象者数(人) ※	856	846	812
	有所見者数(人) ※	148	130	150
	有所見者割合(%) ※	17.3%	15.4%	18.5%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

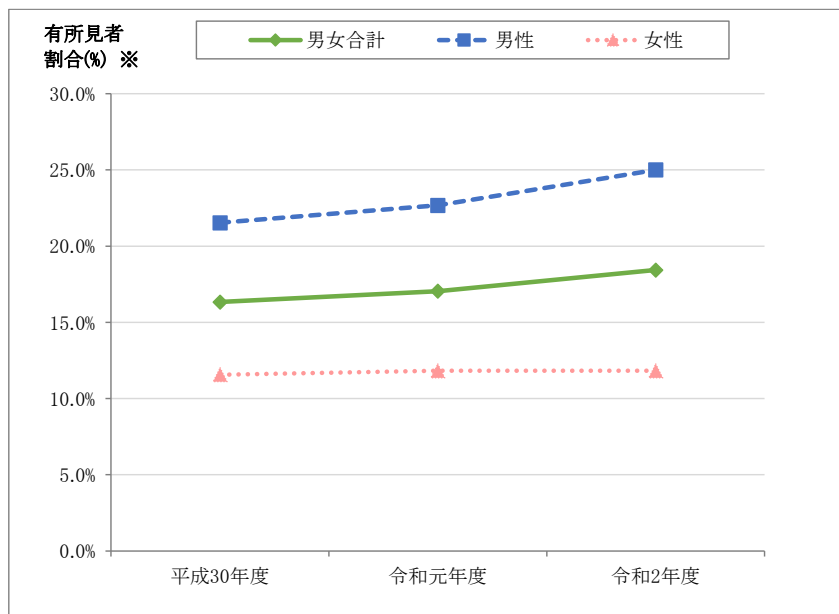
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg 以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,641	1,631	1,628
	有所見者数(人) ※	268	278	300
	有所見者割合(%) ※	16.3%	17.0%	18.4%
男性	対象者数(人) ※	785	785	816
	有所見者数(人) ※	169	178	204
	有所見者割合(%) ※	21.5%	22.7%	25.0%
女性	対象者数(人) ※	856	846	812
	有所見者数(人) ※	99	100	96
	有所見者割合(%) ※	11.6%	11.8%	11.8%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

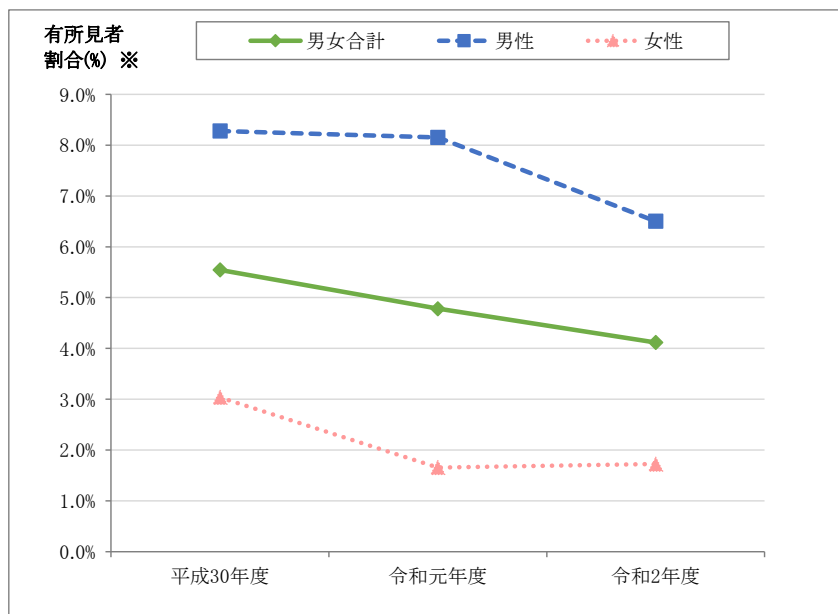
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl 以上

年度別 有所見者割合 (HDL コレステロール)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,641	1,631	1,627
	有所見者数(人) ※	91	78	67
	有所見者割合(%) ※	5.5%	4.8%	4.1%
男性	対象者数(人) ※	785	785	815
	有所見者数(人) ※	65	64	53
	有所見者割合(%) ※	8.3%	8.2%	6.5%
女性	対象者数(人) ※	856	846	812
	有所見者数(人) ※	26	14	14
	有所見者割合(%) ※	3.0%	1.7%	1.7%

年度別 有所見者割合 (HDL コレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

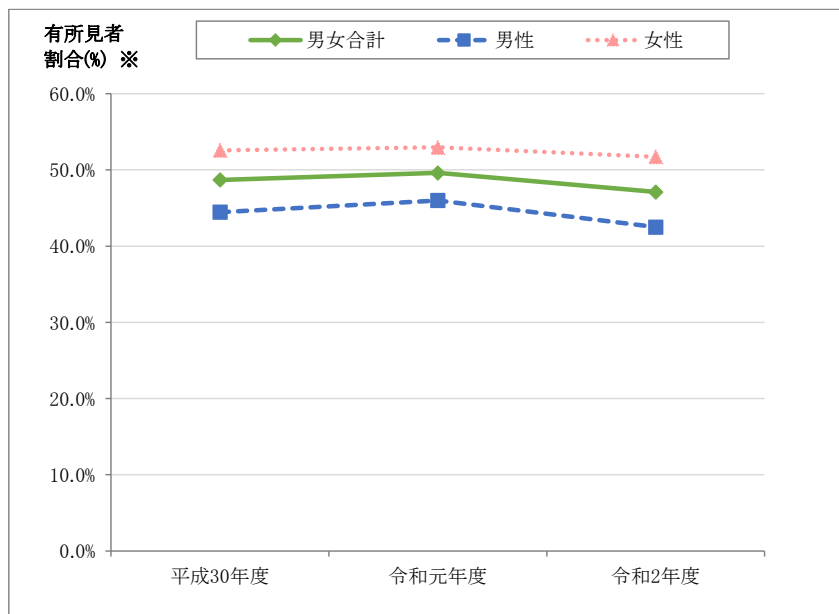
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDL コレステロール:39mg/dl 以下

年度別 有所見者割合 (LDL コレステロール)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,641	1,631	1,626
	有所見者数(人) ※	799	809	766
	有所見者割合(%) ※	48.7%	49.6%	47.1%
男性	対象者数(人) ※	785	785	814
	有所見者数(人) ※	349	361	346
	有所見者割合(%) ※	44.5%	46.0%	42.5%
女性	対象者数(人) ※	856	846	812
	有所見者数(人) ※	450	448	420
	有所見者割合(%) ※	52.6%	53.0%	51.7%

年度別 有所見者割合 (LDL コレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

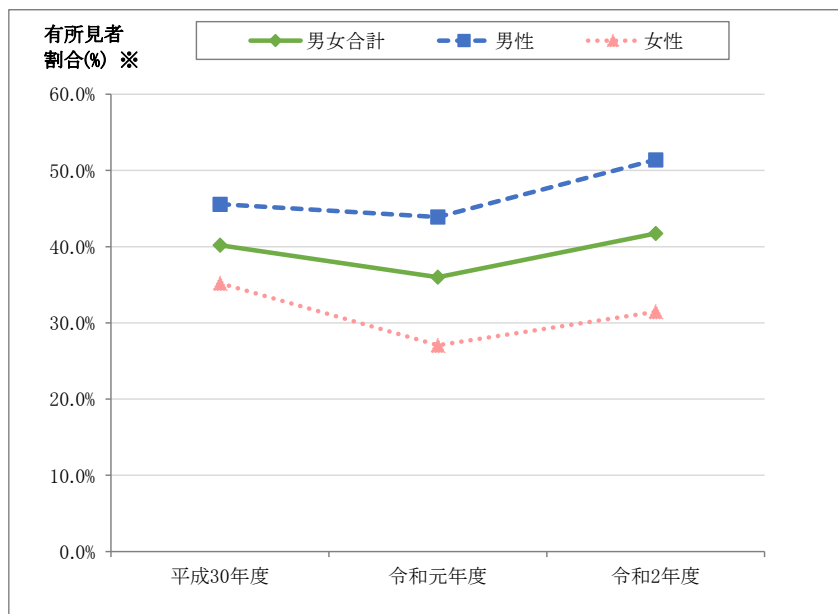
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDL コレステロール:120mg/dl 以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,575	725	695
	有所見者数(人) ※	633	261	290
	有所見者割合(%) ※	40.2%	36.0%	41.7%
男性	対象者数(人) ※	757	385	358
	有所見者数(人) ※	345	169	184
	有所見者割合(%) ※	45.6%	43.9%	51.4%
女性	対象者数(人) ※	818	340	337
	有所見者数(人) ※	288	92	106
	有所見者割合(%) ※	35.2%	27.1%	31.5%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

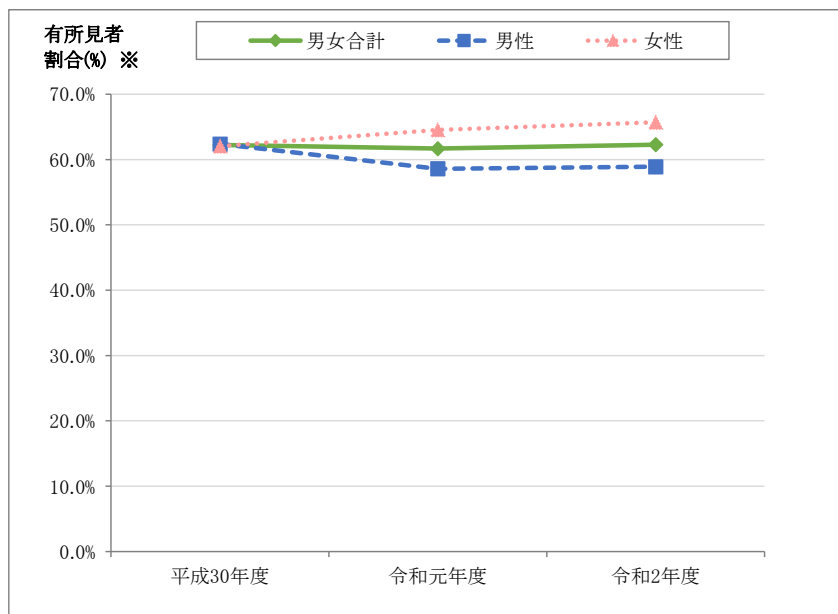
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl 以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	対象者数(人) ※	773	1,631	1,620
	有所見者数(人) ※	481	1,006	1,009
	有所見者割合(%) ※	62.2%	61.7%	62.3%
男性	対象者数(人) ※	396	785	815
	有所見者数(人) ※	247	460	480
	有所見者割合(%) ※	62.4%	58.6%	58.9%
女性	対象者数(人) ※	377	846	805
	有所見者数(人) ※	234	546	529
	有所見者割合(%) ※	62.1%	64.5%	65.7%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

2. 質問別回答状況

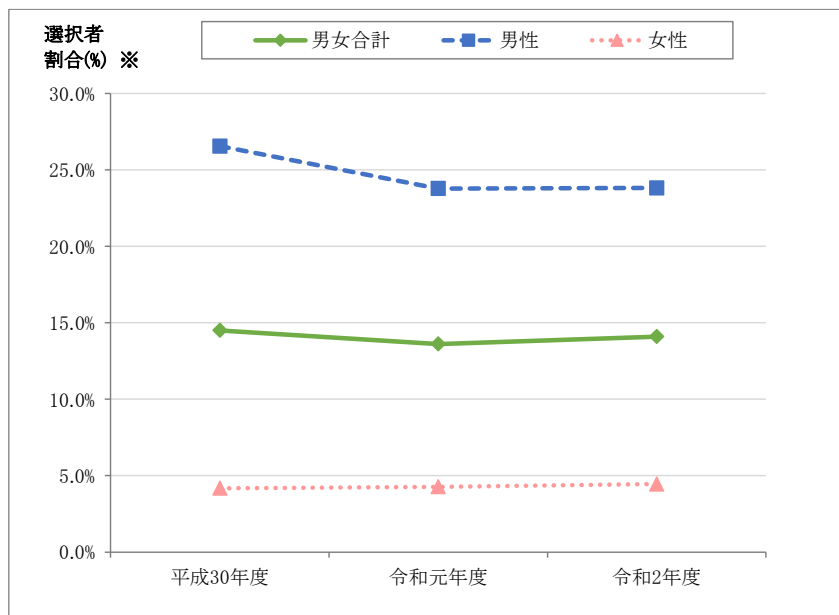
以下は、平成30年度から令和2年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・咀嚼・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示したものです。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,469	1,573	1,568
	選択者数(人) ※	213	214	221
	選択者割合(%) ※	14.5%	13.6%	14.1%
男性	質問回答者数(人) ※	678	753	781
	選択者数(人) ※	180	179	186
	選択者割合(%) ※	26.5%	23.8%	23.8%
女性	質問回答者数(人) ※	791	820	787
	選択者数(人) ※	33	35	35
	選択者割合(%) ※	4.2%	4.3%	4.4%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

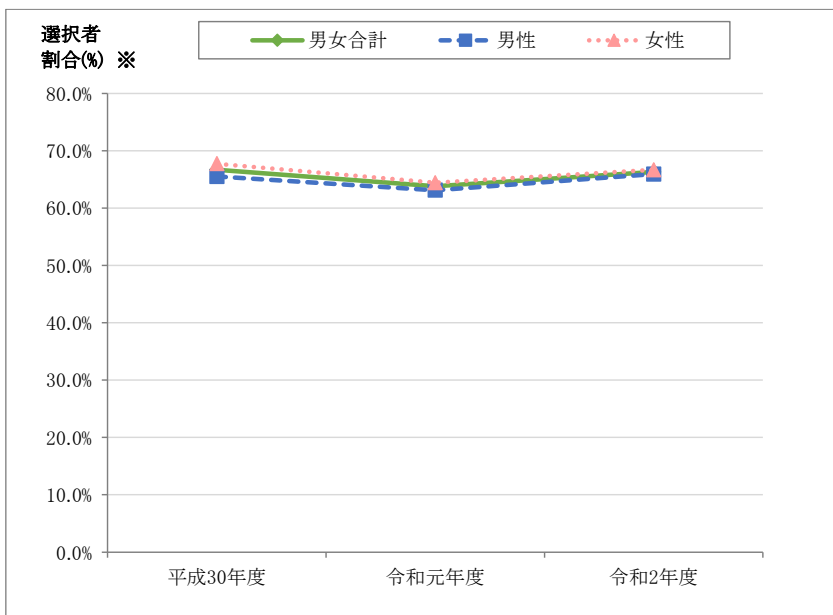
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,411	1,365	1,513
	選択者数(人) ※	941	871	1,003
	選択者割合(%) ※	66.7%	63.8%	66.3%
男性	質問回答者数(人) ※	655	637	751
	選択者数(人) ※	429	402	495
	選択者割合(%) ※	65.5%	63.1%	65.9%
女性	質問回答者数(人) ※	756	728	762
	選択者数(人) ※	512	469	508
	選択者割合(%) ※	67.7%	64.4%	66.7%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

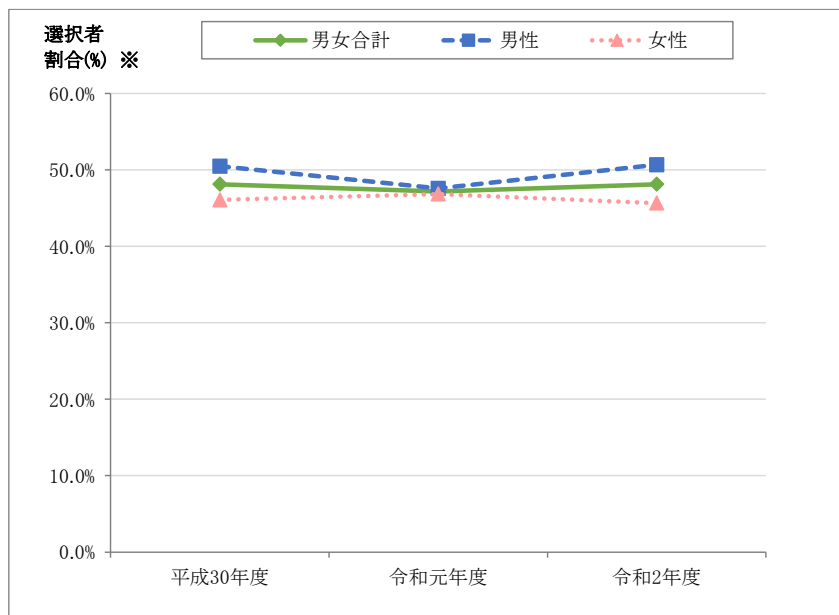
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,378	1,363	1,407
	選択者数(人) ※	663	643	677
	選択者割合(%) ※	48.1%	47.2%	48.1%
男性	質問回答者数(人) ※	640	637	695
	選択者数(人) ※	323	303	352
	選択者割合(%) ※	50.5%	47.6%	50.6%
女性	質問回答者数(人) ※	738	726	712
	選択者数(人) ※	340	340	325
	選択者割合(%) ※	46.1%	46.8%	45.6%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

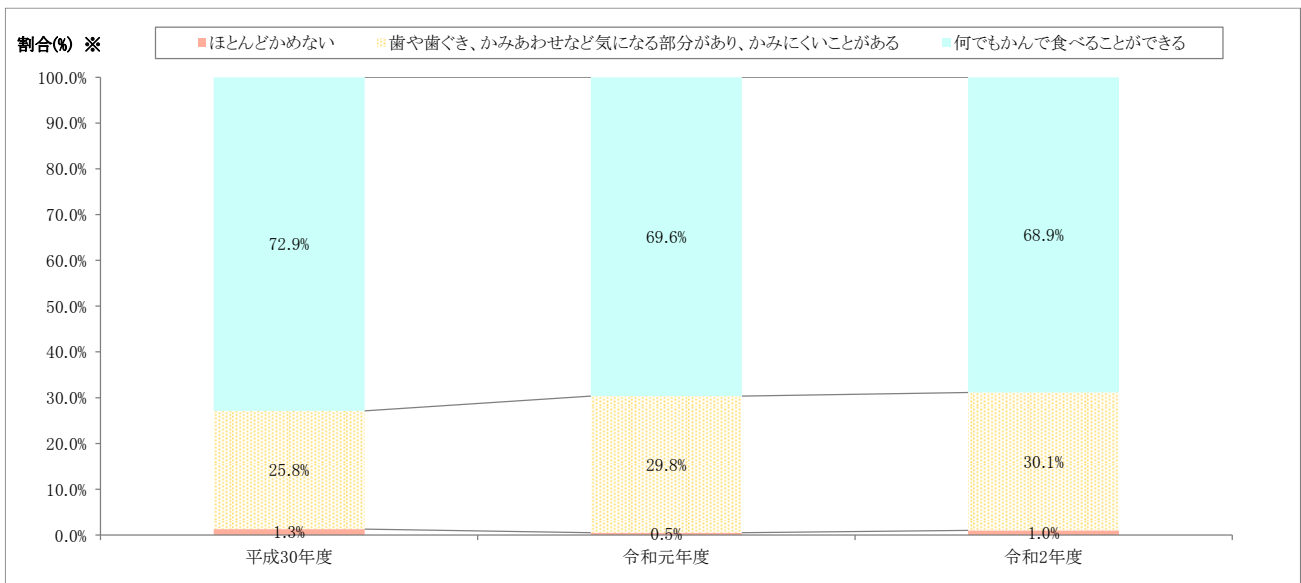
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③咀嚼

年度別 咀嚼の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	1,378	18	1.3%	356	25.8%	1,004	72.9%
令和元年度	1,364	7	0.5%	407	29.8%	950	69.6%
令和2年度	1,391	14	1.0%	419	30.1%	958	68.9%

年度別 咀嚼の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

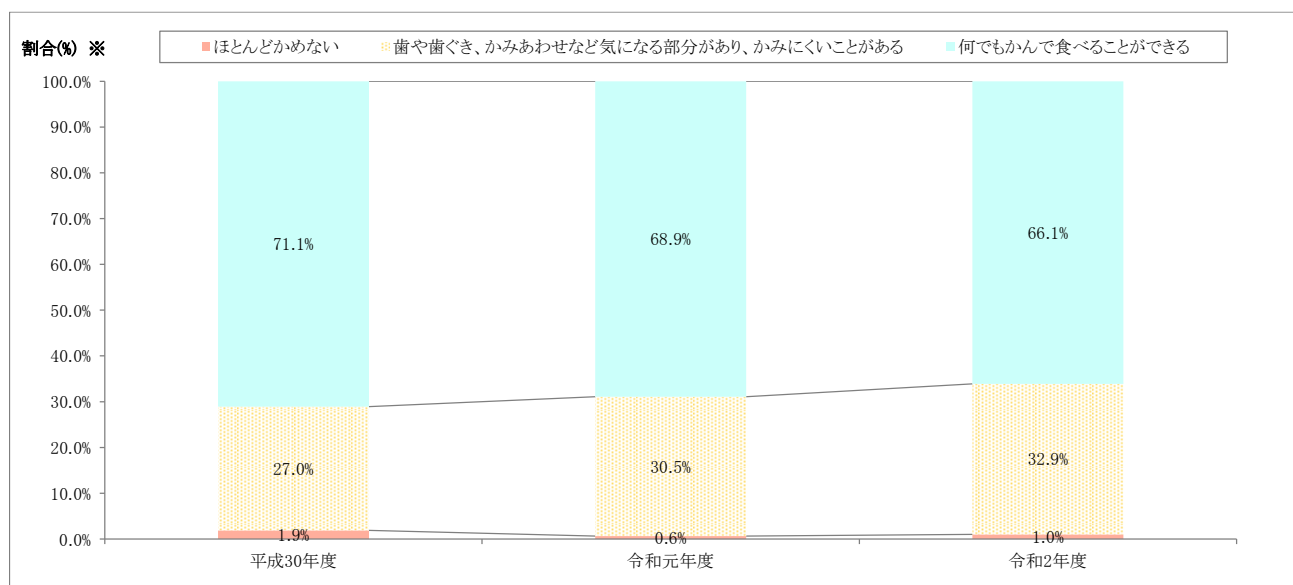
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	640	12	1.9%	173	27.0%	455	71.1%
令和元年度	637	4	0.6%	194	30.5%	439	68.9%
令和2年度	684	7	1.0%	225	32.9%	452	66.1%

年度別 咀嚼の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

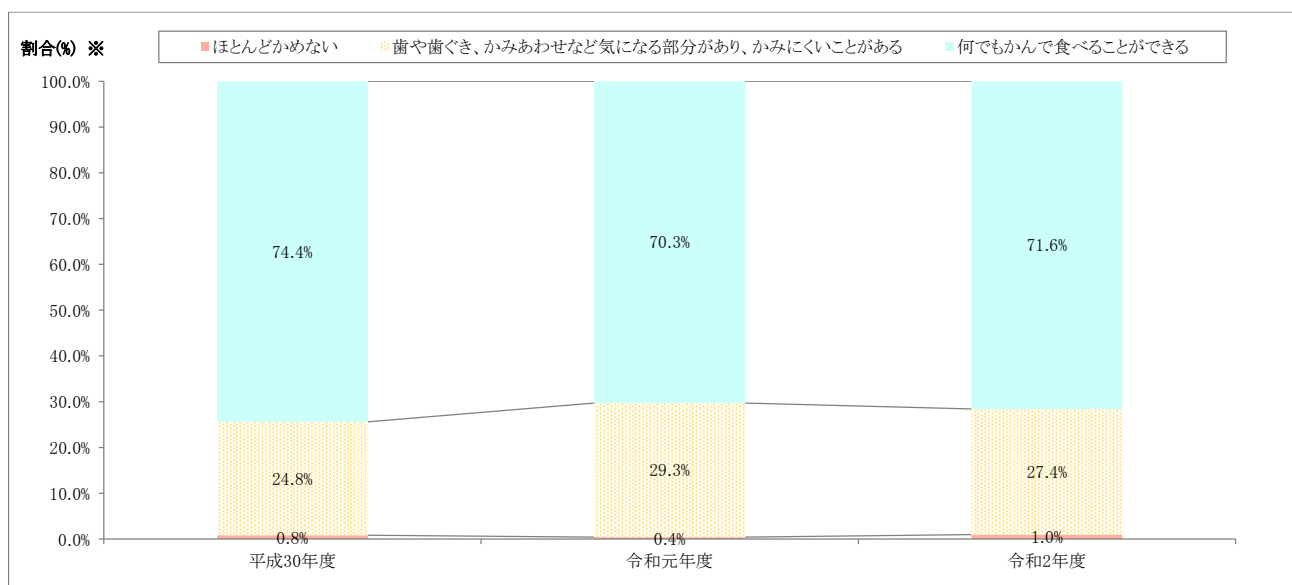
※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 咀嚼の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	ほとんどかめない		歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある		何でもかんで食べることができる	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	738	6	0.8%	183	24.8%	549	74.4%
令和元年度	727	3	0.4%	213	29.3%	511	70.3%
令和2年度	707	7	1.0%	194	27.4%	506	71.6%

年度別 咀嚼の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食事をかんで食べる時の状態に回答した人数。

※選択者数…食事をかんで食べる時の状態の選択肢を選択した人数。

※割合…食事をかんで食べる時の状態に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

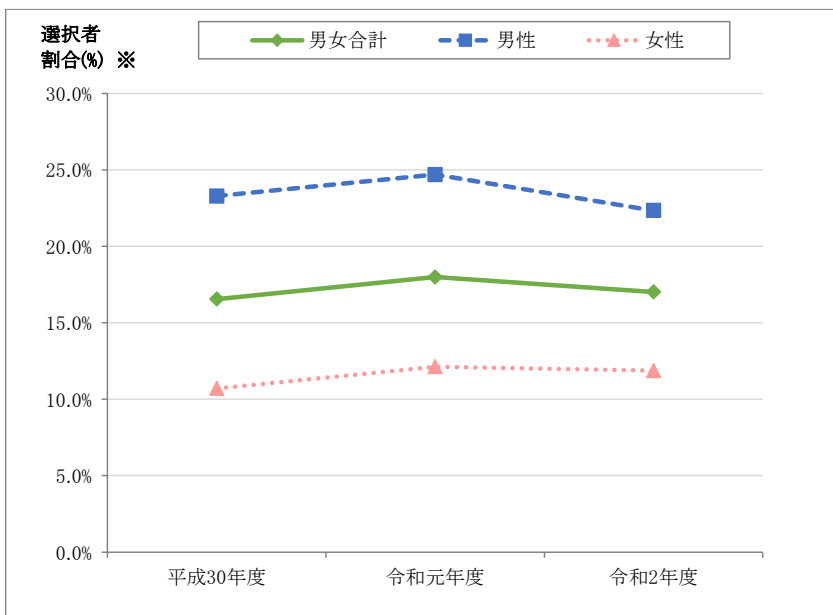
咀嚼…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対する回答数を集計。

④食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,378	1,362	1,393
	選択者数(人) ※	228	245	237
	選択者割合(%) ※	16.5%	18.0%	17.0%
男性	質問回答者数(人) ※	640	636	685
	選択者数(人) ※	149	157	153
	選択者割合(%) ※	23.3%	24.7%	22.3%
女性	質問回答者数(人) ※	738	726	708
	選択者数(人) ※	79	88	84
	選択者割合(%) ※	10.7%	12.1%	11.9%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

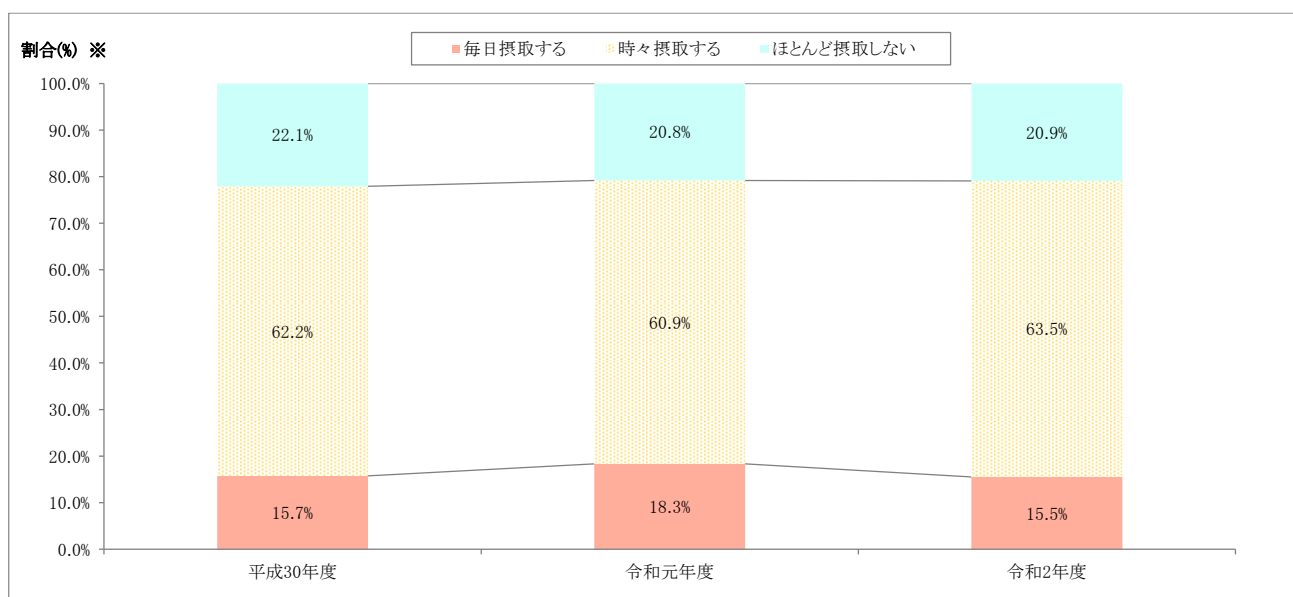
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	1,378	217	15.7%	857	62.2%	304	22.1%
令和元年度	1,364	250	18.3%	830	60.9%	284	20.8%
令和2年度	1,390	216	15.5%	883	63.5%	291	20.9%

年度別 間食の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

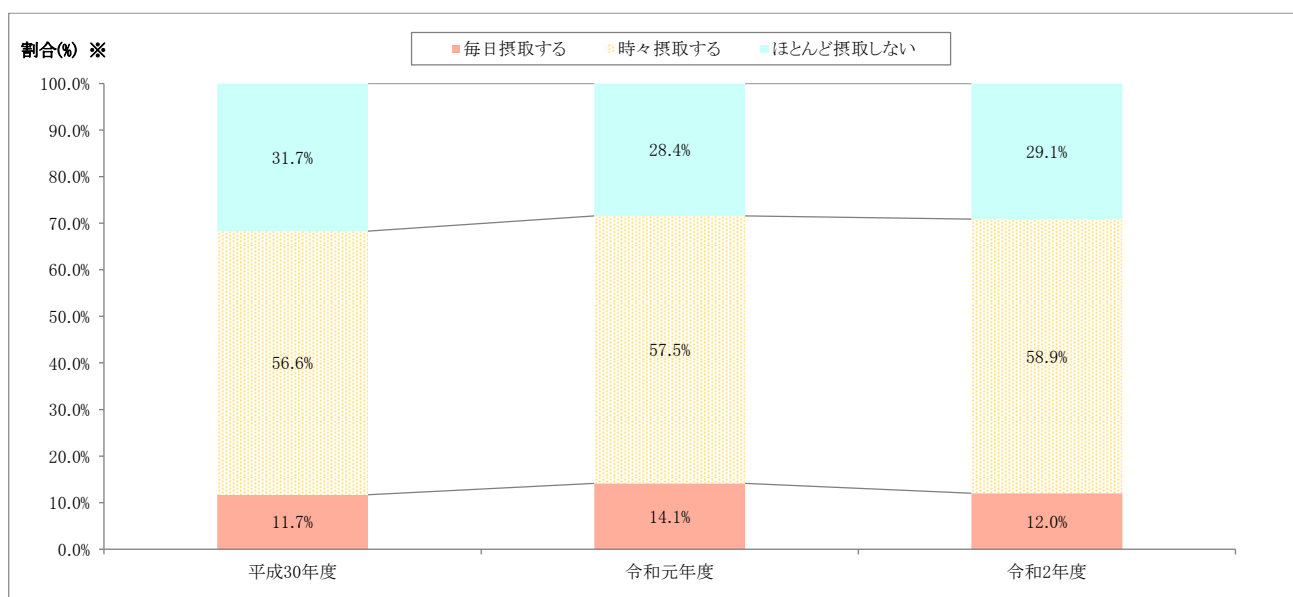
※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	640	75	11.7%	362	56.6%	203	31.7%
令和元年度	637	90	14.1%	366	57.5%	181	28.4%
令和2年度	683	82	12.0%	402	58.9%	199	29.1%

年度別 間食の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

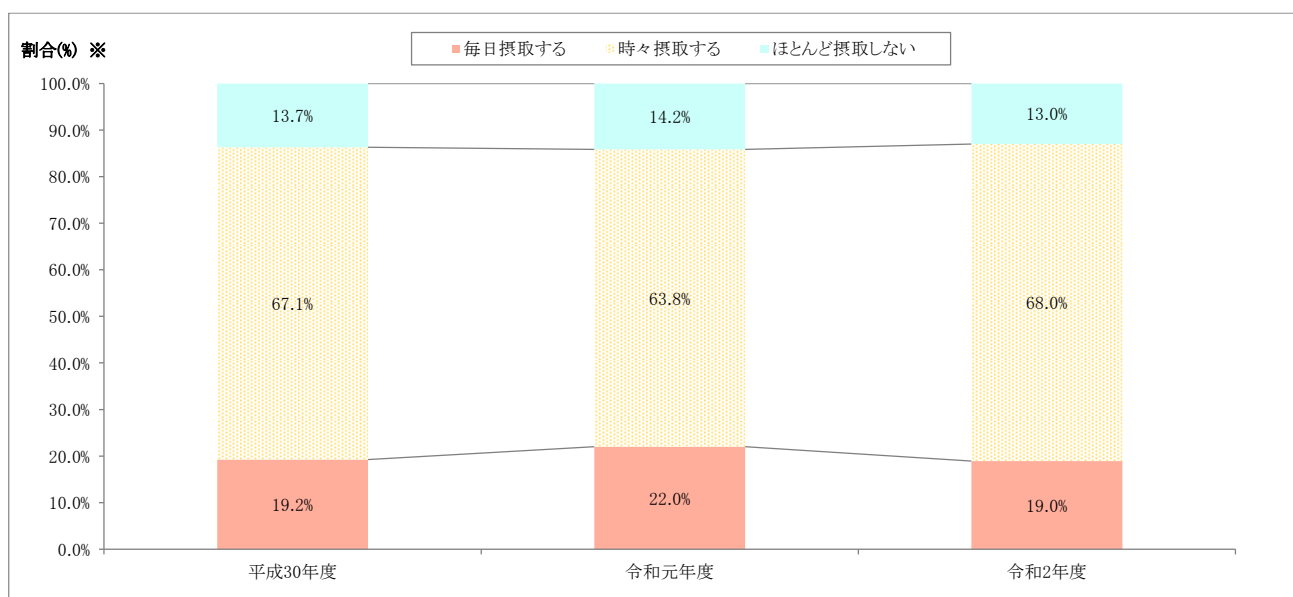
※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 間食の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日摂取する		時々摂取する		ほとんど摂取しない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	738	142	19.2%	495	67.1%	101	13.7%
令和元年度	727	160	22.0%	464	63.8%	103	14.2%
令和2年度	707	134	19.0%	481	68.0%	92	13.0%

年度別 間食の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人数。

※選択者数…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物の選択肢を選択した人数。

※割合…朝昼夕の3食以外の間食や甘い飲み物に回答した人で、各選択肢を選択した人の割合。

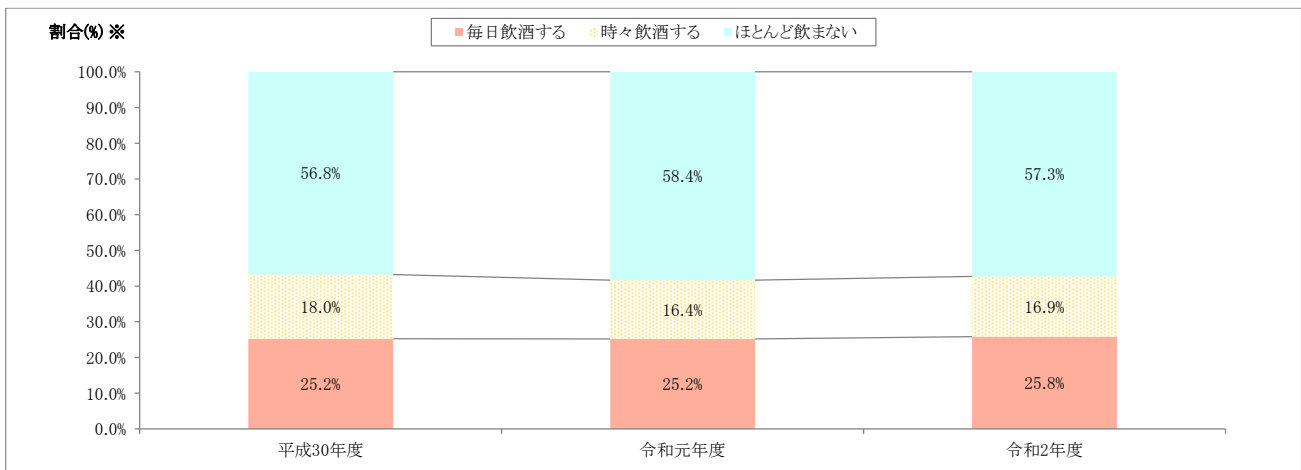
間食…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対する回答数を集計。

⑤飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	1,546	390	25.2%	278	18.0%	878	56.8%
令和元年度	1,571	396	25.2%	258	16.4%	917	58.4%
令和2年度	1,561	403	25.8%	264	16.9%	894	57.3%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

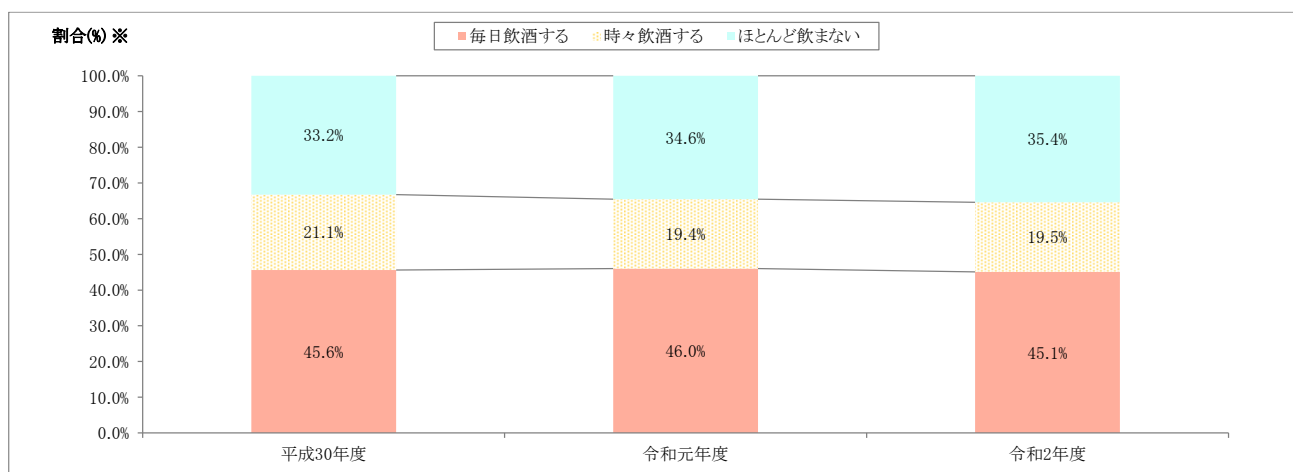
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	734	335	45.6%	155	21.1%	244	33.2%
令和元年度	752	346	46.0%	146	19.4%	260	34.6%
令和2年度	776	350	45.1%	151	19.5%	275	35.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

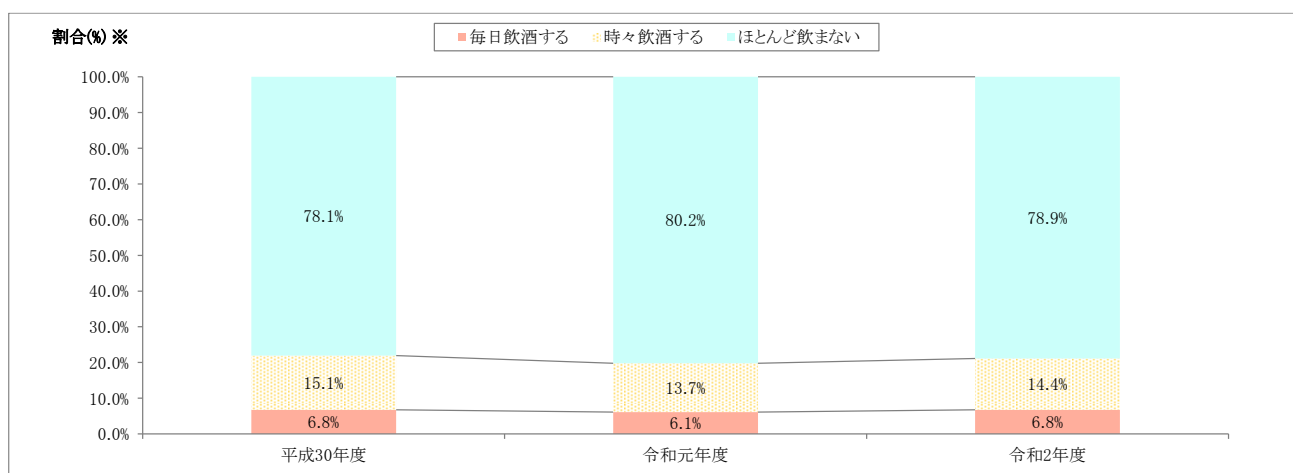
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	812	55	6.8%	123	15.1%	634	78.1%
令和元年度	819	50	6.1%	112	13.7%	657	80.2%
令和2年度	785	53	6.8%	113	14.4%	619	78.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

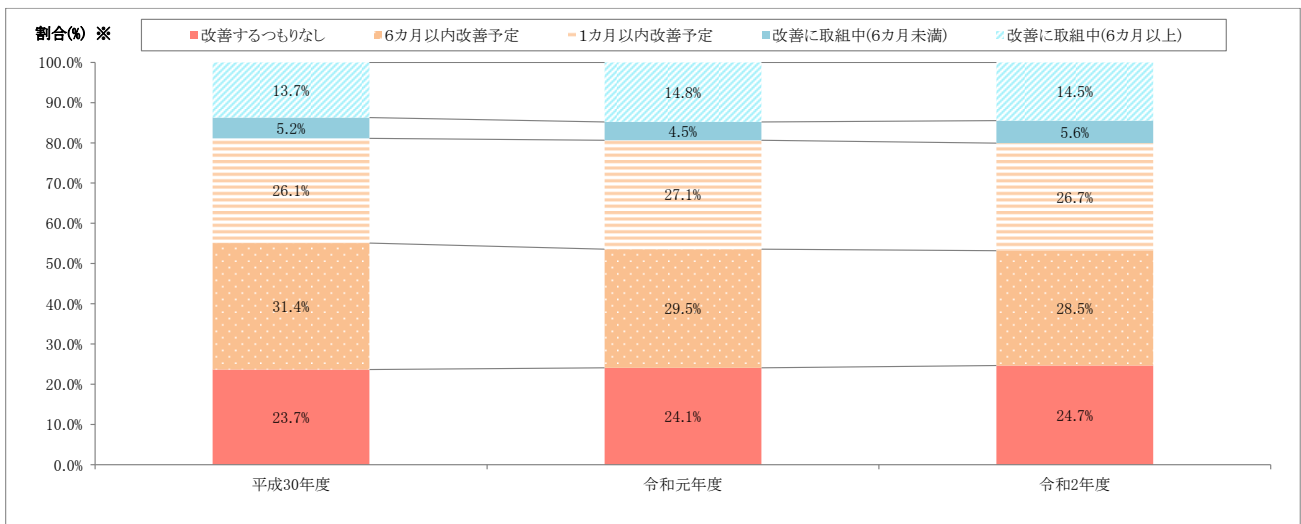
⑥生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	1,378	326	23.7%	433	31.4%	359	26.1%
令和元年度	1,363	328	24.1%	402	29.5%	369	27.1%
令和2年度	1,391	343	24.7%	397	28.5%	372	26.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	1,378	71	5.2%	189	13.7%
令和元年度	1,363	62	4.5%	202	14.8%
令和2年度	1,391	78	5.6%	201	14.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

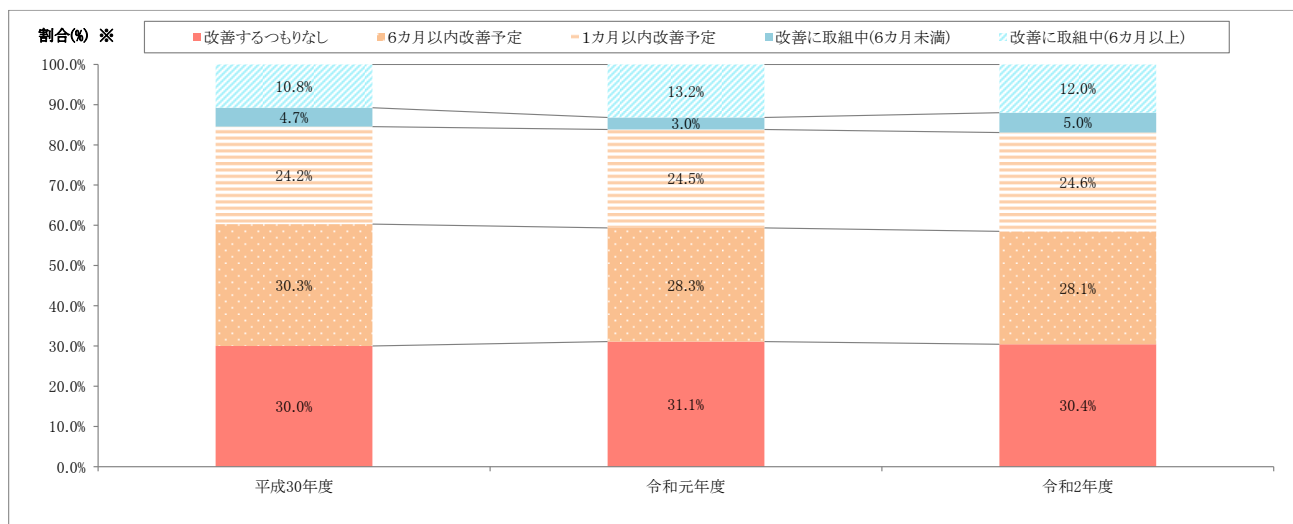
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	640	192	30.0%	194	30.3%	155	24.2%
令和元年度	637	198	31.1%	180	28.3%	156	24.5%
令和2年度	684	208	30.4%	192	28.1%	168	24.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	640	30	4.7%	69	10.8%
令和元年度	637	19	3.0%	84	13.2%
令和2年度	684	34	5.0%	82	12.0%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

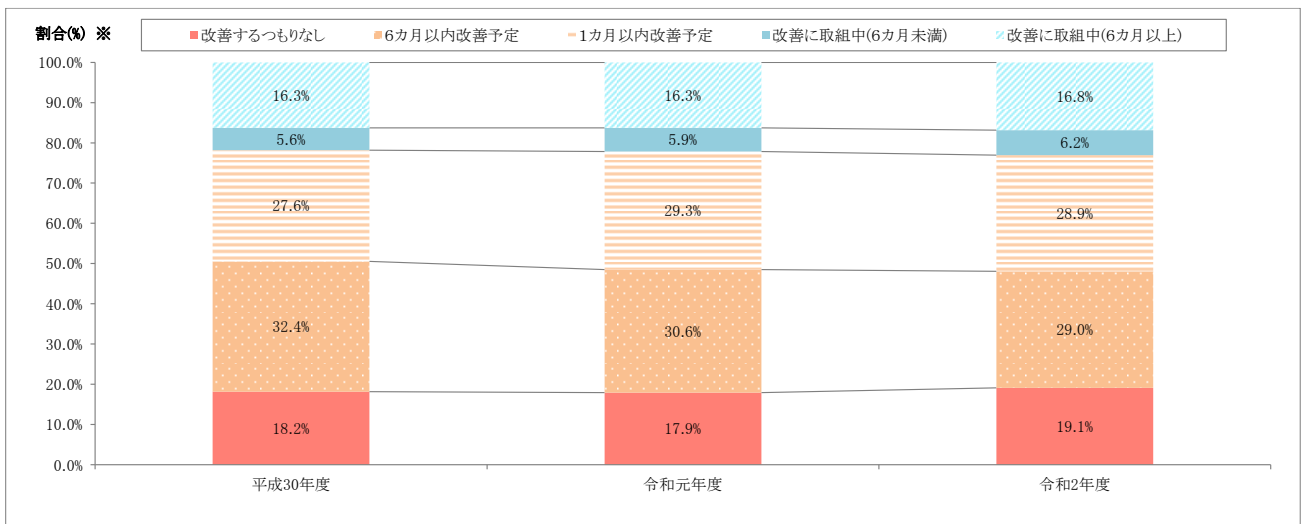
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	738	134	18.2%	239	32.4%	204	27.6%
令和元年度	726	130	17.9%	222	30.6%	213	29.3%
令和2年度	707	135	19.1%	205	29.0%	204	28.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成30年度	738	41	5.6%	120	16.3%
令和元年度	726	43	5.9%	118	16.3%
令和2年度	707	44	6.2%	119	16.8%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～令和3年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

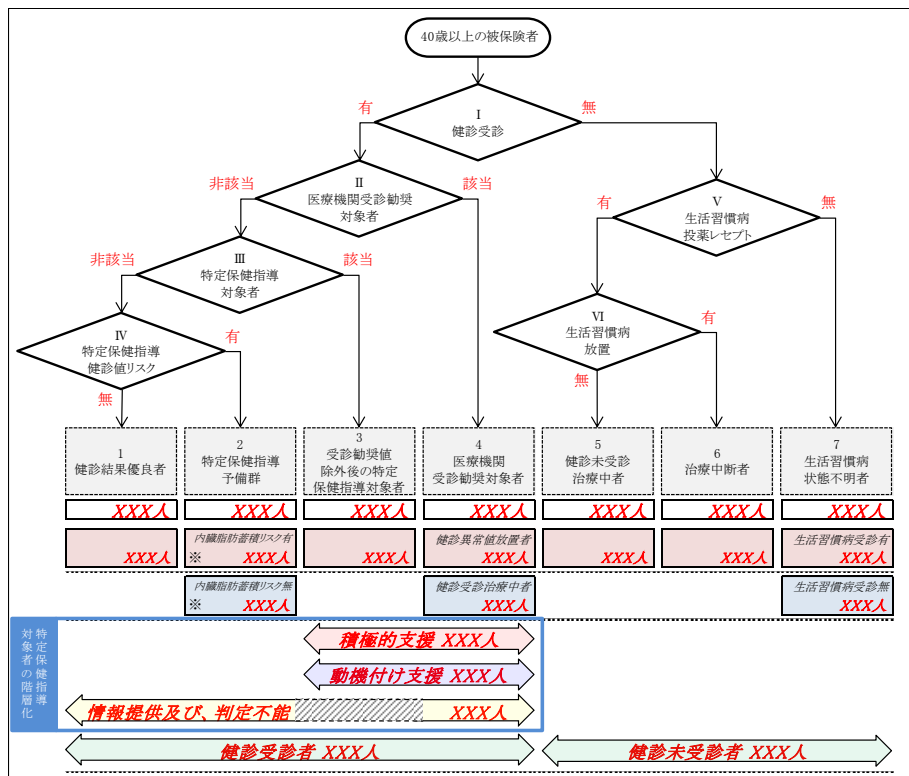
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
ア行	HDL コレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDL コレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65 歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013 年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3 カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3 カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成 20 年 4 月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40 歳～74 歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の 3 つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ 1: 国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去 1～2 カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち 2 つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1 つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

4. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用います。

●医療費分解技術(特許第 4312757 号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出します。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されています。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題があります。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できます。

●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化します。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があります。現状 10%程度の未コード化傷病名が含まれています。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らします。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)							
		(2) 狭心症	(3) うつ病	(4) 高コレステロール血症				
	(5) 2型糖尿病	(6) 急性上気道炎	(7) アレルギー性鼻炎					
12	再診	調剤レセプト						
時間	明細							
60	外来	No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位	薬価	薬剤科点	薬価	
80	特定	1	ブラビックス錠75mg	1錠	66	28		
			カルネート錠2.5mg	1錠				
			カデュエット配合錠4番	1錠				
			トラゼンタ錠5mg	1錠				
	糖試		グリメシド錠1mg「NP」	1錠				
	HbA		【内服】1日1回朝食後服用					
	尿一	2	ニコランマー錠5mg	3錠	2	28		
	尿一		【内服】1日3回食後服用					
	血液	3	エチカーム錠0.5mg	2錠	1	28		
	生化		【内服】1日1回就寝前服用					
	処方	4	スルピリド錠50mg「アメル」	2錠	27	28		
	一般		エバデールS900 900mg	2包				
	長期		安全性のため別包					
			【内服】1日2回朝夕食後服用					
決定点数							2,688	

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化します。

医科レセプトの記載	コード化
(1) 本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2) 狭心症	4139007 狭心症
(3) うつ病	2961003 うつ病
(4) 高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5) 2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6) 急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7) アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングします。

医科レセプトの記載	薬品	検査	診療行為	合計点数
(1) 本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2) 狭心症	963.8	4.7	61.0	1,029.3
(3) うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4) 高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5) 2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6) 急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7) アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計				3,536.0

●傷病管理システム(特許第 5203481 号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となります。株式会社データホライズンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定します。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第 5992234 号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別します。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれています。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要があります。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別どのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できました。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難でしたが、当特許技術で解決しました。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム (特許第 6409113 号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかった患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められています。本特許を活用することで、今まで実現できなかった、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となります。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保ちます。

那珂川町国民健康保険第2期データヘルス計画

発行年月 令和4年3月

発行 栃木県那珂川町

編集 住民課 保険年金係

〒324-0692

栃木県那須郡那珂川町馬頭 555 番地

☎0287-92-1112
